

関川家文書目録

関川家文書目録

令和3年（2021年）高森町歴史民俗資料館「時の駅」

令和3年（2021年）3月
高森町歴史民俗資料館「時の駅」

関川家文書目録

令和3年（2021年）3月
高森町歴史民俗資料館「時の駅」

はじめに

本目録は、平成28年12月28日付で上市田関川浩平氏より高森町歴史民俗資料館に寄託された「関川家文書」を整理したものである。

関川家は、代々上市田宿の問屋と庄屋を兼帯して勤めた家で、近世の伝馬に関する文書と上市田村庄屋文書の両方が残されているので、多分野に渡る内容豊富な文書が多く残されている。

また、幕末には白河藩の陣屋が設置されたこともあり、上市田村はもちろん近隣の村々にかかわる文書も多く残されている。本編4,377点、増補として151点の文書を整理収録することができた。本編・増補とも年代順に整理したが、年代不明の文書については後ろに回してある。

なお、個が特定されることが予想される文書については外してある。（空欄）

関川文雄氏 文書目録

通番	年号	西暦	文書名	備考
1	保延1年	1135	関川家戒名第一世覚窓玄正居士 保延元年	戒名を書き出したもの
2	建治1年	1275	撰時妙 下	
3	天正2年より 寛文12年まで	1574	信州飯田御城主之覚	
4	天正2年	1574	覚	一部のみ
5	(天正3年)	1575	伝馬衆20名連名	
6	天正10年	1582	頼貞宛行状	
7	天正12年	1584	下伊那郡市田村関川一実所持	
8	天正12年	1584	覚	
9	天正12年	1584	伝馬三疋の御朱印状	
10	天正12年	1584	伝馬三疋の御朱印状	
11	天正12年	1584	古文書写真	(市村威人撮影) コピーも同封
12	天正14年	1586	甲陽軍鑑 七	
13	天正14年	1586	甲陽軍鑑 22巻	
14	天正20年	1592	篠治勝次郎状市田伝馬條目	
15	文禄2年 天正2年 寛文12年 正保2年	1593	各年文書の写し	
16	文録2年	1593	伝馬衆20人連名	関河対馬守殿へ 「高森町史」では、元亀3年ころとする説
17	文録2年	1593	天野長右衛門より市田駅への書状	
18	文録2年	1593	定	伝馬免許条目
19	文録2年	1593	市田原町伝馬之者共……	篠治勝次郎花押
20	文禄3年	1594	京極修理太夫より市田駅への書状	
21	慶長3年より 元文年間迄	1598	飯田町の出来事書留帳	十六枚
22	慶長13年	1608	春日淡路市田宿伝馬書状	
23	慶長19年	1614	忠右衛門外一人より弥次右衛門宛	年貢を御蔵へ納めたという受取書
24	元和3年	1617	脇坂淡路守家臣真鍋藤左衛門より市田宿への書状	
25	元和3年	1617	脇坂中務少輔殿より書下ゲ	
26	寛永10年	1633	覚	肝煎の連判證文
27	寛永19年	1642	江戸鳥山道行	
28	正保4年	1647	市田の内原町畑方名寄帳	
29	正保4年	1647	市田ノ内原町田方名寄帳	
30	正保4年	1647	市田村ノ内伝馬町田畑寄帳	
31	正保4年	1647	御検地帳	市田原町上田壺反二付壺石五斗代、中田壺反二付壺石四斗代、上畑壺反二付壺石三斗代、中畑壺反二付壺石式斗代
32	正保4年	1647	御検地牒 写	五人組帳・その他写
33	慶安3年	1650	定	荷物扱其の他についておきて

通番	年号	西暦	文書名	備考
34	明暦2年	1656	脇坂淡路守家臣渡辺九兵衛より市田宿へ書状	
35	明暦2年	1656	一札之事、市田原町申年分御年貢受納掛方之事	飯田桜町問屋より町内の者過言の段御詫まで、百九十四俵壺斗三升五合
36	明暦3年	1657	謹上 勘解由次官殿→和本	
37	明暦4年	1658	御定相對賃銭覚	賃銭算出の基礎明白
38	万治3年	1660	牛牧村御年貢納方	喜右衛門より市田、弥右衛門へ
39	寛文5年	1665	牛牧村御年貢納方之事	
40	寛文7年	1667	乍恐申上候御訴訟之事	市田伝馬町中より御奉行様迷惑の数々條書きにして
41	寛文7年	1667	午の年分伝馬町御蔵米拂方	百九十四俵壺斗三升五合
42	寛文8年	1668	先年従御公儀の仰出候御法度書之写	百姓の衣類其の他
43	寛文9年	1669	請状仕〇〇金之事	
44	寛文11年	1671	年貢米書出し	
45	寛文11年	1671	牛牧村ト(分)御年貢米	
46	寛文11年	1671	借用申金子之事	
47	寛文12年	1672	御触	條々今度御所替につき
48	寛文12年	1672	市田伝馬町御年貢米王判帳	
49	寛文12年	1672	村界を明かにしたる文書	
50	寛文12年	1672	御朱印御伝馬觸写	御朱印人足式人 馬三疋
51	寛文13年	1673	覚	本駄賃荷物おさへ通し馬其の他について
52	寛文13年	1673	定(免許書)	
53	延宝2年	1674	永流	上市田町
54	延宝3年	1675	荷物運びの下人中途でこわし候由ニ而相果候	
55	延宝3年	1675	借用申金子之事	
56	延宝3年	1675	愛宕山大徳坊より挨拶状	
57	延宝5年	1677	仁王山争論書類	13袋に入っている
58	延宝6年	1678	双方申合山河之事	
59	延宝6年	1678	乍恐以書付御訴訟申上候覚	山吹のもの大勢山小屋に押かけ狼藉せるにより願出
60	延宝7年	1679	信州伊那郡市田郷より山吹四ヶ村山論並市田郷山吹領と大嶋三ヶ村野山境論糺明之上申付候覚	裁許状に絵図面に野山境に加印壺通づつ下置候
61	延宝7年	1679	当毛引 上市田村	十兵衛他三人より上市田庄屋へ
62	延宝7年	1679	覚	
63	延寶7年	1679	信州伊那郡市田郷方 山吹領四ヶ村山論并市田郷山吹領 大嶋三ヶ村野山境論糺明之上申付覚	表絵図
64	延宝7年	1679	信州伊那郡市田郷与山吹領四ヶ村 山論并市田郷山吹領と大嶋三ヶ村 野山境論糺明之上申付之覚	
65	延宝7年	1679	裁許状	信州伊那郡市田郷と山吹領四ヶ村山論並に市田郷山吹領と大嶋三ヶ村野山境論糺明之上申付覚
66	延宝7年	1679	覚	一、米貳拾五俵五斗内江戸詰弥右衛門へ六俵
67	延宝7年	1679	市田・山吹・大嶋三ヶ村山論御裁許の絵図	
68	延宝8年	1680	永代売渡シ申畑之事	

通番	年号	西暦	文書名	備考
69	天和元年	1681	借用申金子之事	
70	天和3年	1683	此乗掛一駄其村方馬出し飯田へ送り届べき者也	
71	貞享2年	1685	丑ノ御種米貸渡覚帳	
72	貞享2年	1685	口書之覚	市田清七→庄屋
73	貞享2年	1685	借用証書	
74	貞享3年	1686	畑田御検地御改之帳	
75	貞享3年	1686	西宮略縁記	
76	貞享3年	1686	西宮略縁記	
77	貞享4年	1687	御定納米納拂明細帳	
78	貞享4年	1687	市田村より奉行所へ	入会山につき大嶋山吹両村より申出あるも先規の通りに仰付けられ度
79	貞享5年	1688	頭書長暦凡例	
80	元禄元年	1688	地付山論裁許之事	信州伊那郡市田郷与同郡山吹四ヶ村
81	元禄	1688	未之三月米高割勘定帳	
82	元禄元年	1688	庄屋と百姓の出入(争い)がなかった	
83	元禄元年	1688	信州伊那郡市田郷与同郡山吹四ヶ村地付山論裁許之事	表絵図
84	貞享5年	1688	乍恐以書付申上候覚	地付山刈敷は先規の通りに仰付けられ度
85	元禄元年	1688	幕府の裁許文書	山吹村四ヶ村と大嶋三ヶ村山論について
86	貞享5年	1688	差上申一札之事	山吹領荻敷山につき市田郷庄屋より一札
87	元禄2年 正徳5年	1689	上市田村当流	三点
88	元禄2年	1689	差出申手形之事	社寺奉行宛荒神の祠について証明
89	元禄4年	1691	上市田村未ノ永流	
90	元禄6年	1693	大島、飯田えの駄賃銭相渡ス所日記	
91	元禄6年	1693	原町分米、取米書上	
92	元禄7年	1694	乍恐口上書之覚	
93	元禄7年	1694	乍恐以書付ヶ御訴訟申上候事	絵図ノ裏ニ訴訟状記入
94	元禄8年	1695	仕一札事	作右衛門身元証明
95	元禄9年	1696	御成敗式目	自筆本
96	元禄9年	1696	売渡シ申畑之事	
97	元禄11年	1698	寺領願之覚	地引渡し候御役人氏名
98	元禄11年	1698	覚	古金銀と新金銀の引替について
99	元禄12年	1699	市田郷と山吹四ヶ村と山論裁許の事	
100	元禄13年	1700	一札之事	
101	元禄13年	1700	覚	御触 火の用心 外
102	元禄14年	1701	原町日検覚	上田、下田等
103	元禄・宝永・正徳以後	1701	上市田村税割賦帳	綴込四、五枚
104	元禄14年	1701	御巡見様御通りについて	色々の準備
105	元禄14年	1701	質物ニ相渡申田地之事	
106	元禄14年	1701	借用申金子之事	
107	元禄15年	1702	覚	江戸大伝馬町馬込勘解由より問屋衆中へ
108	元禄15年	1702	畑替地手形の事	畑地交換の手形 二点
109	元禄15年	1702	覚	溜池出来につき今後水等盗みとらぬやう
110	元禄15年	1702	覚 一、六寸五拾六本	上市田村惣百姓より御奉行所へ

通番	年号	西暦	文書名	備考
111	元禄15年	1702	九宮之図	
112	元禄15年	1702	相渡シ申田地之事	
113	元禄15年	1702	相渡シ申畑之事	
114	元禄15年	1702	上市田村永引覚	
115	元禄15年	1702	覚	市田町問ヤへ借金請取書
116	元禄15年	1702	覚	御公儀へ日損の御訴訟申上間敷こと
117	元禄15年	1702	畑替地手形之事	七ヶ所合三反九畝廿四歩の替地のこと牛牧村と原町と
118	元禄16年	1703	石田嘉平治(役人)より松源寺、安養寺へ	寺領地願の通
119	元禄17年	1704	定 御触	
120	宝永 御書出	1704	覚(牛牧村入作)	式百参拾俵分春日淡路守様牛牧村分等一牛牧村入作覚
121	宝永元年	1704	預り申金子之事	
122	宝永元年	1704	定(免許書)	
123	宝永元年	1704	五人組についての御ふれ	
124	宝永2年	1705	大阪淀屋三郎左衛門欠訴之覚	大蔵七百三十戸前他、金銀の鳩五拾五羽他
125	宝永2年	1705	売渡申田地家舗之事	
126	宝永2年	1705	用水について裁許状写	下伊那郡山吹村、同郡出原村諍論の事
127	宝永3年	1706	附出荷物・道筋通し馬、次馬等向後勝手次第たるべく通達	
128	宝永3年	1706	預り申御蔵米之事	
129	宝永3年	1706	預り申米之事	
130	宝永3年	1706	質物ニ相渡申田地家屋舗之事	
131	宝永3年	1706	借用申金子之事	
132	宝永3年	1706	伊那郡と筑摩村々中馬、新馬之儀訴出候	先年の裁許書にない村々からの荷物は、通し馬・次馬のどちらでも勝手次第
133	宝永6年	1709	上市田村己改畑田相米帳	
134	宝永6年	1709	猪之助田地下作付覚	
135	宝永6年	1709	借用申御蔵米之事(12月20日)	
136	宝永6年	1709	預り申金子之事(4月5日)	
137	宝永6年	1709	預り申金子之事(4月22日)	
138	宝永6年	1709	借用申金子之事(12月20日)	
139	宝永6年	1709	預り申金子之事	12月20日
140	宝永6年	1709	一札之事	盗まれたる上平村より吉田村へ照会
141	宝永7年	1710	預り申金子之事(3月13日)	
142	宝永7年	1710	乍恐以口上書御訴詔申上候御事(12月)	市田町外伊那各宿問屋より御奉行所へ
143	宝永7年	1710	乍恐以口上書御訴詔申上候御事(9月)	通馬と次馬、七色荷物取扱等について取扱方について願出
144	宝永7年	1710	乍恐以口上書付御訴訟申上候御事(11月)	通馬と次馬、七色荷物取扱等について取扱方について願出
145	宝永7年	1710	明川村問屋弥右衛門より宿次手形	根羽村より奥迄御問屋衆中
146	宝永7年	1710	定	江戸下り人足参人と定、一宿にて一兩づつ道金等
147	宝永7年	1710	宿次御訴訟	本多淡路守知行所、足助町問屋より根羽村を奥迄御問屋衆中
148	宝永7年	1710	預り申金子之事(1月20日)	
149	宝永7年	1710	乍恐口上書を以御訴訟申上候御事(6月)	

通番	年号	西暦	文書名	備考
150	宝永7年	1710	江戸表ニ而奉願度口上書覚	
151	宝永7年	1710	覚	古金使用についての御ふれ
152	宝永7年	1710	古来より宿次…	稲橋村問屋八郎右衛門右の通り根羽村より奥御問屋衆中
153	宝永8年	1711	七色荷物	
154	正徳元年	1711	田畑御年貢并下作付覚 上市田村	
155	宝永8年	1711	乍恐以書付御訴訟申上候御事	荷物少くなり困難につき殿様に願出
156	正徳2年	1712	田畑山林境改相渡帳	
157	正徳2年	1712	書状一部	
158	正徳2年	1712	萬覚書	辰八月ヨリ
159	正徳2年	1712	上市田村五人組帳	欠損 虫食いあり
160	正徳2年	1712	相渡申田地之事	
161	正徳2年	1712	一札之事	私儀旅人留おき不届申訳これなく詫の一札
162	正徳3年	1713	上市田村五人組帳	前書のみで百姓名なし
163	正徳3年	1713	御上綿之高帳	
164	正徳3年	1713	御朱印の写	人足式人馬三疋外二件共正徳三年
165	正徳3年	1713	喜三郎家屋敷並家財割賦之覚	
166	正徳3年	1713	青表紙信州伊奈郡繩張郷高之目録写	光通
167	正徳4年	1714	長九郎火出し火消えたり	
168	正徳4年	1714	覚	
169	正徳4年	1714	定	田畑の作物、樹木、伐取についての村定
170	正徳5年	1715	一札の事	博奕について村内申合せの事
171	正徳5年	1715	上市田村田方永引之覚	
172	正徳5年	1715	三輪物語自今名	
173	正徳5年	1715	売渡申田地之事(3月3日)控	
174	正徳5年	1715	売渡シ申田地之事(3月3日)下書	
175	享保年代方	1716	信濃国伊那郡出原村高反別帳	市田領六ヶ村分
176	正徳6年	1716	御町在々衣服定の覚	
177	正徳6年	1716	差上申一札之事	善六田地荒レ候も御免被下御詫奉申上候
178	享保2年	1717	覚 御年貢差引帳	五枚
179	享保2年	1717	今度村中相談之上相定候條々	儉約などの村定(上市田村)
180	享保2年	1717	覚	古来よりの高相違無之
181	享保2年	1717	上市田村卯御年貢米納目録	
182	享保3年	1718	用水引候ニ付自今以後相定一札の事	
183	享保3年	1718	覚	原町は宿場につき商売免許の事
184	享保3年	1718	田切町名主より御奉行所へ	諸士様御荷物は名主世話と致され度と願出
185	享保3年	1718	中馬定書について意見書	
186	享保3年	1718	覚(譲り渡し証文)	
187	享保3年	1718	覚 原町は宿場につき商売免許の事	塩、肴、袋茶、取扱よろしきこと飯田藩よりのお達し
188	享保4年	1719	仕一札の事	従前よりも御伝馬一層相勤むべきこと
189	享保5年	1720	上市田村不作引帳	
190	享保6年	1721	覚	上市田村寛文十二年永流相改書付差上候
191	享保6年	1721	覚	田畑相改書上帳
192	享保6年	1721	武士訓三	

通番	年号	西暦	文書名	備考
193	享保6年	1721	人相書	
194	享保6年	1721	御触	鉄砲、鳥、商売の儀向後無用なること
195	享保7年	1722	覚	質流し田についての制裁のこと
196	享保7年	1722	一札之事	宝永年中より享保申迄御年貢米等差引勘定出入御座なきこと
197	享保8年	1723	上市田村不作当引覚	
198	享保8年	1723	覚	質入地の処分についての御触
199	享保9年	1724	庭訓往来（複写せず）	貞享二年印刷
200	享保10年	1725	覚	溜池出来につき市田郷より上市田村へ一札
201	享保10年	1725	乍恐以返答書御訴訟申上候御事	訴訟人下市田村 相手瑠璃寺
202	享保10年	1725	満ヶ沢溜池出来につき	市田郷より上市田村に井水について一札
203	享保10年	1725	乍恐以返答書御訴訟申上候事 五点	瑠璃寺仁王山の所有権について
204	享保10年	1725	乍恐以書付御訴訟申上候	瑠璃寺より、元堂社のあった堂所仁王山へ百姓が入り狼藉をしたとの訴え
205	享保10年	1725	覚	溜池出来につき市田郷より上市田村へ一札
206	享保10年	1725	乍恐以書付奉願上候	下市田村溜池の地は永引とせられ度旨願出
207	享保10年	1725	御絵圖之事	絵図面と文書
208	享保11年	1726	諸色覚日記帳他	
209	享保11年	1726	大嶋山村瑠璃寺と下市田村新兵衛山論裁許之事	以前瑠璃寺のあった仁王山についての争い
210	享保12年	1727	口上覚	座光寺村、千之助、介右衛門忠孝者にて召出され、御尋につき
211	享保12年	1727	振商についてのお触	
212	享保12年	1727	覚	伝馬、在馬、奥馬賃銀につき協定一札
213	享保12年	1727	替地證文之事	売渡申畑之事
214	享保12年	1727	替地證文之事	
215	享保13年	1728	證文内金銭勘定帳	
216	享保13年	1728	定	御年貢米についてお触
217	享保14年	1729	酉年無尽名寄帳	
218	享保14年	1729	無尽について上市田村中の申合せ	
219	享保14年	1729	覚	12月22日
220	享保14年	1729	無尽手形之事	
221	享保14年	1729	覚	12月25日
222	享保14年	1729	請負申御蔵米之事	
223	享保14年	1729	定（免許書）	
224	享保14年	1729	無尽敷米差引帳	
225	享保14年	1729	覚	盗難につきおふれ
226	享保14年	1729	覚	用水掛引井路、村境、山野、質田地、其他についておふれ
227	享保14年	1729	差上申御請合証文之事	往来通証文
228	享保15年	1730	無尽について上市田村中の申合せ	
229	享保15年	1730	相渡し申田畑之事	
230	享保15年	1730	売渡申畑之事	
231	享保16年	1731	覚（6枚）	
232	享保16年	1731	上市田村當毛不作引帳	
233	享保16年	1731	乍恐以書付御訴訟申上候	百姓共困窮いたしお役儀相勤めがたく
234	享保16年	1731	仕一札之事	次郎右衛門

通番	年号	西暦	文書名	備考
235	享保17年	1732	片桐町惣代より飯田御奉行所へ	片桐、市田、大嶋三宿は同様扱のこと
236	享保17年	1732	御公儀より御触に付き村中申定覚	
237	享保17年	1732	差上申一札の事	継立賃銭につき相談済の一札
238	享保17年	1732	一札之事	御裁許の通り堅く相守るべきこと
239	享保17年	1732	上市田村子御年貢米納目録	
240	享保17年	1732	御公儀方御触二付村中申定覚	旅人に宿かし、御札、盗人等について
241	享保18年	1733	駿河状	関川源左衛門
242	享保18年	1733	拝借仕御米之事	
243	享保18年	1733	借用申米之事	
244	享保18年	1733	上市田村丑御年貢米納目録	
245	享保19年	1734	仰付米高十七俵三斗九合御宥免被下旨につき連判状	
246	享保19年	1734	寅暮貫割覚	
247	享保19年	1734	上市田村田畑免相目録	
248	享保19年	1734	無尽手形之事	
249	享保19年	1734	一札之事	
250	享保19年	1734	一札之事（借用書）	
251	享保19年	1734	上市田村五人組帳	寅九月 各々の持高覚
252	享保19年	1734	上市田村寅御年貢米納目録	
253	享保19年	1734	差上申一札之事	村中申定博奕、盗人其他につき
254	享保20年	1735	請願成就神明様へ寄進帳	
255	享保20年	1735	乍恐口上書以請願申上候御事	大瀬木村と両中村光明寺分との山論について
256	享保20年	1735	壳渡申田地之事	
257	享保21年	1736	開帳中萬覚帳	
258	元文元年	1736	上市田村辰御年貢米納目録	
259	享保21年	1736	百姓共より訴出、双方糺明之上裁断之覚	
260	元文2年	1737	借用申御蔵米之事	
261	元文3年	1738	上市田村午御年貢米納目録	
262	元文3年	1738	預り申御蔵米之事	
263	元文3年	1738	おふれ	文字金銀引替について
264	元文3年	1738	おふれ	文字金銀引換について
265	元文3年	1738	上市田村午御年貢米納目録	
266	元文4年	1739	田畑諸色割渡申為取替証文之事	離婚につき土地割渡について
267	元文5年	1740	得替記	信州拾貳郡下券
268	元文5年	1740	噺証文之事	大瀬木諍論につき内済証文二点
269	元文5年	1740	鳥屋原出入口之覚	他に覚二つ有（裏）
270	元文5年	1740	一札之事	金子三両慥請取
271	元文5年	1740	壳渡申林之事	
272	元文5年	1740	預り申御蔵米之事	
273	元文5年	1740	孫右衛門無尽詮義覚	
274	元文年中	1740	伊賀羅庄松尾領嶋田村公事	天竜切込之タルコト記シアリ
275	元文5年	1740	諸事覚日記庚甲十月ヨリ	
276	元文5年	1740	噺証文之事	小鳥とやについて
277	元文5年	1740	差上申御請合証文之事	上市田村観音堂守空阿の身元請合証文
278	元文5年	1740	信濃国伊奈郡嶋田村与同国同郡虎岩・知久平・伊久間三ヶ村川境論裁許之事	元文4年の裁許状を児童が手習いで写したものをさらに写したもの

通番	年号	西暦	文書名	備考
279	元文5年	1740	鳥屋原出入嘸之覚 他1通	鳥屋原について大瀬木村と4ヶ村の山論
280	元文5年	1740	乍恐口上書を以御訴訟申上候御事	越中八尾町又兵衛と下市田村新兵衛
281	元文6年	1741	上市田村 林之覚	
282	元文6年	1741	相渡し申田地之事、清内路御證文奉願候一札之事	
283	寛保元年	1741	口上	庵主空阿及庄屋三人より各村々え御願観音堂破損し建立
284	寛保元年	1741	流鏑馬日記一走	貞治3年小笠原美濃入道直判
285	寛保元年	1741	口上	観音堂建立につき上市田村役人より
286	寛保元年	1741	取立申無尽證文之事	證文・定・貳拾七人
287	寛保2年	1742	覚	
288	寛保2年	1742	稲数覚	
289	寛保2年	1742	上市田村貳割増御借リ米覚帳	
290	寛保2年	1742	俵数飯米覚	
291	寛保2年	1742	福寿皆無量	
292	寛保3年	1743	諸用當座覚日記	関川光通
293	寛保3年	1743	定(免許書)	
294	延享元年	1744	往生成佛問答	
295	寛保4年	1744	差上申一札の事 覚	鎮守社、荒神小社等御改につき書上書
296	延享2年	1745	請状の事	かやと申女子につき身元引責書
297	延享2年	1745	預り申金子之事	
298	延享3年	1746	指村差除被下置度願上候	上黒田村庄屋長右エ門他二十五ヶ村庄屋より御巡見様へ
299	延享3年	1746	乍恐追訴を以御願申上候	上黒田村共拾壺ヶ村加郷之御免除下さるよう
300	延享3年	1746	乍恐以書付御訴訟申上候御事	伊那郡堀又七郎領分拾壺ヶ村助郷村より御除下さるよう願出
301	延享3年	1746	乍恐以書付御訴訟申上候	
302	延享3年	1746	乍恐以口上書御訴訟申上候御事	仲山道四ヶ宿助人馬加村とせられたくも応じがたくにつき
303	延享3年	1746	借用申金子之事	
304	延享3年	1746	乍恐以書付御訴訟申上候事	上市田村より草刈場入会につき
305	延享4年	1747	乍恐追訴を以御願申上候	伊奈郡拾壺ヶ村より加郷之義御免除下され度
306	延享4年	1747	覚	駅継荷物御道具貳拾壺棹中損じおるものの調
307	延享4年	1747	御触書	旅人、訴出人馬賃銭其他
308	延享4年	1747	定	往来の面々、荷物、雇、家来、其他につき問屋として心得べきこと
309	延享5年	1748	諸色覚日記	関川光通
310	寛延元年	1748	預り申金子之事	
311	寛延元年	1748	覚	伊奈郡上市田村青銅五百文再勸化寄付請取
312	寛延2年	1749	絵面覚	
313	寛延2年	1749	絵面覚	
314	寛延2年	1749	覚	信州善光寺御堂姥捨山 其他
315	寛延2年	1749	御触書八通	軽目金、文字金、灰吹銀、其他宿御用等
316	寛延2年	1749	上市田村絵図・覚	
317	寛延3年	1750	午年貸借覚帳	
318	寛延3年	1750	庚午歳諸色日記	8月～
319	寛延3年	1750	庚午歳諸色覚	1月～
320	寛延3年	1750	覚	諸事險約の定五ヶ条

通番	年号	西暦	文書名	備考
321	寛延4年	1751	印鑑	杉本善太郎、滝丹右衛門 その他
322	寶曆2年	1752	長石密寺 観音縁起	
323	宝曆4年	1754	入会草場争論双方糾明之上裁断之事	上市田村・下市田村方牛牧村
324	宝曆4年	1754	上市田村・下市田村入会草場論下知状	
325	宝曆4年	1754	上市田村・下市田村方牛牧村入会草場争論	双方糾明之上裁断之事
326	宝曆4年	1754	覚	博奕嚴禁の御触
327	宝曆4年	1754	上市田村下市田村と牛牧村入会草場争論	双方糾明の上裁断の事
328	宝曆4年	1754	壳渡申家屋敷之事	
329	宝曆4年	1754	添證文之事（控）	
330	宝曆4年	1754	添證文之事（下書）	
331	宝曆4年	1754	差上御樽木書上之事	
332	宝曆5年	1755	下川路時侯両村と今田村争論訴書返答書写	
333	宝曆5年	1755	定（問屋免許）	七通
334	宝曆5年	1755	覚	村中相談の上定法改正した別記
335	宝曆7年	1757	覚	御証文一、馬二疋の御触
336	宝曆7年	1757	乍恐以書付入会山證文御歎願奉申上候	下村惣代 相手金野村
337	宝曆8年	1758	大目付江定	御触の條項書上
338	宝曆8年	1758	御触 問屋扱事務について大目付江定	
339	宝曆11年	1761	上郷御巡見御通り筋の村々心得	
340	宝曆12年	1762	差上申一札之事	宿役勤来りたるにより助郷役の義については御吟味くださるよう願上候
341	宝曆12年	1762	差上申一札之事	各宿駅の経緯について述べる
342	宝曆12年	1762	乍恐以書付奉願上候	上郷村々総百姓百姓相続の件
343	宝曆12年	1762	中馬御儉約ニ付覚	
344	宝曆12年	1762	乍恐奉願上候口上書之写	上郷村千人講騒動に参加ざりしニ弁明書
345	宝曆12年	1762	差上申一札之事 他一つ	市田町の高、反別、家数、人別、役屋敷等書上
346	宝曆12年	1762	覚	三宿への御触渡し其他式通引渡目録
347	宝曆13年	1763	松本、飯田出荷物書上帳	
348	明和4年	1767	出来事等	
349	明和6年	1769	差上申一札之事	中馬御裁許の通りと承知致すべくと御請証文差入赤須町外三ヶ町惣代
350	明和7年	1770	往来証文の事（2枚）	
351	明和8年	1771	一札の事	中馬荷物取扱方について申入
352	明和8年	1771	明和～安政迄の年号	
353	明和8年	1771	借用仕金子之事	
354	明和9年	1772	預り申候御年貢米代金之事	
355	明和9年	1772	為取替ニ候一札之事	伝馬方と中馬方と双方熟談内済の一札
356	安永2年	1773	借用仕金子之事	
357	安永2年	1773	御尋ねに付き申上候口上書の事	病死した旅人につき取扱った始末書
358	安永3年	1774	観音堂什物改帳	
359	安永3年	1774	申聞覚	延宝七年市田郷と山吹領四ヶ村山論并ニ市田郷山吹領と大島三ヶ村と野山境の裁許状の願書
360	安永3年	1774	預り申御年貢米代金之事	

通番	年号	西暦	文書名	備考
361	安永4年	1775	乍恐書付を以奉願上候御事	大島宿と市田宿間の駄賃銭引直し方につきて
362	安永4年	1775	曖証文之事	三右衛門と上市田四人と井口新古之儀につき争論
363	安永4年	1775	乍恐以書付奉願上候	上市田宿伝馬賃銭の儀
364	安永4年	1775	借用申金子手形之事	
365	安永4年	1775	小使家代金高割帳	
366	安永4年	1775	曖証文之事 他一通	三右衛門と上市田四人と井口新古之儀につき
367	安永4年	1775	濟口一札之事	部奈村竹蔵と甲府町定七口論・濟口証文
368	安永6年	1777	御尋に付差上ヶ候書付之事	駄賃について御伺
369	安永6年	1777	官慶一代記	途中で切断
370	安永6年	1777	取扱口済証文之事	下市田大宮社地と長佐衛門山林との界口済証文
371	安永6年	1777	御尋につき差上申御書付之事	宿継、人馬賃銭について
372	安永6年	1777	来し方諸々の記	
373	安永8年	1779	相定申為取替証文之事	串柿、竹籠等三品の扱方について
374	安永9年	1780	一札の事	高遠町惣代より原町問屋に対して油粕六駄の取扱方についての照会
375	安永9年	1780	乍恐以追訴を奉願上候	四宿一統難渋を極め居候と追訴願
376	天明元年	1781	観音金子覚帳	
377	天明2年	1782	保科弾正忠様御泊り入用覚	
378	天明2年	1782	扱証文之事	間ヶ沢に堤出来につき
379	天明4年	1784	覚 宝暦四年御裁許の御証文	
380	天明4年	1784	乍恐奉願上候口上書之事	身元引請の一書
381	天明4年	1784	一札之事	善光寺参り女五人御関所往来御通し下され度
382	天明4年	1784	預り申米代御年貢金之事	市田町本人より赤須町彦四郎へ
383	天明4年	1784	諸国田方甚不作ニ而次第二米穀	5枚
384	天明5年	1785	借用申金子手形之事	
385	天明6年	1786	覚	宝暦四戌年六月御裁許状請取書
386	天明6年	1786	今年年不作につき村中申合の覚	
387	天明6年	1786	差上申一札の事	御城付御用米納の儀につき
388	天明6年	1786	上市田村午不作当毛引帳	
389	天明7年	1787	御役所より被仰渡候俚約御触書村方申渡請印帳	
390	天明8年	1788	出入曖内済証文之事	雲龍院殿墓地管理について
391	寛政3年	1791	五ヶ村石割	
392	寛政4年	1792	大嶋山川井水争論糾明之上裁許之事	吉田・大嶋山・牛牧村・下市田両村の争論
393	寛政4年	1792	大島山川井水論裁許書(袋のみ)	奉願上候大島山川井口分木之事
394	寛政4年	1792	大島川井水糺明の上裁許之事	牛牧村と上市田村下市田村
395	寛政4年	1792	伝馬御免件証文写	
396	寛政4年	1792	飯田藩武士名一部	
397	寛政4年	1792	金子借用申証文之事	
398	寛政5年	1793	田地替地証文之事	替地主源左衛門
399	寛政5年	1793	書為替一札の事	宝暦四年裁許状について
400	寛政5年	1793	書為替一札の事	宝暦戌年御裁許証文について
401	寛政5年	1793	書為替一札の事	
402	寛政5年	1793	書為替一札の事	
403	寛政5年	1793	書為替一札の事(写)	上市田村宛
404	寛政5年	1793	書為替一札の事(写)	下市田村宛
405	寛政5年	1793	書為替一札の事	書類為替保管の一札

通番	年号	西暦	文書名	備考
406	寛政6年	1794	借用申金子證文之事	
407	寛政6年	1794	乍恐以書付奉願上候口上書之事	原町弥左衛門組合の者よりの願出
408	寛政7年	1795	御本丸御用印形写	
409	寛政8年	1796	一札之事	金五両拝借につき畑式枚質物として差入候
410	寛政8年	1796	乍恐以口上書奉御訴訟申上候	山論につき御領地の者召出されて吟味下さるよう願出
411	寛政8年	1796	野山草場之入会をめぐって	龍ノ口村長百姓左源太他14名より御役所へ
412	寛政9年	1797	奇談榭草紙 卷之五	
413	寛政9年	1797	奇談榭草紙 卷の四・五	
414	寛政9年 天保10年	1797	覚	本馬・軽尻・人足の計
415	寛政11年	1799	柳都山の江の島の古地図	
416	寛政12年	1800	借用申金子之事(一) 借用申 御蔵米金子之事(二)	
417	寛政13年	1801	差上申口上書之事	
418	享和2年	1802	添書一札之事	
419	享和2年	1802	質入ニ相渡證文之事	
420	享和3年	1803	借用申金子之事	
421	享和3年	1803	奉願上候口上書之事	毛賀村ヨリ借入申候金子之事
422	享和3年	1803	質物之地所 絵図面帳	
423	文化元年	1804	取嚏手形之写	大嶋山井口普請和談相整証文取かわせ
424	文化・文政・ 天保・弘化・ 嘉永	1804	上市田村御年貢納通	
425	文化2年	1805	扱内済一札之事	井筋の義につき内済の一札
426	文化3年	1806	譲渡申畑之事	
427	文化3年	1806	譲渡申畑之事	
428	文化3年	1806	借用仕候金子之事	
429	文化3年	1806	一札の事	一里塚について山吹五ヶ村庄ヤと出原村庄屋一札相互入れ置
430	文化4年	1807	常盤潤助様御囲の恒に付	竜の口村惣代外三ヶ村惣代より御役所へ御返答
431	文化4年	1807	乍恐以書付御訴訟奉申上候	一里塚榎取除くよう御吟味下されたく座光寺さまへ
432	文化4年	1807	乍恐以書付申上候	平吉兄弟を孝行者として御届
433	文化4年	1807	乍恐以書付奉願上候	一里塚そば道路面について
434	文化4年	1807	乍恐以口上書返答申上候御事	常盤潤輔様御囲入の垣について
435	文化4年	1807	乍恐以書付奉願上候	常盤潤輔の徘徊御差留め下さるよう願出
436	文化4年	1807	拝借仕御蔵米之事	
437	文化4年	1807	乍恐以書付奉願上候	常盤潤輔の領内徘徊差止められ度願出
438	文化4年	1807	乍恐以口書奉願上候御事	草刈の道筋並草場入会につき訟訴致し度につき御添翰之願出
439	文化4年	1807	乍恐以書付御訴訟奉申上候	一里塚榎取除くよう御吟味下されたく座光寺様へ
440	文化4年	1807	乍恐以書付奉願上候	常盤潤輔宅立退かせるよう願出
441	文化5年	1808	二番 年内役向萬日記覚帳	
442	文化5年	1808	乍恐以書付奉願上候	大嶋山山道通行について願出
443	文化5年	1808	乍恐以書付奉願上候	大嶋山タテ道薬師迄通行差止メラレタル故善所方ヲ
444	文化5年	1808	奉願上候口上書之事	市田五ヶ村三役人より御奉行所へ願出一里塚の事内済となる
445	文化5年	1808	切継揚田唵内済一札之事	次郎右衛門

通番	年号	西暦	文書名	備考
446	文化6年	1809	上市田村江貸金滞出入	享和二年貸渡借主上市田村三役人金九拾両也
447	文化6年	1809	村内申合儉約の事	
448	文化6年	1809	乍恐以書付奉願上候	役所へ
449	文化6年	1809	御尋ニ付申上候口上之覚	
450	文化6年	1809	伊能勘解助測量のため入来につき人足其他につきての御証文	
451	文化6年	1809	送り一札之事	
452	文化7年	1810	人馬継立書抜控	
453	文化7年	1810	奉願上候大嶋山川井口分木之事	
454	文化7年	1810	譲渡申田地之事	
455	文化7年	1810	借用申金子之事	
456	文化7年	1810	借用仕候金子之事	
457	文化7年	1810	牛牧村ヨリ分木水ニツイテ従来通ニ願度願書	
458	文化7年	1810	伝馬町馬触書	
459	文化7年	1810	嘸証文之事	下市田村八幡宮諏訪大明神風損木取扱方についての御意見書
460	文化8年	1811	借用申金子之事	借用人源左衛門
461	文化8年	1811	人馬継立書抜帳控	
462	文化8年	1811	乍恐以書付奉願上候	下市田村文平より御代官所へ相手方召出し御吟味下さるよう願出
463	文化8年	1811	売渡申田地之事	
464	文化8年	1811	上市田村御上納持高帳	
465	文化8年	1811	御代官所への願文	(前面切れている)
466	文化8年	1811	文化八年の袋のみ	
467	文化8年	1811	借用申金子之事	
468	文化8年	1811	上市田村の書上	高、家数、往還其他
469	文化9年	1812	人馬継立書抜帳	
470	文化9年	1812	一札の事	新道普請金の内請取書
471	文化9年	1812	御触書写	念上山の取締方法について
472	文化9年	1812	差出申書付之事	大嶋・片桐市田三宿より領法寺様へ
473	文化9年	1812	一札之事	山吹村領法寺より大嶋片桐・市田町へ
474	文化10年	1813	御用状御先触帳	市田駅問屋
475	文化10年	1813	一札の事	大嶋山村と吉田村との出入和談となる
476	文化10、11、12年	1813	三ヶ年間問屋場人馬入用ノ高	
477	文化10年	1813	中仙道加助郷につき市田郷より願出	
478	文化11年	1814	乍恐以書付を以て奉願上候口上事	中仙道四駅の御伝馬、助郷等御免除につき御添翰下さるよう
479	文化11年	1814	人馬継立書抜帳控	
480	文化11年	1814	乍恐以書付奉候口上の事	上郷十一ヶ村より御奉行所へ仲仙道四宿より指郷仕る由承及び候
481	文化11年	1814	送り切手の事	座光寺庄屋より上市田庄屋へ
482	文化12年	1815	乍恐以書付を奉願上候御事	問屋源左衛門より御役所へ借金滞出人喜右エ門外四人へ返済するよう
483	文化12年	1815	以追訴奉願上候口上書御事	中仙道木曾郷宿へ加村之義御免除下され度
484	文化12年	1815	乍恐以追訴奉願上候口上書御事	難渋につき助郷に加村下されまじく願上
485	文化12年	1815	人足継立書上帳	
486	文化12年	1815	乍恐以書付奉申上候	中仙道三ヶ宿御伝馬助郷御免下さるよう願上候

通番	年号	西暦	文書名	備考
487	文化12年	1815	乍恐以書付奉申上候御事	御伝馬助郷の儀免除下さるやう願出
488	文化12年	1815	乍恐以書付奉申上候御事	上郷十一ヶ村より中仙道四宿の加郷村々に指定されるも出来難きにつき
489	文化12年	1815	乍恐以書付奉申上候御事	中仙道四宿の加助郷仰付られて百姓成り難く誠に歎敷につき、原町宿役人より
490	文化12年	1815	乍恐以書付奉申上候御事	中仙道四宿の加助郷仰付られては百姓成り難く誠に歎敷につき
491	文化12年	1815	譲渡申地所之事	
492	文化12年	1815	萬宝古状揃大全	
493	文化12年	1815	奉差上候一札之事	
494	文化14年	1817	乍恐以書付奉申上候	道中御奉行所宛の代助郷御免除方願書
495	文化14年	1817	乍恐以書付奉願上候御事	木曾四宿助郷御免除下さる願出
496	文化14年	1817	覚	四ヶ宿の助郷仰付られたる三拾貳ヶ村より差入たる証書の請書
497	文化14年	1817	乍恐以書付奉申上候	代助郷御赦免下さる様願上
498	文化14年	1817	和暦江戸時代	十三冊
499	文化14年	1817	御伝馬継立御尋ニ付御答書写	
500	文化14年	1817	覚	御用木残改める覚
501	文化15年	1818	御触	博奕其他につきて
502	文化15年	1818	譲渡申畑之事	
503	文政2年	1819	乍恐奉願上候口上書之事	(大嶋山川水割) 分木御建置き下さるよう御願
504	文政2年	1819	乍恐以書付奉願上候	手軽な踊等仕度願出
505	文政2年	1819	乍恐以書付奉願上候御事	木曾半高助郷勤むべき様仰付られ候も
506	文政4年	1821	乍恐以書付奉願上候	上市田御伝馬役屋敷一同より追分新田にての止宿について願出
507	文政4年	1821	乍恐以書付奉願上候御事	新田村においてこの後はかごかう志ん馬等致さぬやう
508	文政4年	1821	乍恐以書付奉願上候	新田村にて旅人宿等致させぬよう市田役所へ願出
509	文政4年	1821	乍恐以書付奉願上候事(二通)	追分・新田等にて旅宿仕る甚だ不都合につき
510	文政4年	1821	覚	
511	文政4年	1821	金子借用申證文之事	
512	文政5年	1822	飯田大火の記事	
513	文政6年	1823	乍恐以書付奉願上候	片桐宿役人より御伝馬の役御免除下さるよう願上
514	文政6年	1823	送り手形之事	
515	文政7年	1824	木曾助郷村之石高人足高帳	
516	文政7年	1824	乍恐以書付御窺奉申上候	(前半虫喰い多し) 宿方助郷村々困窮賃銭増願上げ
517	文政9年	1826	差出申書付の事	古来の道に御添直しの時は入用金御引請申すべくと市田、片桐、大島三宿より
518	文政9年	1826	乍恐以口上書奉願上候御事	田地五枚代金支拂うよう御奉行所へ訴出
519	文政9年	1826	乍恐書付を以奉願上候御事	
520	文政9年	1826	帯刀御免御剪紙(五通)	
521	文政9年	1826	譲り渡申田地證文之事(下書き)	正月
522	文政9年	1826	譲り渡申田地證文之事(下書き)	正月
523	文政9年	1826	譲り渡し申田地證文之事(下書き)	正月
524	文政10年	1827	乍恐以書付奉願上候	賃銭永ク相増下サルバク願上
525	文政10年	1827	差上申一札之事	手軽踊身の者頼み興行仕り度

通番	年号	西暦	文書名	備考
526	文政10年	1827	盆前上市田村不時入用割合帳	
527	文政10年	1827	上市田村村役賃銭割合帳	
528	文政10年	1827	上市田村不時貫割合帳	
529	文政10年	1827	盆前上市田村木曾伝馬賃銭割合帳	
530	文政10年	1827	暮上市田村村役賃銭割合帳	
531	文政10年	1827	暮上市田村本貫割合帳	
532	文政10年	1827	盆前上市田村本貫割合帳	
533	文政10年	1827	御寄付之帳	
534	文政10年	1827	借用申金子之事	
535	文政10年	1827	乍恐以書付奉願上候	飯田・市田両宿からの賃銭割増の願出
536	文政11年	1828	出火類焼ニ付御見舞受納覚	
537	文政11年	1828	草木撰種録	絵図になっておる
538	文政11年	1828	御触書	
539	文政11年	1828	頼母子口数定帳	
540	文政11年	1828	年内入用覚	
541	文政11年	1828	家作ニ付当座覚帳	
542	文政11年	1828	観音堂入用諸色帳	
543	文政11年	1828	御用先触控	
544	文政11年	1828	観音堂再建募録席	
545	文政11年	1828	観音堂再建勸化帳	
546	文政11年	1828	地所譲り渡し申證文之事	
547	文政11年	1828	郷藏普請萬覚帳	上市田村役所
548	文政11年	1828	乍恐以書付奉申上候	宿継トシテ荷物ヲ仰セラレ度御奉行所へ
549	文政11年	1828	乍恐以書付奉申上候	宿継トシテ荷物ヲ仰セラレ度御奉行所へ
550	文政11年	1828	奉願上候口上書之事 他二通	当正月二十二日夜類焼仕候につき役場と相用候分木品被下置候段被仰出仕合に奉存候、忝間に五間半の役場
551	文政12年	1829	差上申済口証文之事	蔦島名主半次外三人より伊奈郡宿外十二宿相手取った訴訟は内済となり
552	文政12年	1829	一札の事	水神社修覆につき一札
553	文政12年	1829	御用先触控	
554	文政13年	1830	飯田宿市田宿両宿役人代飯田宿年寄兼組頭久左衛門より御奉行所へ願出	割増賃銭の嘆願
555	文政13年	1830	定	市田宿当寅年九月より五ヶ年間駄賃並に人足賃銭四割増也 奉行
556	文政13年	1830	飯田、市田の間の御伝馬賃銭増願	
557	文政13年	1830	観音御堂再建勸化諸色控	
558	文政13年	1830	乍恐以書付奉願上候	中馬稼について
559	文政13年	1830	乍恐以口上書奉願上候	御代官所へ
560	文政13年	1830	仮名御手本	寺子屋教材
561	文政13年	1830	仮名御手本	寺子屋教材
562	文政13年	1830	拝借金之事	
563	天保1年	1830	記(出生届)	
564	文政13年	1830	飯田御家中御屋敷附御役人上下にわり御屋敷	
565	文政13年	1830	往来一札之事	禪宗、龍田寺の一札
566	天保2年	1831	乍恐以口上書奉願上候	髪結所設置致し度願出

通番	年号	西暦	文書名	備考
567	天保2年	1831	観音堂再建勸化帳	
568	天保2年	1831	観音堂勸化帳 北方・大瀬木・山村・一色・毛賀・下殿岡・名古熊・駄科・島田・永野原	
569	天保2年	1831	御用並諸土方先触控	
570	天保2年	1831	乍恐以書付御訴詔奉申上候(原本)	
571	天保2年	1831	取嚏一札之事	
572	天保2年	1831	寺送り一札之事	大河原香松寺より別婦村経蔵寺へ
573	天保2年	1831	請渡申一札之事	
574	天保2年	1831	乍恐以口上書奉願上候御事	
575	天保2年	1831	借用申金子之事	
576	天保2年	1831	借用申金子證文之事	
577	天保3年	1832	問屋御免隠居被仰付跡役九兵衛被仰付為祝儀受納控帳	
578	天保3年	1832	差上申御請書之事	内藤新宿よりの御達(御触)の請書
579	天保3年	1832	観音堂再建諸色付	
580	天保3年	1832	普請二付見舞并諸事覚帳	
581	天保3年	1832	御用並諸土方先触控	
582	天保3年	1832	詩歌御手本	
583	天保3年	1832	江戸往来跡書	自筆本
584	天保3年	1832	江戸往来御手本	寺子屋教材
585	天保3年	1832	年済金證文之事	
586	天保4年	1833	御用状御先触控帳	傳馬関係書類
587	天保4年	1833	御用状御先触控帳	
588	天保4年	1833	観音堂再建勸化帳	伝馬帳・知久町・大横町など
589	天保4年	1833	覚七通	
590	天保4年	1833	此近年諸国とも豊作なき故米價光高直也・・・	
591	天保4年	1833	乍恐以書付奉願上候御事	土地ニツイテノ出入ニツキ願出
592	天保5年	1834	宿場取計方御尋ニ付乍恐以書付口上書申上候	関川源左衛門より下郷御代官所へ
593	天保5年	1834	往来証文	御勘定奉行所出役小仏御関所へ
594	天保5年	1834	覚書	当市田駅大火文政十一子年正月廿三日
595	天保5年	1834	御用状御先触控帳	正月大吉
596	天保5年	1834	牛牧井口御願書	
597	天保5年	1834	浪人者等についておふれ	
598	天保5年	1834	宿場取計方御尋につき乍恐口上書申上候	宿役で多忙のため助人馬拝借致し度願上
599	天保6年	1835	乍恐以口上書奉願上候	飯田及び、市田宿より賃銀割増の義
600	天保6年	1835	御用状御先触控帳	正月大吉日
601	天保6年	1835	乍恐以書付奉願上候	木曾御伝馬代助郷御赦免下され度
602	天保6年	1835	乍恐以書付奉願上候御事	木曾御伝馬の儀御赦免下され度
603	天保6年	1835	殺報転輪記 卷上	
604	天保6年	1835	悪狐三国伝記 七・八・九	
605	天保6年	1835	御見舞受納帳	
606	天保6年	1835	大嶋郷名子村宗門人別改帳	
607	天保7年	1836	三州大樹寺御使僧御下りの節過遣人足賃錢拂戻請取帳	
608	天保7年	1836	御年貢米納通	

通番	年号	西暦	文書名	備考
609	天保7年	1836	御請負証文之事	御払米について御上納いたすべき請書
610	天保7年	1836	御用状御先触控帳	申二月二日
611	天保7年	1836	送り一札の事	上平村庄屋より上市田庄屋へ
612	天保7年	1836	御請負証文之事	代官所へ
613	天保8年	1837	御用状御先触写帳	
614	天保8年	1837	御年貢米納通	
615	天保8年	1837	往来手形之事	安養院より所々関所へ
616	天保8年	1837	乍恐以書付奉願上候	継立荷物少くなり不景気について
617	天保8年	1837	御粥米頂戴仕候	
618	天保8年	1837	新規白灰荷問屋御願書一通	
619	天保8年	1837	御用状御先触写帳	酉極月吉日
620	天保8年	1837	御用状御先触写帳	酉八月吉日より
621	天保8年	1837	観音作徳諸入用指引帳	
622	天保8年	1837	中山観世音記	
623	天保8年	1837	寿明姫様御用輿被仰付之高	
624	天保8年	1837	上郷午御物成惣高帳写	
625	天保8年	1837	上市田村酉御年貢米納目録	
626	天保8年	1838	曆	
627	天保9年	1838	御年貢米未納分について和談の一札	
628	天保9年	1838	御触	御巡見様罷越につきて
629	天保9年	1838	御料御巡見様御先触写帳	十七日片桐町泊宿、十八日休飯田城下泊駒場
630	天保9年	1838	御料御巡見御通行ニ付在方江差 函帳	上郷写置控遺憾のないよう村中へのおふれ書き
631	天保9年	1838	人馬継立帳	
632	天保9年	1838	上郷往還筋町数相改書上帳	
633	天保9年	1838	井筋裁許状に対す御願	
634	天保9年	1838	上市田村御上納持高帳	
635	天保9年	1838	観音作徳御入用指引帳	
636	天保9年	1838	伊勢宮普請入用帳	
637	天保9年	1838	御用状御先触写帳	
638	天保9年	1838	御触書写	
639	天保9年	1838	一札之事	喜右衛門の養子より
640	天保9年	1838	御巡見様御通行入用	
641	天保9年	1838	御巡見様御通行諸色書附袋	国役銭取集覚外
642	天保9年	1838	為取替一札之事	御料御巡見様御通行についての御触
643	天保10年	1839	道中記	伊勢街道、西国順礼大和、京大阪関川
644	天保10年	1839	御用状御先触控帳	
645	天保10年	1839	上市田村亥村役勤差引帳	
646	天保10年	1839	暮本貫元割合帳	
647	天保10年	1839	借用申米證文事	
648	天保10年	1839	天保十亥暮不時貫割合帳	
649	天保10年	1839	上市田村亥盆前不時貫割合帳	
650	天保10年	1839	三都大夫三味線人形見立角力	
651	天保11年	1840	盆前覚帳	
652	天保11年	1840	乍恐以書付奉申上候口上書之事	宿継立駄賃割増し仰付けられ度願出
653	天保11年	1840	御年貢米納通	
654	天保11年	1840	子年村高人馬家数取調覚	天保十一年より嘉永三年ニイタル戸数、人馬数等

通番	年号	西暦	文書名	備考
655	天保11年	1840	観音堂造作日記帳	
656	天保11年	1840	御用状御先触継立帳	
657	天保11年	1840	御用状御先触写帳	2月大吉
658	天保11年	1840	御用状御先触控帳	
659	天保11年	1840	御用状先触写帳	11月吉日
660	天保11年	1840	大嶋川端御林捨子入用帳 上市田村	
661	天保12年	1841	荒神左屋観音造作入用割合帳	他一綴
662	天保12年	1841	借用申米證文之事	米貳俵也
663	天保12年	1841	借用申米證文之事	米三俵三斗也
664	天保12年	1841	観音堂什物施主帳 観音堂普請残木入札帳	天保13年(1842)
665	天保12年	1841	上市田村貫帳	
666	天保12年	1841	従御公儀様倭約御触書写	
667	天保13年	1842	禪宗門御改帳	
668	天保13年	1842	縁談並諸色願書写牒	
669	天保13年	1842	一世一代浄瑠璃会目録請納牒	
670	天保13年	1842	口上書	上市田村役人氏名
671	天保13年	1842	御公儀様倭約御触	婚礼其の他日常生活
672	天保13年	1842	御用状御先触控帳	寅二月大吉日
673	天保13年	1842	御用状御先触写帳	己極月吉祥日
674	天保13年	1842	邑用金貸付名前帳	(二冊)
675	天保13年	1842	上市田村不時貫割合帳	
676	天保13年	1842	御改ニ付役人共名前書上帳下書	
677	天保13年	1842	譲渡シ申金子證文之事	
678	天保13年	1842	覚	久治郎貸金の請求を問屋へもちこむ一札
679	天保13年	1842	差出申一札之事	江戸御屋敷御部屋へ奉公致す旨挨拶
680	天保13年	1842	奉願上口上書之事	
681	天保14年	1843	上市田村御上納当時持高帳	問屋庄屋兼帯関川源左衛門控
682	天保14年	1843	御年貢米勘定帳	
683	天保14年	1843	御用状御先触控帳	
684	天保14年	1843	御用状御先触写帳	
685	天保14年	1843	御達書之写	堀大和守様より立木伐取りについて
686	天保14年	1843	御村金連名改帳	
687	天保14年	1843	見世日記帳	
688	天保14年	1843	往生要集卷之下	
689	天保14年	1843	御祝儀受納帳	三拾一代嫡子関川弥次右衛門光定
690	天保14年	1843	諏方本宮下社御奇附	
691	天保14年	1843	借用申米證文之事	
692	天保14年	1843	米證文一札之事	借用人平八
693	天保14年	1843	借用申米證文之事	
694	天保14年	1843	米證文一札之事	借用人長右衛門
695	天保14年	1843	従公儀御觸書写帳	上市田村扣
696	天保14年	1843	上市田村卯御年貢米納目録	下書
697	天保15年	1844	村送り状	
698	天保15年	1844	乍恐奉願上候口上書之事	上市田村より御奉行所へ伝馬役につき誠に難渋につき御助米壺人につき米一俵づ、御下渡くださるよう
699	天保15年	1844	乍恐以書付奉願上候口上書の事	村方産土神火を焚き迷惑な一件

通番	年号	西暦	文書名	備考
700	天保15年	1844	御宮建立諸入用割合	
701	天保15年	1844	乍恐以書付奉願上候、口上書の事	御伝馬役軒へ米壺俵づつ御免許下され度
702	天保15年	1844	禅宗門御改帳	法宗宗、浄土宗、家数改帳
703	天保15年	1844	御宮入用帳	
704	天保15年	1844	宗旨送り一札之事	玉川寺より長光寺
705	天保15年	1844	本朝年代記	
706	天保15年	1844	天保十五辰暮本貫帳	
707	天保15年	1844	譲り渡し申證文之事	
708	弘化元年	1844	御葬送の列	三条左大臣以下約八十余名列記す
709	天保15年	1844	殿様日光山御供の節増御用金(三度)内天保十五年取集連名帳	
710				
711	天保15年	1844	奉願上候口上書之事	当宿御伝馬役の義益々困難につき宿のものども召出し
712	弘化2年	1845	上市田村巳御年貢米納目録	
713	弘化2年	1845	乍恐奉願上候口上書之事	伝馬町一丁目外より(総代)伝馬賃銭割増十ヶ年据置と致され度御奉行所へ願出
714	弘化2年	1845	乍恐奉願上候口上書の事	従来十六俵のところ難渋につき一人一俵づゝ御下げくださるよう願上
715	弘化2年	1845	神中雲上便覧	東宮御所、桂殿、閑院殿外
716	弘化2年	1845	御用状御先触控帳	
717	弘化2年	1845	弘化ニ巳暮諸色入用覚帳	
718	弘化2年	1845	人足、軽尻馬、本馬出し数	
719	弘化2年	1845	米證文一札之事	
720	弘化2年	1845	米證文事	
721	弘化2年	1845	譲渡申古屋敷并家壺軒畑壺枚證文事	
722	弘化2年	1845	申定一札之事	惣右衛門屋敷に旅籠屋はじめ度願出
723	弘化2年	1845	防州岩国錦帯橋辺関戸之人の歌数十首	
724	弘化2年	1845	上市田村巳御年貢米納目録 下書	伝馬役科七俵式斗式升式合八勺は初めてか
725	弘化3年	1846	浄土宗門御改帳	
726	弘化3年	1846	巴賄帳	
727	弘化3年	1846	六ヶ村入用並ニ取替金控	
728	弘化3年	1846	召上地御引渡しニ付入用覚帳	
729				
730	弘化3年	1846	覚	威銃鉄砲所持届 御代官所へ
731	弘化3年	1846	乍恐以書付奉願上候	御陣屋御造営の際は御用達仕るべく申出
732	弘化3年	1846	上市田村高反別帳	
733	弘化3年	1846	御用状御先触控帳	
734	弘化3年	1846	暮貫大調帳	
735	弘化3年	1846	従御領主様被仰渡候御條目奉承知村中御請連印帳	
736	弘化3年	1846	上市田村中なれ合のこと	
737	弘化3年	1846	上市田村林帳	
738	弘化3年	1846	上市田村役人より御領主様へ願出	火災、凶作打続き困窮致し居候につき陣屋造営工事に御手伝さして戴き度願出

通番	年号	西暦	文書名	備考
739				
740	弘化3年	1846	御年貢皆済目録	
741	弘化3年	1846	永流御届書 上市田村	
742	弘化3年	1846	関川庄屋への文章	前が切れていて題が無い
743	弘化3年	1846	御伝馬色々四割増見書之衣	袋のみ
744	弘化3年	1846	奉願上候口上書之事	
745				
746	弘化3年	1846	陣屋御造営廻文	大工永之蒸
747	弘化3年	1846	借用申年賦金證文之事	借用人片桐町保兵衛、乙次郎、勇次郎
748	弘化3年	1846	借用申年賦金證文之事	借用人片桐町彦四郎、八五郎、甚左衛門
749	弘化3年	1846	御尋ニ付申上候口上書	市田宿問屋関川源左衛門
750	弘化3年	1846	御尋ニ付申上候口上書	関川家の由緒・経歴
751	弘化3年	1846	御伝馬四割増之義につき吟味の件	
752				
753				
754	弘化4年	1847	村方明細書	上市田村
755	弘化4年	1847	村方明細書	上市田村
756	弘化4年	1847	村方明細書 吉田村	
757	弘化4年	1847	村方明細書 出原村	
758	弘化4年	1847	村方明細書 大嶋山村	
759	弘化4年	1847	寺子謝礼控帳	
760	弘化4年	1847	禅宗門御改帳	
761	弘化4年	1847	乍恐以書付奉願上候	次郎右衛門より弟喜代太郎分家届
762	弘化4年	1847	御陣屋御門前田所御届	
763	弘化4年	1847	申定一札の事	惣右衛門宿内に家作旅籠屋はじめ度願出
764	弘化4年	1847	申定一札の事	小次郎役屋敷外にて旅籠屋相許したるも今後は許させまじく申定
765	弘化4年	1847	乍恐以書付奉願上候	難渋につき早稲刈御免下され度願出
766	弘化4年	1847	御年貢米割判帳	
767	弘化4年	1847	御用状御先触控帳	
768	弘化4年	1847	急御用廻文御触	
769	弘化4年	1847	盆前本貫帳 上市田村	
770	弘化4年	1847	暮本貫割帳 上市田村	
771	弘化4年	1847	郷蔵庭帳 上市田村	
772	弘化4年	1847	覚と譲渡申林・墓所證文之事	
773	弘化4年	1847	人足、馬割当 覚	
774	弘化4年	1847	宗門人別御改帳 名子村	
775	弘化4年	1847	道中日記帳	
776	弘化4年	1847	三ヶ年調べ出し覚	
777	弘化4年	1847	村方明細書	上市田村
778	弘化4年	1847	乍恐以書付奉願上候	喜代太郎妻子共分家する届出
779	弘化4年	1847	奉 請取米之事	伝馬役料三石貳斗二升八合含む
780	弘化5年	1848	御用状御先触控	
781	弘化5年	1848	髪結床発起人名前帳	
782	嘉永～慶応	1848	村送り・寺送り二六点	
783	嘉永頃	1848	往来手形3件	
784	嘉永元年	1848	以書付奉申上候	市田宿継立人馬賃銭勘定書

通番	年 号	西暦	文 書 名	備 考
785	嘉永元年	1848	乍恐以書付奉願上候	定助郷の義御除き下さるよう願出
786	嘉永元年	1848	中馬出入一件ニ付立入済口帳	名子村外拾壺ヶ村と吉田、牛牧両村と中馬稼場所について
787	嘉永元年	1848	御触	牧田貫一郎様御改名して平兵衛
788	嘉永元年	1848	中仙道和田宿備日ニ立人馬助郷十五ヶ村李御請一件	
789	嘉永元年	1848	道中日記帳	江戸表行き
790	嘉永元年	1848	差上申御請書之事	
791	嘉永元年	1848	乍恐以書付御伺奉申上候	殿様被遊御逝去候により五拾目拭蠟燭壺箱
792	嘉永元年	1848	乍恐以書付奉申上候	殿様御養子被為濟若殿様御相談被為蒙御樽肴料献上仕候
793	嘉永1年	1848	乍恐以書付御届奉申上候	河野村源蔵
794	嘉永元年	1848	借用申金子之事	
795	嘉永元年	1848	中山道和田宿… 御請一件	
796	嘉永元年	1848	雇人等取扱5件	
797	嘉永元年	1848	差出申済口証文之事	中馬稼につき論争
798	嘉永元年	1848	以書付御届奉申上候 他一通	借入金内済につき届出
799	嘉永2年	1849	村役金高掛割附取米帳	
800	嘉永2年	1849	村内馴合取極書付之事	御伝馬継立につき宿内拾九人外に水役式人合計式拾壺人
801	嘉永2年	1849	助人馬中津川詰六ヶ村訴頭人控	
802	嘉永2年	1849	木曾四宿に關係ある書類	
803	嘉永2年	1849	乍恐以書付奉申上候	賃銀六割増の儀御聞届け下され度市田宿より
804	嘉永2年	1849	書付を以御届奉申上候	当酉御年貢米上納について
805	嘉永2年	1849	乍恐以書付奉願上候	病気の為め入湯に出かけ度願出
806	嘉永2年	1849	元紀州様御附各田見房次郎様より飯田在元善光寺へ御寄付の品	内藤新宿問屋役人より
807	嘉永2年	1849	御用人馬継立日ノ帳	
808	嘉永2年	1849	御用状御先触控帳	
809	嘉永2年	1849	盆後日記帳	
810	嘉永2年	1849	積添取集名前帳	嘉永六年のものと二冊
811	嘉永2年	1849	郷中村々連印書付を以て御届	金五両御陣屋御修覆金として惣村中より年々
812	嘉永2年	1849	觀世音畑林掟年之替済帳	
813	嘉永2年	1849	御陣屋地所見舞金割帳	
814	嘉永2年	1849	御見舞受納帳	
815	嘉永2年	1849	又助人足賃銀取集め帳	
816	嘉永2年	1849	以書付奉願上候	米式拾俵
817	嘉永2年	1849	郡中議定連印帳	
818	嘉永2年	1849	木曾伝馬助合人足代割合帳	上市田村始川西拾ヶ村
819	嘉永2年	1849	譲り渡し申畑証文之事	
820	嘉永2年	1849	村金取集帳	
821	嘉永2年	1849	奉差上候済口証文の事	福与村山分中山方庄屋組頭は入札を以てきめろとその議定書
822	嘉永2年	1849	村方入用取替物等内訳帳	
823	嘉永2年	1849	神祇道御講解につき拜聴のこと	各村総代の請書
824	嘉永2年	1849	奉請取米之事 下書	上市田役人より市田役所へ
825	嘉永2年	1849	以書付御届奉申上候	御年貢本途米
826	嘉永2年	1849	差出し申一札之事	
827	嘉永3年	1850	差上申請状之事	藤松と申者に座光寺村林右衛門

通番	年 号	西暦	文 書 名	備 考
828	嘉永 3 年	1850	諸色入用覚	歎願出府惣代中
829	嘉永 3 年	1850	御伝馬賃銭並割増賃銭共御尋ニ付キ書上帳	
830	嘉永 3 年	1850	御相对雇賃銭拂戻ニ付宿々請取帳写	
831	嘉永 3 年	1850	乍恐以書付奉願上候	御先触高倍増人足三十二人
832	嘉永 3 年	1850	乍恐書付御愁訴奉申上候	出原村外七ヶ村より道中御奉行所へ新規定助郷役之義御免除下さるよう
833	嘉永 3 年	1850	人馬家数書ヶ帳	
834	嘉永 3 年	1850	法花宗門御改帳	
835	嘉永 3 年	1850	禪宗門御改帳	
836	嘉永 3 年	1850	人馬家数御改帳	
837	嘉永 3 年	1850	浄土宗門御改帳	上市田村
838	嘉永 3 年	1850	禪宗宗門張	上市田村
839	嘉永 3 年	1850	助人馬入用高御調ニ付書上ヶ帳	市田宿問屋
840	嘉永 3 年	1850	御伝馬賃銭並割増賃銭共御尋ニ付書上ヶ帳	
841	嘉永 3 年	1850	乍恐以書付奉歎願候	下市田村庄屋の事について願出
842	嘉永 3 年	1850	乍恐以書付奉願上候	中仙道贅川宿及び外宿より定助郷差村についての歎願
843	嘉永 3 年	1850	乍恐以書付奉願上候	木曾贅川外拾壹宿より差村とせられたる定助郷の義特に御免じ下されたく願出
844	嘉永 3 年	1850	乍恐以書付奉願上候	御伝馬賃銭割増方願出
845	嘉永 3 年	1850	旅館賄代値上げ下さるやう願上	
846	嘉永 3 年	1850	乍恐以書付奉願上候	困窮仕候間伝馬賃銀十ヶ年御増仰付られ度
847	嘉永 3 年	1850	乍恐以書付御届奉申上候	御制札場屋根修覆について
848	嘉永 3 年	1850	人馬駄賃帳	
849	嘉永 3 年	1850	道中諸入用日記覚帳	
850	嘉永 3 年	1850	御用人馬日々帳	
851	嘉永 3 年	1850	乍恐以書付御届奉申上候	御年頭御祝儀御樽肴料金壹両奉献納申上候
852	嘉永 3 年	1850	乍恐以書付奉願上	市田六ヶ村と今田村より 木曾助郷免除願
853	嘉永 3 年	1850	以書附御届奉申上候	粃三俵取集メ慥ニ積添置申候
854	嘉永 3 年	1850	上野山一福祥寺一撰州須磨寺靈宝本尊聖観音	
855	嘉永 3 年	1850	助人馬入用高御調ニ付書上ヶ帳	市田宿問屋関川源左衛門
856	嘉永 3 年	1850	借家人別御改帳	上市田村
857	嘉永 3 年	1850	借用申金子之事	
858	嘉永 3 年	1850	乍恐以書付奉願上候	御制札場屋根の件
859	嘉永 3 年	1850	乍恐以書付奉願上候	木曾助郷御赦免歎願
860	嘉永 3 年	1850	乍恐以書付奉御愁訴候	市田六ヶ村と今田村より御役所へ木曾助郷御免除願 文書無
861	嘉永 3 年	1850	行倒病人取扱一件	7 点
862	嘉永 3 年	1850	乍恐以書付御届奉申上候	御制場尾根修理につき材料見積書
863	嘉永 3 年	1850	乍恐以書付奉願上候 他四通	長峯兵之丞より父医師宗仙義
864	嘉永 3 年	1850	乍恐書付を以て奉願上候	長峯より市田役所へ願出の粃拾五俵貸与の事
865	嘉永 3 年	1850	乍恐以書付御届奉申上候	御公儀様御順村
866	嘉永 3 年	1850	乍恐以書付御礼奉申上候	御領分村々勸化に及ばざる向につき
867	嘉永 3 年	1850	乍恐以書付御届奉申上候	死人届
868	嘉永 3 年	1850	乍恐以書付御届奉申上候	病人届
869	嘉永 4 年	1851	御証文先触	

通番	年号	西暦	文書名	備考
870	嘉永4年	1851	村役金高掛割付取集帳	
871	嘉永4年	1851	割増賃銭御伝馬継立帳下書	
872	嘉永4年	1851	差上申一札の事	濃洲の者夫弁蔵病死したるも御迷惑かけぬ一札妻よしより
873	嘉永4年	1851	覚	飯田相場御届金拾両につき地廻り米貳拾貳俵奥米貳拾三俵金壹両につき白大豆九斗二升奥大豆九斗五升、原町庄屋より
874	嘉永4年	1851	乍恐以書付奉願上候	当村永引地の内式件取調の結果
875	嘉永4年	1851	乍恐以書付御届奉申上候	当時飯田相場
876	嘉永4年	1851	乍恐以書付御届奉申上候	元禄十五年堤地永引被仰付候につき
877	嘉永4年	1851	奉請取米之事	問屋給米、伝馬役給料其他
878	嘉永4年	1851	乍恐以書付奉願上候	天竜川の洪水にて御田地川欠、石砂土等にて難渋仕候
879	嘉永4年	1851	乍恐以書付御届申上候	大丸山の土地之義一同差支なき旨届出
880	嘉永4年	1851	覚	金銭請取書
881	嘉永4年	1851	乍恐以書付奉申上候	御先触に添書の案文
882	嘉永4年	1851	乍恐以書付御届奉申上候	盗難の届出
883	嘉永4年	1851	村送り病死の件一括	十点
884	嘉永4年	1851	従江戸信州迄道中駄賃帳	
885	嘉永4年	1851	御用人馬継立日々帳	
886	嘉永4年	1851	諸賄出入控帳	
887	嘉永4年	1851	村高家数並人別共書上帳	
888	嘉永4年	1851	御用人馬継立高書上帳	
889	嘉永4年	1851	十八人講連名簿	上市田村高家数、人口、馬相違無之
890	嘉永4年	1851	行路病人取扱の一件 数点	紀州小原村常助及三男福松
891	嘉永4年	1851	助人足勘定調書	
892	嘉永4年	1851	乍恐以書付御届奉申上候	年頭御祝儀奉申上候
893	嘉永4年	1851	御年貢米納所庭帳 上市田村	
894	嘉永4年	1851	五人組御改帳	
895	嘉永4年	1851	御触書写	
896	嘉永4年	1851	御用留日記帳	
897	嘉永4年	1851	大嶋酒屋祖母不幸に付御見舞請納帳	
898	嘉永4年	1851	諸書面御落書并御休泊附帳	御普請役 上條要助より中仙道伊那街道人馬継合村々役人へ
899	嘉永4年	1851	覚	人足代米并籠糶代米の手当請取
900	嘉永4年	1851	借用申金子證文之事	
901	嘉永4年	1851	亥年免定之事	上市田村
902	嘉永4年	1851	積添糶取集名前帳	
903	嘉永4年	1851	為取替申済口証文之事	畑壺枚譲渡につき証文
904	嘉永4年	1851	乍恐以書付御伺奉申上候	継立御定賃銭飯田同様に割増下さるやう
905	嘉永4年	1851	乍恐以書付御窺奉申上候他四通	殿様今般御奏者番仰付られにつき御樽肴献上し儀につき伺上
906	嘉永4年	1851	覚	諸職人より運上金御上納書
907	嘉永4年	1851	乍恐以書付奉願上候	指物大工の御役儀御免除願
908	嘉永4年	1851	村送り一札の事	上市田村より下市田村へ
909	嘉永4年	1851	乍恐以書付御届奉申上候	原畑永引仰付けられたること
910	嘉永4年	1851	乍恐以書付御届奉申上候	三河国嘉右衛門之住居の事
911	嘉永4年	1851	乍恐以書付奉申上候	殿様御奏者番仰付られ候につき

通番	年号	西暦	文書名	備考
912	嘉永5年	1852	浄土宗門御改帳下帳	上市田村
913	嘉永5年	1852	萬覚書控帳	
914	嘉永5年	1852	借家人別御改帳	
915	嘉永5年	1852	乍恐以書付御届奉申上候	瀧蔵より肴類小売仕度届出
916	嘉永5年	1852	乍恐以書付御伺奉申上候(二通)	大神宮境内に拝殿建築仕度願出
917	嘉永5年	1852	乍恐以書付御届奉申上候	飯田の者兵吉一家当村へ罷越茶見せ渡世いたし度届出
918	嘉永5年	1852	乍恐以書付御届奉申上候	瀧蔵肴小売致し度市田役所へ
919	嘉永5年	1852	乍恐以書付御伺申上候	大神宮境内に舞家普請仕度届出
920	嘉永5年	1852	乍恐以書付奉願上候	療養のため白骨温泉へ入湯致度届出
921	嘉永5年	1852	乍恐以書付御届奉申上候	下市田村丈助上市田村へ引移り度願出
922	嘉永5年	1852	御用留日記帳	
923	嘉永5年	1852	井口一件四ヶ村御賄書抜帳	
924	嘉永5年	1852	御用人馬継立日〆帳	
925	嘉永5年	1852	糶貸付覚帳	
926	嘉永5年	1852	覚 正徳五年永引治郎右衛門高調帳	
927	嘉永5年	1852	差出申書付の事	大島川井口引分けにつき出原村と上市田村下市田村と熟談
928	嘉永5年	1852	村送り一通	
929	嘉永5年	1852	御鎮守拝殿造営入用割合帳	
930	嘉永5年	1852	法華宗門御改帳下帳	
931	嘉永5年	1852	禪宗門御改帳下帳	
932	嘉永5年	1852	乍恐以書付御届奉申上候	今田村諏訪大明神神職脇坂甚太夫
933	嘉永5年	1852	奉拝借金子之事	
934	嘉永5年	1852	子年免定之事	上市田村
935	嘉永5年	1852	譲り渡し申林證文之事	
936	嘉永5年	1852	乍恐以書付奉願上候	人馬38人先触
937	嘉永5年	1852	乍恐以書付奉願上候	牢屋下番相勤めさす儀
938	嘉永5年	1852	乍恐以書付返答奉申上候	出原村より市田役所へ山道通行致さざる様願上
939	嘉永5年	1852	乍恐以書付奉願上候	入会滝入山道一件、出原村より差出願書
940	嘉永5年	1852	人馬家数御改帳	
941	嘉永5年	1852	乍恐以書付奉願上候	延宝七年、元禄元年の絵図面は御役所へ
942	嘉永5年	1852	借用申金子證文之事	金23両、打沢村庄屋から源左衛門へ
943	嘉永5年	1852	入置申一札之事	打沢村庄屋より関川源左衛門へ御金利足の日延願い
944	嘉永6年	1853	冥加金持高割取集帳	
945	嘉永6年	1853	禪宗門御改帳	
946	嘉永6年	1853	問屋役見習被仰付候二付祝儀受納帳	
947	嘉永6年	1853	覚	御陣内、御門外、道普請の人馬調
948	嘉永6年	1853	乍恐以書付歎願奉申上候	千代作の事につき御有免下さるよう願出
949	嘉永6年	1853	乍恐御願上仕候口上書之覚	御配札について願出
950	嘉永6年	1853	為取替議定書之事	大島山川分木につき議定書
951	嘉永6年	1853	牛牧井口入用割合帳	
952	嘉永6年	1853	大島山村、上市田村、下市田村井口入用帳	
953	嘉永6年	1853	御用人馬継立日〆帳	

通番	年号	西暦	文書名	備考
954	嘉永6年	1853	御年貢米割判帳	
955	嘉永6年	1853	幕寄付連名帳	神守家世話人
956	嘉永6年	1853	村役金高掛ヶ割付取集帳	
957	嘉永6年	1853	乍恐奉願口上書	紀州熊野御師 山東泉大夫より原町御役所へ毎年配札仕り度旨願出
958	嘉永6年	1853	法家宗門御改帳	
959	嘉永6年	1853	借家人別御改帳	
960	嘉永6年	1853	浄土宗門御改帳	
961	嘉永6年	1853	奉拝借金子之事	
962	嘉永6年	1853	差上ヶ申御請書之事	
963	嘉永6年	1853	丑年免定之事	上市田村
964	嘉永6年	1853	乍恐以書付御歎願奉申上候	下市田村千代作心得違にて手鎖となる
965	嘉永6年	1853	人馬家数御改帳	
966	嘉永6年	1853	差上申一札之事	福与村休作灰屋方出火
967	嘉永7年	1854	乍恐以書付御伺奉申上候	小笠原豊松丸様御出府ニ付キ私控屋敷内の御茶屋御殿に御休足の儀
968	嘉永7年	1854	亜墨利加船渡来上陸之者共に馳走被成候献立風説聞覚帳	
969	嘉永7年	1854	浄土宗門御改帳	
970	嘉永7年	1854	禪宗門御改帳	
971	嘉永7年	1854	法華宗門御改帳	
972	嘉永7年	1854	借家人別御改帳	
973	嘉永7年	1854	禪宗門御改帳(乙)	
974	嘉永7年	1854	人馬家数御改帳	
975	嘉永7年	1854	御札ニ付乍恐以書付奉申上候	貸金ノ滞済二ツキ御返答書
976	嘉永7年	1854	乍恐以書付奉申上候	福与村中山庄屋三郎右衛門より
977	嘉永7年	1854	乍恐以書付御届申上候(控)	十一月四日朝の地震、人畜に被害なかった御届
978	嘉永7年	1854	乍恐以書付御届奉申上候	十一月四日朝の地震、人畜に被害なかった御届
979	嘉永7年	1854	村内馴合取極之事(控)	当宿人馬勤役について取極の箇條書き
980	嘉永7年	1854	乍恐以書付御届奉申上候	惣代を以て正月年頭御祝儀奉申上候
981	嘉永7年	1854	借金について願候	下市田村役人より村方幸右衛門他二人が林村、宗四郎より
982	嘉永7年	1854	乍恐以書付奉願上候	見廻役退役仰付られたく願出
983	嘉永7年	1854	差出申一札之事(下書き)	上市田村宿在共馴合談事一決の一札
984	嘉永7年	1854	村内馴合取極之事(下書き)	当宿人馬勤役について取極の箇條書
985	嘉永7年	1854	村方馴合取極之事	三点
986	嘉永7年	1854	乍恐以書付奉申上候	起返し地の年貢上納仕度
987	嘉永7年	1854	嘉永七寅・八卯年内諸入用出入控帳 嘉永六丑・七寅年諸色日記帳	
988	嘉永7年	1854	御用状御先触継立日ノ帳	
989	嘉永7年	1854	御用人馬継立日ノ帳	
990	嘉永7年	1854	差出申一札之事	新発田致すまじく切添も同様なりと両者和決の爲めの一札
991	嘉永7年	1854	村方馴合取極之事	
992	嘉永7年	1854	持馬怪我之節御見舞受帳	近隣よりの見舞
993	嘉永7年	1854	乍恐以書付御届ヶ奉申上候	地震取調べ
994	嘉永7年	1854	借用申金子證文之事	
995	安政・万延・文久	1854	伝馬についての調書一括	

通番	年号	西暦	文書名	備考
996	嘉永7年	1854	出入一和熟済入用調集帳	江戸表ニテ明嶋村被官忠左衛門外不始末致シタルコトニツキ請書
997	嘉永7年	1854	乍恐以書付御慈悲奉願上候	被官共と主人との出入あり役所へ願上
998	嘉永7年	1854	乍恐以書付御歎願奉申上候	御祈祷祭に参加一件
999	嘉永7年	1854	御陣屋内外道普請ニ付見舞金受納覚	
1000	安政元年	1854	種物買出し方覚	
1001	嘉永7年	1854	差出シ申一札之事	
1002	嘉永7年	1854	差出し申一札之事	上市田、下市田の考へ方熟内済となる
1003	嘉永7年	1854	乍恐以書付奉歎願候	
1004	嘉永7年	1854	乍恐以書付御慈悲筋奉願上候	
1005	嘉永7年	1854	済口議定御請書之事	荒地起返り年貢について明嶋村の被官騒動
1006	安政2年	1855	人馬家数御改帳	
1007	安政2年	1855	問屋本役被仰付祝物受納帳	
1008	安政2年	1855	助人馬入用高御調ニ付書上ヶ帳	
1009	安政2年	1855	乍恐以書付御歎願奉申上候	上市田村、名某、風聞宜しからず候も本人後悔、改心仕候につき
1010	安政2年	1855	乍恐以書付奉申上候	御制札場壹ヶ所修理見積書
1011	安政2年	1855	差上申御請書之事	今田組上組、中組、下組惣代より市田役所へ
1012	安政2年	1855	乍恐以書付御歎願奉申上候	今田村共四ヶ村役人より受取御年貢につきて願出
1013	安政2年	1855	御尋につき奉申上候	瑠璃寺より梵鐘、寺中、末寺につき
1014	安政2年	1855	差出申請負状の事	人足岩蔵江戸表迄差遣し申すべき事
1015	安政2年	1855	御尋につき奉申上候	松源寺より梵鐘壹ヶ
1016	安政2年	1855	乍恐以書付御歎願申上候	御年貢御宥免下さるよう願上
1017	安政2年	1855	乍恐以書付御歎願奉申上候	南山三拾六ヶ村米納の義につき 2通
1018	安政2年	1855	受取一札之事	領法寺より松源寺へ寺送り
1019	安政2年	1855	乍恐以書付御請奉申上候	金壹千両但講金六ヶ村代表庄屋六人連署
1020	安政2年	1855	乍恐以書付奉願上候	賃銭四割増年季継の義
1021	安政2年	1855	乍恐以書付奉願上候	上市田宿より賃銭割増仰付けられ度
1022	安政2年	1855	乍恐以書付奉願上候	伝馬賃銀割増方願出
1023	安政2年	1855	御制札場御普請見積書	七点
1024	安政2年	1855	乍恐以書付御歎願奉申上候	改心につき御宥免下さるやう願出
1025	安政2年	1855	乍恐奉願上候口上書之事	伝馬賃銭割増仰付けられ度願上
1026	安政2年	1855	御用人馬継立日ヶ帳	
1027	安政2年	1855	講金差引請取帳	
1028	安政2年	1855	積添糶高付名前帳	
1029	安政2年	1855	御殿様頼母子講取集控帳	
1030	安政2年	1855	乍恐以書付御届奉申上候	水車臼数につき届出
1031	安政2年	1855	対談に付議定相定帳	
1032	安政2年	1855	国役金高掛割合取集ヶ帳	
1033	安政2年	1855	無尽懸金取金出入帳	
1034	安政2年	1855	借用申金子之事	
1035	安政2年	1855	金子借用申證文之事	
1036	安政2年	1855	入置申一札之事	
1037	安政2年	1855	乍恐以書付御届奉申上候	被官六左衛門外三人の義
1038	安政2年	1855	諸色入用日記帳	
1039	安政2年	1855	済口議定御請書之事	明島村被官二十六名より主人様への議定書
1040	安政2年	1855	差上申御請書之事	

通番	年号	西暦	文書名	備考
1041	安政2年	1855	東都大地震大火ニツキ取調並お触数十回ニ及ブ	
1042	安政2年	1855	乍恐以書付御歎願奉申上候	上市田村年番庄屋より今後金納の願などしないとの誓い
1043	安政2年	1855	差出一札之事	明嶋村被官惣代より増米一条について
1044	安政2年	1855	差出申一札之事	明嶋村被官一条につき御館より
1045	安政2年	1855	明嶋村被官26人より主人へ入会山について議定	
1046	安政2年	1855	乍恐以書付御歎願奉申上候	上市田村庄屋より
1047	安政2年	1855	乍恐以書付御歎願奉申上候	明嶋村壱人百姓被官共
1048	安政3年	1856	人馬賃錢拂戻並賃錢差引勘定帳	
1049	安政3年	1856	奉請取錢之事	御用につき御日雇御中間の賃錢
1050	安政3年	1856	御用留日記	
1051	安政3年	1856	浄土宗門御改帳	
1052	安政3年	1856	法華宗門御改帳	
1053				
1054	安政3年	1856	人馬家数御改帳	
1055	安政3年	1856	五人組御改ニ付名前順帳	
1056	安政3年	1856	秋葉太々講趣意書	
1057	安政3年	1856	上下午牧村井口熟談割諸入用留帳	
1058	安政3年	1856	御用人馬継立日ノ帳	
1059	安政3年・4年	1856	助人馬勤方覚帳	
1060	安政3年	1856	諸入用出入帳	
1061	安政3年	1856	御無尽金取集差引帳	
1062	安政3年	1856	積添糶高取調帳	
1063	安政3年	1856	積添糶升高附名前留帳	
1064	安政3年	1856	殿様御頼母子講割合帳	
1065	安政3年	1856	一札	普大寺役僧へ虚無僧鉢の紛敷者入り込につき
1066	安政3年	1856	御鎮守様江地所寄付二付代金割合帳	
1067	安政3年	1856	内事熟談済方議定書	三冊 小次郎に関するもの
1068	安政3年	1856	御鎮守様御祭礼ニ付諸入用ノ揚割合帳	
1069	安政3年	1856	御鎮守境内 地形平均 諸入用日記帳	
1070	安政3年	1856	借用申金子證文之事 (11月)	
1071	安政3年	1856	借用申金子證文之事 (12月)	
1072	安政3年	1856	辰年免定之事	上市田村
1073	安政3年	1856	譲り渡し申林證文之事	
1074	安政3年	1856	差出申候一札の事	中山分源左衛門より 外に3通
1075	安政3年	1856	今田村中組一件ニテ先立入衆中	猶又年番共立入被仰候ニ付き惣名附
1076	安政3年	1856	御小姓組向坂清左衛門様御家来高木大助様御荷物賃儀宿々へ達書	内藤新宿
1077	安政3年	1856	上市田村費調帳	
1078	安政3年	1856	覚	吉田村藤左衛門ら林村伴右衛門へ出金勘定の約束
1079	安政4年	1857	組内役所へ立入方議定之事	庄屋と長百姓熟談立入方について
1080	安政4年	1857	乍恐以書付奉願上候	医師瀧沢揚庵逗留させ度向願出

通番	年号	西暦	文書名	備考
1081	安政4年	1857	乍恐以書付奉願上候	伊那三十三ヶ所観音開帳の年に当るので
1082	安政4年	1857	奉請取米之事	平野村見廻役庄左衛門扶持分
1083	安政4年	1857	村方一同申談取極一札の事	農事不作につき
1084	安政4年	1857	御用人馬継立日ノ帳	
1085	安政4年	1857	御年貢米皆済割判控	
1086	安政4年	1857	村方一同申談取極一札之事	上市田村にて総徳講について相談の一札
1087	安政4年	1857	国役金高掛割合取集帳	
1088	安政4年	1857	村方一同申談取極一札之事	不作難渋につき講等すべて延ばすこと
1089	安政4年・5年	1857	村金利足取集帳	
1090	安政4年	1857	利足勘定帳	
1091	安政4年	1857	書→練習帳手本	
1092	安政4年	1857	乍恐以書付御歎願奉申上候	福与村縫右エ門、同村山分中山分伝右エ門
1093	安政4年	1857	行司免許写(相撲)	
1094	安政4年	1857	内事済口議定書の事	尾科村訴訟人庄屋兵之丞 他4人
1095	安政4年	1857	差上申請取手形之事	瑠璃寺より朱印状の請取(二十五石) 右御朱印云々
1096	安政4年	1857	差上申請取手形之事	瑠璃寺より朱印状の請取(二十五石)
1097	安政4年	1857	於殿様為豊作御祈祷被成下入用留	
1098	安政4年	1857	乍恐以書付御歎願奉申上候	部奈村之内 峠分長百姓組4名
1099	安政5年	1858	御用人馬継立日ノ帳	
1100	安政5年	1858	御用留日記	上市田村年番庄屋
1101	安政5年	1858	御密書之写	寺社奉行板倉周防守留守居久貝因幡守外多勢御役所御免となる
1102	安政5年	1858	乍恐以書付御歎願奉申上候	平野村見廻役庄左衛門物真祢致し本人恐縮いたしおるにつき
1103	安政5年	1858	拾町余田方凡町反畝歩附帳	上下市田、上下牛牧、大島山、吉田村内
1104	安政5年	1858	目代免許	吉田追風門人相撲年寄浦風林右衛門より
1105	安政5年	1858	申定 六ヶ村入会内山について	覚一通
1106	安政5年	1858	覚	大島山不動尊滝へ参詣無用のこと三点
1107	安政5年	1858	乍恐以書付御届奉申上候	年始御礼代人を以て申上たし。外売点
1108	安政5年	1858	江戸焼場明細書之写	木版ズリ四枚絵図アリ
1109	安政5年	1858	入会山見廻はり明細書	六ヶ村三役人共
1110	安政5年	1858	乍恐以書付奉御届申上候	吉田村百姓繁次郎妻娘
1111	安政5年	1858	大島川井桁井口普請につき熟談規定書	
1112	安政5年	1858	四ヶ村立会普請ニ付立入分入用品帳	
1113	安政5年	1858	大島山川牛牧井口普請割合帳	
1114	安政5年	1858	大嶋川牛牧井口分水場普請入用	
1115	安政5年	1858	米銭相場問合帳	
1116	安政5年	1858	上下市田村、上下牛牧村御願書留帳	
1117	安政5年	1858	床場一件二付入用帳 二点	
1118	安政5年	1858	再内済一同連印議定書 二点	
1119	安政5年	1858	人馬家数御改帳	
1120				
1121	安政5年	1858	浄土宗門御改帳	
1122	安政5年	1858	御心添可被成候	

通番	年号	西暦	文書名	備考
1123	安政5年	1858	宗門人別御改帳 名子村	
1124	安政5年	1858	彼是出入村内啓弥、小次郎、喜代太郎三軒ニ而出入出来	
1125	安政5年	1858	井桁普請所論願書之写	
1126	安政5年	1858	提出書の一部	
1127	安政5年	1858	御代之暇報	
1128	安政5年	1858	當午作毛・下作米・借家賃 揚高覚	
1129	安政5年	1858	借用申金子之事	
1130	安政5年	1858	行司免許	
1131	安政5年	1858	午年免定之事	上市田村
1132	安政5年	1858	内事取嚙濟口議定書	安戸村忠左衛門、米蔵外庄屋連署にて議定 外に3通
1133	安政5年	1858	午十二月五ヶ村割合帳	市田五ヶ村
1134	安政5年	1858	御普請所大島山井口一件入用品帳	
1135	安政5年	1858	本川、井口、争論諸雜用取調書 抜帳	
1136	安政5年	1858	牛牧井口分水について	上市田村及下市田村より役所へ歎願
1137	安政5年	1858	乍恐以書付奉願上候	上市田、下市田より牛牧村へ
1138	安政5年	1858	乍恐以書付御届奉申上候	大嶋山川井水大破に付御届
1139	安政5年	1858	乍恐以書付御願奉申上候	大島山川井口につき熟談相整候
1140	安政5年	1858	乍恐以書付奉願上候	大嶋川井口分水場の普請について上下市田村と上下牛牧村の対立
1141	安政5年	1858	乍恐以書付奉願上候	大嶋川井口分水場について上下市田村と上下牛牧村の対立
1142	安政5年	1858	為取替濟口規定書之事	大島山川井口分水場につき熟談濟口規定の事
1143	安政5年	1858	乍恐以書付奉申上候	
1144	安政5年	1858	奉請取米之事	陣屋垣根繕直しと上市田宿助人足の手当米
1145	安政5年	1858	井口の図	洪水でくるった井口の割名の確認 (三ヶ村)
1146	安政5年	1858	乍恐以書付御届奉申上候 部奈団蔵	年始御礼に欠席の御届
1147	安政5年	1858	乍恐以書付御届奉申上候	部奈村峠分 大工造酒左衛門の届
1148	安政6年	1859	乍恐以書付御歎願奉申上候	上市田村見廻役安太郎より御役勤かねるにつき
1149	安政6年	1859	御請負規定一札之事	伐木御注文御請致すべきこと
1150	安政6年	1859	乍恐以書付奉願上候	花水橋普請につき願出
1151	安政6年	1859	安太郎三役人より役儀勤めがたく歎願	
1152	安政6年	1859	大島川牛牧井口仕揚普請諸入用日留帳	
1153	安政6年	1859	御用人馬継立日ノ帳	
1154	安政6年	1859	村太鼓買入二付村方勸化帳	
1155	安政6年	1859	為御取替相成候條約写五冊の内 亜米利加国條約	五冊ノ内
1156	安政6年	1859	英吉利国條約並税則	五冊ノ内
1157	安政6年	1859	阿蘭陀国條約並税則	五冊ノ内
1158	安政6年	1859	魯西亞国條約並税則	五冊ノ内
1159	安政6年	1859	佛蘭西国條約並税則	五冊ノ内
1160	安政6年	1859	乍恐以書付奉願上候	御免許状本書御下渡下さるよう願上候
1161	安政6年	1859	乍恐以書付奉願上候	御制札場の修覆について

通番	年号	西暦	文書名	備考
1162	安政6年	1859	町、在、役人格席順	江戸御中小姓席、飯田御中小姓席、町在役人席、問屋席順、庄屋席順等
1163	安政6年	1859	国役金高掛ヶ割合取集メ帳	
1164	安政6年	1859	未年免定之事	
1165	安政6年	1859	乍恐以書付奉願上候	諸役御免の許状について
1166	安政6年	1859	金銀出入日記帳 おぼへ	
1167	安政6年	1859	安政六未年久兵衛集村金利足取集メ帳	
1168	安政6年	1859	安政六巳未暦	
1169	安政6年	1859	観音山譲り證文控（表紙のみ）	
1170	安政6年	1859	差入申一札之事	
1171	安政6年	1859	相撲目代免許	
1172	安政6年	1859	免許書（相撲行司）	
1173	安政6年	1859	借用申金子證文之事	
1174	安政6年	1859	差出し申す一札之事	弟米蔵差出がましいので御詫の一札
1175	安政6年	1859	差出し申候侘書一札之事	今後改心いたすと侘書
1176	安政6年	1859	乍恐以書付内御歎願奉申上候	福与村新左衛門、表名前を伴啓蔵に譲り今後慎むにつき願上
1177	安政6年	1859	内済為取替規定書	
1178	安政6年	1859	差出申詫書之事	安戸村米蔵よりの詫書 外に3通
1179	安政6年	1859	部奈村一件立会中留帳	
1180	安政6年	1859	奉請取銭之事	
1181	安政6年	1859	小石川之写	水戸前中納言江関すること
1182	安政6年	1859	当御領分中御会積衆名前帳	
1183	安政6年	1859	田畑山林家屋敷証文裏判帳	
1184	安政6年	1859	乍恐以書付奉願上候	当未御年貢米之内定例被下候 米差引き納申候
1185	安政6年	1859	差出申一札之事	
1186	安政6年	1859	再論内済議定書添為取替定之事	田ノ口村・明嶋村草場争論について内済
1187	安政7年	1860	南山三十六ヶ村御歎願書	貧農村の故を以て難渋につき百姓永続出来得るよう御願致し候
1188	安政7年	1860	田切村三ヶ所御歎願書	御拝借米返納之儀御用捨下されたく
1189	安政7年	1860	南山三拾六ヶ村御歎願書	南山郷中へ米千三百俵御救御手下され候
1190	安政7年	1860	御用人馬継立日メ帳	
1191	安政7年	1860	法花宗門御改帳	
1192	安政7年	1860	借家人別御改帳	
1193	安政7年	1860	御鎮守様夜燈再建入用帳	
1194	安政7年	1860	宗門人別御改帳 名子村 控	
1195	安政7年	1860	乍恐以書付御歎願奉申上候	
1196	安政7年	1860	差出申證文之事	
1197	安政7年	1860	定（免許書）	
1198	安政7年	1860	御とし玉 安政七庚申歳	
1199	万延元年	1860	御茶屋御殿御修復ニ付諸品請取日記帳	中身は書いてない
1200	万延元年	1860	大嶋山井口破損に付諸入用帳	
1201	万延元年	1860	大嶋山井口御普請中人足車力出方留帳	
1202	万延元年	1860	諸入用覚帳	
1203	万延元年	1860	南山三十六ヶ村より市田御役所への歎願書の手本	

通番	年号	西暦	文書名	備考
1204	万延元年	1860	大嶋山井御普請所積方帳-両市田村・大嶋山村、三ヶ村役人	
1205	萬延元年	1860	覚 一元金八両ニ仕候・・・	
1206	万延元年	1860	大勢ノ者議定心得口上書之事	長百姓役割の義につき
1207	万延元年	1860	小勢より差出申口上書写	長百姓きめ方についての意見書
1208	万延元年	1860	乍恐以書付奉願上候	伝馬賃銭十年間四割増に
1209	万延元年	1860	大嶋山井口破損ニ付御普請中入用品帳	
1210	万延元年	1860	大嶋山川井口御普請所積帳	
1211	万延元年	1860	諸職人御運上銭取集メ帳	
1212	万延元年	1860	差出申一札之事	御勤怠り連印詫書一札年番所へ差出
1213	万延元年	1860	申年免定之事	
1214	万延元年	1860	借用申金子證文之事	壹両貳分
1215	萬延元年	1860	差出し申一札之事	
1216	萬延元年	1860	借用申金子證文之事	八両
1217	万延元年	1860	国役金高掛ヶ割合取集帳	
1218	萬延元年	1860	和漢郎詠集上	
1219	安政7年	1860	字瀧の沢山道争論願立ニ付返答書写	安政5年、万延元年のものも中に入っている
1220	万延元年	1860	蕎麦稗種買入高並諸入用調帳	
1221	万延元年	1860	蕎麦稗種買上高並諸入用取調帳	
1222	万延元年	1860	蕎麦稗御種物買入一件勘定帳	
1223	万延元年	1860	種物俵数目方改帳	
1224	万延元年	1860	稗蕎麦種買入仕拂帳	
1225	万延元年	1860	諸勘定差引帳	
1226	安政7年	1860	蒙御免大相撲番付 木版	
1227	万延元年	1860	乍恐以書付奉申上候	米七十石七斗九升…当申御年貢米之内可納者也
1228	万延元年	1860	覚 (当時飯田米相場)	地廻り米拾五俵…拾兩に付奥米拾六俵一拾兩に付
1229	安政7年	1860	乍恐以書付御届奉申上候	不身持一件
1230	万延元年	1860	乍恐以書付御願奉申上候 (釣頭について2通)	福与村山分・中山分
1231	萬延2年	1861	五人組頭名前改帳	
1232	萬延2年	1861	禪宗門御改帳	
1233	萬延2年	1861	法華宗門御改帳	
1234	萬延2年	1861	浄土宗門御改帳	
1235	萬延2年	1861	借家人別御改帳	
1236	萬延2年	1861	禪宗門帳	
1237	万延2年	1861	御用人馬継立日々帳	
1238	万延2年	1861	七回忌 十三回忌一御見舞受納帳	
1239	文久元年	1861	覚上市田村庄屋より木曾四宿御役人中へ	村高総人数取調御返答申候
1240	文久元年	1861	市田宿問屋関川弥次右衛門より奥州白河迄の宿々問屋御役所人中へ	役人四人及び乗軽尻馬一疋 人足二人差出候につき宜しく願入候
1241	文久元年	1861	和宮様御下向ニ付諸色書留帳	
1242	文久元年	1861	和宮様御下向御触書写	十一月日 牛牧村五兵衛控
1243	文久元年	1861	和宮様御下向御触書写	酉十月ヨリ 牛牧村五兵衛控
1244	文久元年	1861	道中御目付木曾路御上リニ付妻籠宿外三宿より飛脚来ル写	

通番	年 号	西暦	文 書 名	備 考
1245	文久元年	1861	木曾助人馬勤方御届書	出原村始六ヶ村庄屋より
1246	文久元年	1861	道中御目付木曾路御上りニ付妻籠宿始外三宿より飛脚致来御達写一冊	
1247	文久元年	1861	侘書写一冊	
1248	文久元年	1861	木曾下モ四ヶ宿役人より急廻文写	
1249	文久元年	1861	和宮様御通輿ニ付木曾四宿江助人馬高触当帳	
1250	文久元年	1861	乍恐以書付御歎願奉申上候	法全寺村より市田役所へ
1251	文久元年	1861	一札の事	困窮につき江戸表にて身売奉公仕り度
1252	文久元年	1861	駅々人馬駄賃帳	
1253	文久元年	1861	苦楽賀多女嫡子披羅宇御祝儀諸納帳	
1254	文久元年	1861	乍恐以書付御届奉申上候	牛牧村及び上市田村庄屋婦村届
1255	文久元年	1861	御手本	
1256	文久元年	1861	濟口証文之事	
1257	文久元年	1861	宗門往来手形之事	
1258	文久元年	1861	和宮様御通輿木曾宿方より人馬触写	
1259	文久元年	1861	和宮様御儀木曾路御下向ニ付助人馬賃銭割合帳	
1260	文久元年	1861	和宮様御下向ニ付諸入用割合帳	
1261	文久元年	1861	和宮様御下向ニ付御触書并聞取書記帳	
1262	文久元年	1861	和宮様御下向一條御届帳	
1263	文久元年	1861	木曾伝馬入用勘定差引帳	
1264	文久元年	1861	今般御公儀様御用御出役様より御巻村被仰下候村々連名控	
1265	文久元年	1861	酉年免定之事	上市田村
1266	文久元年	1861	取嚙濟口証文之事	大島山と吉田と山道の道筋についての出入
1267	万延2年	1861	取嚙濟口証文之事	吉田村と大嶋山村と山道つき濟口証文
1268	文久元年	1861	濟口議定取極之事	新規養水並溜池普請勘定合につき部奈弾蔵区民連署
1269	文久元年	1861	乍恐以書付御歎願奉申上候	村方不取締の儀御宥免下さるよう
1270	文久元年	1861	差出し申一札之事	金作より父安太郎風聞宜しからぬ趣
1271	文久元年	1862	乍恐以書付御答奉申上候（御答書）下書	村入用之儀外
1272	文久元年	1862	乍恐以書付奉歎願候	上市田村ほか八十一ヶ村より人足賃銀御免除下さるよう
1273	文久2年	1862	和宮様御下向ニ付御普請役様御取調奥書控	
1274	文久2年	1862	和宮様御下向ニ付諸色書留帳	
1275	文久2年	1862	相撲祝儀受納帳	
1276	文久2年	1862	御用触書	木曾下モ四ヶ宿々廻状
1277	文久2年	1862	今般一ツ橋様御上京ニ付木曾四ヶ宿助人馬願立ニ付歎願差出候下書	
1278	文久2年	1862	和宮様御下向ニ付 御普請役様御廻宿の際の御届書控	
1279	文久2年	1862	御下向之節人馬賄銀其他諸雜費入用帳	

通番	年号	西暦	文書名	備考
1280	文久2年	1862	乍恐以書付歎願奉申上候	木曾四宿の助郷御免下さるやう願出
1281	文久2年	1862	八郎右衛門より盗難届出	八点
1282	文久2年	1862	乍恐以書付奉歎願候	和宮様等御下向につき人、馬等について
1283	文久2年	1862	御備餅白米集高覚帳	
1284	文久2年	1862	御用人馬継立日々帳	
1285	文久2年	1862	木曾御伝馬一條二付諸費割合帳	
1286	文久2年	1862	御拂米頂戴名前帳	
1287	文久2, 3年	1862	御拂米願名前帳	御払米頂戴名前帳も
1288	文久2年	1862	御下向御継立後伊那助郷八十 壱ヶ村より尋の儀脇書答帳	
1289	文久2年	1862	石寄人数覚帳	
1290	文久2年	1862	御鎮守様夜灯普請諸入用調帳	
1291	文久2年	1862	成年免定之事	
1292	文久2年	1862	女今川	文久二年三月買求めた物
1293	文久2年	1862	覚一受取書	
1294	文久2年	1862	覚	関川氏へ
1295	文久2年	1862	村送り一札之事	関川弥次右衛門より桜町庄屋古谷銀次郎
1296	文久2年	1862	宗門人別御改帳 名子村 控	
1297	文久2年	1862	両村為取替議定書	草木伐蒔候儀自由ニ致し・・・
1298	文久2年	1862	回状	名古屋村方先々の御村へ
1299	文久2年	1862	女今川	関川弥次右衛門
1300	文久2年	1862	差出申金子證文之事	
1301	文久2年	1862	奉拝借金子證文之事	
1302	文久2年	1862	借用申金子證文之事	
1303	文久2年	1862	借用申金子證文之事	
1304	文久2年	1862	借用申金子之事	
1305	文久2年	1862	普請二付諸入用品并御見舞物請 納帳	
1306	文久2年	1862	為取替申内済規定之事	今田村中組、下組、三耕地、井筋争論 外に9通
1307	文久2年	1862	差出申詫書一札之事	不身持のため
1308	文久2年	1862	対談晰詰口上書控	御蔵米三百俵落札となり野池村と上市田村と対談
1309	文久2年	1862	国役金高掛ヶ割合取集帳	
1310	文久2年	1862	乍恐以書付御届奉申上候	盗難の届出
1311	文久2年	1862	乍恐以書付奉申上候	御年貢米納目録
1312	文久2年	1862	前文未言之儀者追而可相認候	
1313	文久2年	1862	借用申金子證文之事	今田村弥源次らより今田村傳重郎、大郡村源左衛 門へ
1314	文久2年	1862	差上申請取手形之事	中関村長岳寺の朱印状請取手形(写)
1315	文久2年	1862	差上申請取手形之事	大嶋山村瑠璃寺の朱印状請取手形(写)
1316	文久2年	1862	御請證文	瑠璃寺、長岳寺の朱印状受取手形の下書
1317	文久2年	1862	長岳寺からのお礼参上について	朱印状請取につき
1318	文久2年	1862	入会薪山についての取極めのヶ 条覚	福与村、中山分、長峯村、柄山分
1319	文久2年	1862	乍恐以書付御届ヶ奉申上候	借入金返済について
1320	文久3年	1863	御尋につき以書付奉申上候	初立郷夫差配人より市田御役所へ
1321	文久3年	1863	乍恐以書付御歎願奉申上候	和宮様御下向につき助郷平均割合御免除下さるよ う
1322	文久3年	1863	乍恐以書付御届奉申上候	上市田村役人より市田御役所へ
1323	文久3年	1863	差出し申一札之事	御宿より触出し人馬差出し難き旨

通番	年号	西暦	文書名	備考
1324	文久3年	1863	乍恐以書付奉歎願候	助郷勤兼候につき願出
1325	文久3年	1863	乍恐以書付奉歎願候	木曾助郷相勤難旨願出
1326	文久3年	1863	乍恐以書付奉願上候	飯島町年寄所の義御勤致しがたく
1327	文久3年	1863	戌御年貢米皆済通	牛牧村、上市田村之
1328	文久3年	1863	戌年御年貢米皆済通	上市田村 牛牧村之
1329	文久3年	1863	道中駿河様御奉行對馬様より御触書之写	
1330	文久3年	1863	御用人馬継立日ノ帳	
1331	文久3年	1863	道中奉行所江免除願入用別賦帳	
1332	文久3年	1863	道中御奉行様方御触書の写	
1333	文久3年	1863	乍恐以書付御歎願奉申上候助郷御免除方御願	
1334	文久3年	1863	木曾当分助郷歎願書写	木曾当方助郷御免除下さるよう歎願伊那の各宿々より
1335	文久3年 文久4年	1863	請印帳写（綴） 御触書也	
1336	文久3年	1863	御触書	英国軍艦渡来殿様御参府につき歩人差出すべき旨
1337	文久3年	1863	御田地書入借入金証文	予り金子の事二通
1338	文久3年	1863	乍恐以書付奉申上候	髮結綱五郎身元引請届 他3点
1339	文久3年	1863	木曾当分助郷歎願書写	
1340	文久3年	1863	御触書廻文	
1341	文久3年	1863	御用人馬継立日ノ帳	12月より
1342	文久3年	1863	助郷人馬継立日ノ帳	
1343	文久3年	1863	木曾下四ヶ宿役人より廻文写	
1344	文久3年	1863	冥加献金高名前付帳	
1345	文久3年	1863	郷夫人足並差配人共名前御届帳	
1346	文久3年	1863	乍恐以書付奉願上候	入会山伐木に当り村民困窮につき雑木伐には鉋、鋸使用しても差支えなき様仰付られ度願出
1347	文久3年	1863	庭灯、石壇諸入用調控帳	
1348	文久3年	1863	献金高覚帳	
1349	文久3年	1863	牛牧村より上市田村へ御年貢米覚	
1350	文久3年	1863	乍恐以書付御内願奉申上候六ヶ村庄屋	入山停止中なるも薪採りは鋸鉋に限り使用致度願出
1351	文久3年	1863	殿様御発起頼母子講口定帳	
1352	文久3年	1863	乍恐以書付御届奉申上候	上市田村役人より市田御役所へ
1353	文久3年	1863	村送り一札之事	12通
1354	文久3年	1863	献金取集帳	
1355	文久3年	1863	御内用筋御頼出張諸雑入用帳	
1356	文久3年	1863	亥年免定之事	
1357	文久3年	1863	差出申一札之事、（3月22日）	
1358	文久3年	1863	今村八右衛門への書簡	
1359	文久3年	1863	規定書之事	
1360	文久3年	1863	貸金控	
1361	文久3年	1863	文久三年利足等覚	
1362	文久3年	1863	差出し申一札之事、2（3月）	人馬差出難きこと
1363	文久3年	1863	差出し申一札之事、3（3月）	人馬差出難きにつき歎願
1364	文久3年	1863	差出し申一札之事、4（河野村より）	
1365	文久3年	1863	笹山梅庵寺子制海式目	関川弥次右衛門

通番	年号	西暦	文書名	備考
1366	文久3年	1863	頂戴申一札之事	座光寺今村八右衛門
1367	文久3年	1863	秋葉山参詣せん別受納帳	
1368	文久3年	1863	帯刀御免ニ付御祝儀受納帳	問屋関川弥次右衛門
1369	文久3年	1863	内済議定書左之通	福与村中山分惣代と長峯惣代と山林境目につき和談議定のこと
1370	文久3年	1863	取定申書付の事	柄山と長峯、山塚について取定
1371	文久3年	1863	取極申議定	今田村、下村、新井筋普請につき出入ありたるも内熟議定
1372	文久3年	1863	済方議定書之事	柄山、長峯、中山との境済口につき
1373	文久3年	1863	差出し申一札之事	駒場町下町与兵衛より改心仕一書
1374	文久3年	1863	殿様御発起頼母子講口定帳	
1375	文久3年	1863	当領分中御会釈衆名前帳	
1376	文久3年	1863	御用、御伝馬、賃銭割増等について御歎願式通	
1377	文久3年	1863	乍恐以書付御歎願奉申上候	下市田庄ヤ林六左衛門之儀につき
1378	文久3年	1863	乍恐以口上書奉申上候	今田村、下村、毛呂窪村 新井普請の件
1379	文久4年	1864	覚	秋葉山へ代参差遣に付御関所御通し下さるべく
1380	文久4年	1864	乍恐以書付奉願上候	新四国八十八ヶ所札所御開扉につき
1381	文久4年	1864	乍恐以書付奉願上候	札所開扉につき願出
1382	文久4年	1864	木曾御伝馬一件当分助郷歎願書写	
1383	文久4年	1864	村送り一札之事 下書	
1384	文久4年	1864	借用申金子證文之事	
1385	文久4年	1864	村送り一札之事	大島町問屋から上市田庄屋へ
1386	元治元年	1864	御伝馬当書抜帳	
1387	元治元年	1864	御用留日記	
1388	元治元年	1864	一札之事	木曾宿御伝馬御免除下さるよう
1389	元治元年	1864	浮浪通行並御追討御通行ニ付宿方買入調帳	
1390	元治元年	1864	人馬并諸入用惣寄五ヶ年平均帳	
1391	元治元年	1864	御用人馬継立日づ帳 2月	
1392	元治元年	1864	宿役人給金取調	
1393	元治元年	1864	木曾御伝馬免除人馬賃銭割増御歎願ニ付御添翰願下書	
1394	元治元年	1864	引請申郷夫人足証文之事	
1395	元治元年	1864	五ヶ年間人馬立辻月々調帳	
1396	元治元年	1864	差出申一札之事	雇人多助につき芳蔵請人のこと
1397	元治元年	1864	乍恐以書付御届申上候	変死体について届出
1398	元治元年	1864	差出申一札之事	髪結職多助身元について御答 他3点
1399	元治元年～明治	1864	金銭米等の証文	十九点
1400	元治元年	1864	市田宿方御堂垣外迄拾壺ヶ宿ニテ木曾伝馬免除願書面写	
1401	元治元年	1864	乍恐以書付奉歎願候	福島宿外六ヶ宿の助郷之儀御免除下され度
1402	元治元年	1864	乍恐以書付奉願上候	伝馬賃銭九割増に願出
1403	元治元年	1864	乍恐以書付奉願上候	従来通り御助成なされ度願出、十三宿より
1404	元治元年	1864	市田宿より御堂垣外迄十二宿賃銀割増願出	

通番	年号	西暦	文書名	備考
1405	元治元年	1864	賊徒追討し役々方御通行につき宿々人、馬継立高并休泊共御取調ニ付御達書御届書の雛形	
1406	元治元年	1864	御用人馬継立日メ帳 3月	
1407	元治元年	1864	一札の事	市田宿より野尻宿外三宿へ一札
1408	元治元年	1864	御高札場修覆につき上市田村の見積書	
1409	元治元年	1864	一ヶ月每人馬立辻取調帳	市田宿
1410	元治元年	1864	郷借金銘々割賦借り高証文留帳	
1411	元治元年	1864	御年貢米御納所御蔵庭帳	
1412	元治元年	1864	国役金高掛ヶ割合取集メ帳	
1413	元治元年	1864	御公儀御勘定役様江助郷歎願願書下	
1414	元治元年	1864	宿駕籠柅入用調帳	
1415	元治元年	1864	浮浪通行御追討御通行ニ付銘々出し方控帳	水戸浪士通行及追討通行につき各自出金記録帳なり
1416	元治元年より明治元年迄	1864	人馬立辻毎月、毎年取調控帳	上市田宿
1417	元治元年か	1864	宿役人給分取調	
1418	元治元年	1864	助郷願書に御添翰下され度願出	
1419	元治元年	1864	子之年免定之事	
1420	元治元年	1864	馬籠宿にて忠作より関川弥次右衛門へ	浪人一件につき京都の白洲御役人の消息を通報した一文
1421	元治元年	1864	聞書日記留	
1422	元治元年	1864	御清書写	
1423	元治元年	1864	乍恐以書付御届奉申上候	
1424	元治元年	1864	一札之事	御伝馬免除につき
1425	元治元年	1864	道中御奉行へ歎願 外	助郷難渋の件
1426	元治元年	1864	借用申金子證文之事（7月）	
1427	元治元年	1864	借用申金子證文之事（12月）	
1428	元治元年	1864	請取之事	門番心附
1429	元治元年	1864	乍恐以書付奉申上候	年貢米より定例下米差引
1430	元治元年	1864	人馬継立諸入用書上帳	
1431	元治元年	1864	借家人別御改帳	上市田村
1432	元治元年	1864	百石五両助郷歎願・御伝馬賃銭割増、出府諸入費仕訳帳写	
1433	元治元年	1864	差出申侘書一札之事	不身持をわびる一札
1434	元治元年	1864	添書	浮浪為追討、多人数通行につき助郷の依頼（市田宿問屋年寄より）
1435	元治元年	1864	堀石見守様御入城之節御出張御役々様覚	
1436	元治元年	1864	御拂米頂戴名前控帳	
1437	文久4年	1864	乍恐以書付御届奉申上候	庄屋忠作改印届
1438	文久4年	1864	奉拝借御鉄砲証文之事	
1439	文久4年	1864	乍恐以書付奉申上候	郷宿一泊り昼付四拾八文一分、賄廿四文に増銭仕度願出
1440	文久4年	1864	乍恐以書付奉願上候	上市田村御宿一同より一泊、賄、増銭仕度願出
1441	元治元年	1864	乍恐以書付奉願上候	不身持一件
1442	元治元年	1864	為取替申内済規定之事（2枚）	今田村中組下組の水論について内済書
1443	元治元年	1864	為取替議定一札之事（2枚）	金野村と下村の入会山の境について取り決め（金野村→下村）

通番	年号	西暦	文書名	備考
1444	元治元年	1864	乍恐以書付御届奉申上候	金野村と下村の入会山境論の内済証文
1445	元治元年	1864	乍恐以書付奉願上候	下村小左衛門と金野村惣左衛門の出入示談
1446	元治元年	1864	為取替内済証文写(縁談一件)	大屋敷村・安戸村 年番郷宿扣
1447	元治2年	1865	上市田宿人馬割増請書	
1448	元治2年	1865	毎月ノ上御伝馬人馬立辻取調帳	市田宿
1449	元治2年	1865	御拝借米割賦名前帳当丑年より十ヶ年御返上	他に夫食拝借人割賦帳
1450	元治2年	1865	乍恐以書付奉願上候	上市田村民一同困窮につき米七拾五俵拝借相成度旨願出
1451	元治2年	1865	御支配御役々様御逗留中御旅籠料郡中割合取集帳	
1452	元治2年	1865	御用留日記	
1453	元治2年	1865	定	市田宿駄賃、人足賃銭につきての定
1454	元治2年	1865	御定賃銭六割増覚	
1455	元治2年	1865	市田御役所へ	
1456	元治2年	1865	元治二乙丑曆	
1457	元治2年	1865	女教訓書 女実語教	萬屋関川氏
1458	元治2年	1865	引請申郷夫人足証文之事	一金拾兩者郷夫人足式人
1459	元治2年	1865	郷夫人足并差配人友差出御届書	一郷夫人足式人
1460	元治2年	1865	郷夫百人被仰付…	上市田村庄屋控
1461	元治・慶応頃	1865	村送り状	十通
1462	慶応元年	1865	御祈祷中日記帳	
1463	慶応元年	1865	御用留日記	
1464	慶応元年	1865	引受申郷夫人足証文の事	
1465	慶応元年	1865	乍恐以書付御届申上奉候	殿様の御供して帰ったこと
1466	慶応元年	1865	御年貢米納通帳	六年分、元治元年、文久二年、文久元年、安政六年、安政五年
1467	慶応元年	1865	一ヶ月每人馬立辻取調帳	市田宿
1468	慶応元年	1865	郷借金銘々元利取集帳	
1469	慶応元年	1865	郷借金銘々割賦借り高証文留帳	
1470	慶応元年	1865	御拂米願人名前覚帳	他に御年貢米御蔵庭帳
1471	慶応元年	1865	国役金高掛ヶ割合取集メ帳	
1472	慶応元年	1865	御伝馬当座書抜帳	
1473	慶応元年	1865	丑年免定之事 上市田村	
1474	慶応元年	1865	奉拝借金子証文之事	
1475	慶応元年	1865	為替金借用証文之事	
1476	慶応元年	1865	為替証文之事	
1477	慶応元年	1865	浮浪之徒通行ニ付人馬書上帳	
1478	慶応元年	1865	浮浪之徒通行ニ付人馬継立書上帳	
1479	慶応元年	1865	当丑盆前御賄六ヶ村割合帳	
1480	慶応元・2年	1865	諸入用出入留帳	
1481	慶応元年	1865	御用人馬継立日ノ帳	
1482	慶応元年	1865	定(免許書)	臼倉国蔵から関川弥次右衛門へ
1483	慶応元年	1865	人馬継立についての御先触(1月～6月)	
1484	元治2年	1865	五人組御改帳	
1485	元治2年	1865	差出申侘書之事	心得違にて申訳なく
1486	元治2年	1865	当御会釈御衆中名前覚帳	

通番	年号	西暦	文書名	備考
1487	慶応元年	1865	御拂米百俵難渋村式拾四ヶ村へ割代金取集上納帳	
1488	元治2年	1865	乍恐以書付奉願上候	宿泊り困難と相成増銭仰付けられ度
1489	慶応元年	1865	乍恐以書付御歎願奉申上候	御仰付の工夫百人御免下され度願出
1490	慶応元年	1865	内事済口議定書之事	
1491	元治2年	1865	取扱済口議定書之事	石林村一人百姓政弥と宮沢村神主大平山城との境論の内済証文
1492	元治2年	1865	乍恐以書付御歎願奉申上候	宮沢村大平山城より石林村政弥との境論について申立て撤回の願い
1493	元治2年	1865	乍恐以書付奉願上候	石林村政弥より川境論について内済となったので訴え下げの願い
1494	元治2年	1865	内事済口議定書之事	離縁についての内済
1495	慶応元年	1865	内事熟論議定書写(同一のもの5点)	祭典の際の一件
1496	慶応元年	1865	差出申内済議定書一通	福与村山分嶺分長十郎他
1497	元治2年	1865	乍恐以書付奉願上候(2枚)	大和地満寿離縁一件
1498	元治2年	1865	内事済口議定書之事	駒場村与重郎後家う多田地について出入
1499	元治2年	1865	乍恐以書付御届奉申上候	駒場村与重郎後家宇多田地内済相整につき
1500	慶応2年	1866	寅年免定之事	
1501	慶応2年	1866	寅末八郎右衛門差引勘定帳	
1502	慶応2年	1866	乍恐以書付御歎願奉申上候	開作夫食米御貸付下さるやう願出
1503	慶応2年	1866	乍恐以書付御届奉申上候	上市田村より米九十俵御拂米受取書
1504	慶応2年	1866	乍恐以書付奉願上候	大雨のため難渋につき御見分下さるやう
1505	慶応2年	1866	乍恐以書付奉願上候	凶作につき夫食米四拾俵拝借奉りたく
1506	慶応2年	1866	乍恐以書付奉御届申上候(原本の控)	年始御祝儀奉申上候
1507	慶応2年	1866	乍恐以書付御届申上候	年始御祝儀奉申上候
1508	慶応2年	1866	乍恐以書付奉御届申上候(下書)	年始御祝儀奉申上候
1509	慶応2,3年	1866	伝馬人足賃銭書上	三点
1510	慶応2年より明治5年まで	1866	村送り、寺送り	二十一点
1511	慶応2年	1866	御用人馬継立日々帳(3月)	
1512	慶応2年	1866	寅暮諸入用割合帳	
1513	慶応2年	1866	盆前諸入用割合帳	
1514	慶応2年	1866	乍恐以書付奉願上候	御払米落札につきての件
1515	慶応2年	1866	田方取調小前帳	
1516	慶応2年	1866	智本諸道具取調帳	
1517	慶応2年	1866	御拂米代金取集覚帳	
1518	慶応2年	1866	差出申一札連印帳	上市田村 小前衆中
1519	慶応2年	1866	村方御田地風痛、冷氣不熟取調帳	
1520	慶応2年	1866	郡金利足取集帳	
1521	慶応2年	1866	御拂米代金取集帳	
1522	慶応2年	1866	当寅御年貢米御蔵庭帳 二点	
1523	慶応2年	1866	観音堂持地所加地子積金入用差引年々利揚貸付帳	
1524	慶応2年	1866	元金利倍勘定調帳	嘉永四年より慶応二年迄観音堂加地子残米
1525	慶応2年	1866	観音堂貸付金調帳	
1526	慶応2年	1866	村方田方極不熟調帳	

通番	年号	西暦	文書名	備考
1527	慶応2年	1866	御田地取調小前帳	
1528	慶応2年	1866	窄破出来二ツキ修覆費割合帳	
1529	慶応2年	1866	堂所山ノ神修覆遷宮入用覚帳	
1530	慶応2年	1866	人馬家数御改帳	
1531	慶応2年	1866	問屋見習祝義受納帳	
1532	慶応2年	1866	諸勘定調帳	
1533	慶応2年	1866	寅年免定之事	
1534	慶応2年	1866	浄土宗門御改帳	
1535	慶応2年	1866	宗門人別御改帳 名子村	
1536	慶応2年	1866	孝庵義忠居士一御見舞請納帳	
1537	慶応2年	1866	述身意	遺言
1538	慶応2年	1866	覚	法全寺村より役所へ
1539	慶応2年	1866	旧時貸借帳	
1540	慶応2年	1866	拂物書抜帳	
1541	慶応2年	1866	智本病氣ニ付見舞受納帳	
1542	慶応2年	1866	慶安太平記壹由井正雪の乱に關連して	
1543	慶応2年	1866	覚	当時の相場報告
1544				
1545	慶応2年	1866	法花宗門御改帳	三月上旬市田村
1546	慶応2年	1866	奉拝借金子證文之事(十両)	
1547	慶応2年	1866	奉拝借金子證文之事(三十五両)	
1548	慶応2年	1866	御見廻受納帳	
1549	慶応2年	1866	秋葉山参詣二付御餞別覚帳	問屋払
1550	慶応2年	1866	乍恐以書付奉願上候	凶作につき御検見下され度
1551	慶応2年	1866	覚	当時の米相場
1552	慶応3年	1867	出火ニ付御見舞受納帳	
1553	慶応3年	1867	遠山八重河内より陳情隊一件	三点
1554	慶応3年	1867	盗難届	
1555	慶応3年	1867	奉請取米之事	
1556	慶応3年	1867	乍恐以書付御届申上候	行倒れ病人の届出
1557	慶応3年	1867	乍恐以書付奉御届候	正月御樽錢献納名簿三点
1558	慶応3年	1867	御用人馬継立日ヱ帳	正月より
1559	慶応3年	1867	御用人馬継立日ヱ帳	5月・7月の2冊
1560	慶応3年	1867	勿盆前諸入用割合帳	
1561	慶応3年	1867	御領分村々高付帳	
1562	慶応3年	1867	一ヶ月每人馬立辻取調帳	市田宿
1563	慶応3年	1867	郷借金銘々割賦借り高留帳	
1564	慶応3年	1867	御借金利足取集帳	
1565	慶応3年	1867	観音堂壁修覆入用並二人足控帳	
1566	慶応3年	1867	国役金高掛り銘々取集帳	
1567	慶応3年	1867	諸神御札天降祭礼神酒料並村方非常龍水代料銘々割合帳	
1568	慶応3年	1867	御拝借返納米銘々付分帳	
1569	慶応3年	1867	吹笛料納入書 四点	知久平村 宮内金左衛門
1570	慶応3年	1867	追分綿屋方村金借用人利足取集帳	
1571	慶応3年	1867	卯年免状之事 上市田村	

通番	年号	西暦	文書名	備考
1572	慶応3年	1867	卯年免定之事 下市田村	
1573	慶応3年	1867	御陣屋修復ニ付御手伝献納金	他二冊
1574	慶応3年	1867	借用申金子之事	證書
1575	慶応3年	1867	借用申金子之事	
1576	慶応3年	1867	乍恐以書附奉申上候	江戸表へ繰出し人夫の件
1577	慶応3年	1867	以書付奉申上候	八重河内村百姓御役所へ出訴
1578	慶応3年	1867	乍恐以書附奉願上候	借用米のこと
1579	慶応3年	1867	定(免許書)	複写せず
1580	慶応3年	1867	差出申一札之事	出火の件 柿沼佐右衛門殿
1581	慶応3年	1867	差出申一札之事	出火の件 御役人御衆中・村方御衆中
1582	慶応3年	1867	乍恐以書付御願奉申上候	
1583	慶応3年	1867	乍恐以書付奉申上候	諸神佛の札守空中より降り下り不思議
1584	慶応3年	1867	石塔寄ニ付御見舞受納帳	
1585	慶応4年	1868	御用人馬継立日ノ帳	六月より
1586	慶応4年	1868	伊那街道市田宿人馬賃銭書上帳	
1587	慶応4年	1868	伊那街道市田宿の実態証明	
1588	慶応4年	1868	伊勢御迂宮御榊講掛金之通	
1589	慶応4年	1868	御差紙一通	二点
1590	慶応4年	1868	乍恐以書付御届奉申上候	村方弥蔵東方より出火仕候旨
1591	慶応4年	1868	乍恐以書付御歎願奉申上候	凶年につき米六拾俵夫食米として拝借いたし度
1592	慶応4年	1868	薬酒製造株について願上	
1593	慶応4年	1868	諸御用ニ付御日雇人足差出帳	
1594	慶応4年	1868	御用状御先触請取帳	
1595	慶応4年	1868	村方在人足勤方ノ帳	
1596	慶応4年	1868	御用人馬継立日ノ帳	九月より
1597	慶応4年	1868	荒神様御社修覆石垣再建諸入用帳	
1598	慶応4年	1868	辰盆前諸入用割掛帳	
1599	慶応4年	1868	尾洲御役人様御旅宿ニ付入用調帳	
1600	慶応4年	1868	徳川家御制札写	
1601	慶応4年	1868	西国三十三ヶ所尊像入佛ニ付観音堂再建入用留帳	
1602	慶応4年	1868	高松殿外諸土方御通行ニ付、非常人足相詰候御手当米割合帳	
1603	慶応4年	1868	白米焚き出し覚	
1604	慶応4年	1868	伯方御触書并ニ他所来状	
1605	慶応4年	1868	助人足調高書上帳	当五ヶ村并南山郷福与郷宿方江
1606	慶応4年	1868	京都堂上方助郷人馬繰出之控帳	当宿役元
1607	慶応4年	1868	乍恐以書付奉願上候	大島川分水場普請
1608	慶応4年	1868	乍恐以書付奉願上候	
1609	慶応4年	1868	奉拝借金子證文之事	
1610	慶応4年	1868	乍恐以書附御届奉申上候	
1611	慶応4年	1868	乍恐以書付奉願上候	
1612	慶応4年	1868	乍恐以書付奉願上候	諸色高値につき手当増額願
1613	慶応4年	1868	借入金返済方取極メ	返済条件
1614	慶応4年	1868	奉請取伝馬人足賃銭之事	
1615	慶応4年	1868	助郷につき願上	
1616	慶応4年	1868	助郷につき願出	

通番	年号	西暦	文書名	備考
1617	慶応4年	1868	拝借仕金子之事	
1618	慶応4年	1868	乍恐以書附御届申上候	酒造株の件
1619	慶応4年	1868	乍恐以書付奉願上候	薬酒製造株の件 柏原山分ち
1620	慶応4年	1868	御用人馬継立月々帳	二冊
1621	慶応4年	1868	京都堂上方諸家御通行ニ付駅々通達書留	
1622	慶応4年	1868	人足割合勤方宿駕籠諸下着	官軍先鋒教導隊備人足四百二十六人馬二十疋
1623	慶応4年	1868	乍恐以書付奉願上候	年始御祝儀辰年より金五百疋となされ度
1624	慶応4年	1868	高掛御用金銘々割合帳	
1625	慶応4年	1868	御先触写	
1626	慶応4年	1868	御先触 4点	
1627	慶応4年	1868	駅通司より通達書一括	
1628	明治元年	1868	触書	追て此触書の表 承知之旨
1629	明治元年	1868	御触	総督府執事より
1630	明治元年	1868	乍恐以書付御届奉申上候	当辰年七十歳以上の者四名
1631	明治元年	1868	御触書一冊	東山道鎮撫総督より農商江布告
1632	明治元年	1868	飯田御取締相成始御触書	
1633	明治元年	1868	御用書写	東山道鎮撫総督より農商江布告
1634	明治元年	1868	御触之事	駅通司より駅にての取扱方を行政官より貨幣其他について
1635	明治元年	1868	御達書	神職僧位僧官等、慶長金、其他貨幣換方等の御達
1636	明治元年	1868	縁組規則	
1637	明治元年	1868	王政御新ニツキ上市田村ヨリ伊那県差出シタル絵	
1638	明治元年	1868	上市田村大絵図	
1639	明治元年	1868	人馬立辻取調帳	市田宿 六月より一二月
1640	明治元年	1868	人馬立辻取調帳	市田宿 正月より五月迄
1641	明治元年	1868	御借り入米五拾俵銘々割合帳	
1642	明治元年	1868	御蔵へ上納米銘々俵数付	
1643	明治元年	1868	攝洲西宮修覆ニ付宮内左膳殿用立金へ村方銘々助力付	
1644	明治元年	1868	文久元酉年御蔵入札代金地年貢米元利調帳	
1645	明治元年	1868	御布告書御請書一冊	王政一新之折柄旧弊ハ除キ渾テ御改正相成度御第一御定ノ制札、御年貢、諸役土地ノ売買、人ノ売買一切停止ノ事
1646	明治元年	1868	御伝馬当座書抜帳	
1647	明治元年	1868	伊那県御用掛御用状書（二冊のうち その1）	御伝馬所
1648	明治元年	1868	伊那県御用掛御用状各（二冊のうち その2）	御伝馬所
1649	明治元年	1868	御伝馬当座書抜帳	
1650	明治元年	1868	増助人足につき	
1651	明治元年	1868	辰年免定之事	飯田御取締所収税方
1652	明治元年	1868	伊那街道大島宿より中仙道塩尻宿間屋迄御宿々賃銭請取帳	
1653	明治元年	1868	大島川分水普請場大破	
1654	明治元年	1868	乍恐以書附御歎願奉申上候	夫食米拝借の歎願
1655	明治初年	1868	送籍届書	計二十八点
1656	明治初年	1868	土地各筆測量原図ナラン	原始的ノモノ、器械ニヨラズ

通番	年号	西暦	文書名	備考
1657	明治初年	1868	諸届調、書類一括 約三十点	
1658	明治初年	1868	書翰二点	牛牧村より年番所へ
1659	明治初年	1868	公文書一括	上市田下市田対外三ヶ村山道二ツキテ外十数件
1660	明治初年	1868	伊那郡より太政官の御達	
1661	明治元年	1868	人馬継立の先触割賦廻状	
1662	明治元年	1868	村の様子大概書上帳	
1663	明治元年	1868	観音堂再建勸化帳	
1664	明治元年	1868	筑摩県よりのお触	
1665	明治2年	1869	江戸大火其他区説明絵図	
1666	明治2年	1869	信濃国伊那郡上市田村様子大概書上帳	
1667	明治2年	1869	宿方由緒其外御尋被遊候につき言上書 一冊	市田宿
1668	明治2年	1869	宿方由緒其外御尋被遊候ニ付言上書 壹冊	市田宿
1669	明治2年	1869	乍恐以書付御届奉申上候	春夏蚕繭
1670	明治2年	1869	勤人馬調帳	下市田村、吉田村、牛牧村、大島山村、出原村
1671	明治2年	1869	上市田宿附属村書上帳(写)	
1672	明治2年	1869	上市田宿附属村書上帳(正)	高式石安養寺領、高三石松源寺領、高三石諏訪大明神、高式拾五石瑠璃寺領 明治二巳年三月十二日
1673	明治2年	1869	差上申定備人馬御請書之事	一人足拾貳人、老人ニ付壹ヶ年金拾四両馬貳疋壹疋ニ付壹ヶ年金貳拾八両
1674	明治2年	1869	今般御一新ニ付全国諸街道宿方議事案	
1675	明治2年	1869	附属村書上帳	
1676	明治2年	1869	御請書差上申二等備御請書之事	
1677	明治2年	1869	上市田村様子大概書上帳	
1678	明治2年	1869	御触書	
1679	明治2年	1869	御一新ニ付伊那街道・宿々規則御定二而・所々出張諸調共諸入用勘定帳	
1680	明治2年	1869	五ヶ村高家数人馬取調帳	
1681	明治2年	1869	人馬継立諸入用取調書上帳	
1682	明治2年	1869	人馬継立五ヶ年惣辻	
1683	明治2年	1869	御伝馬所人馬五ヶ年総辻	
1684	明治2年	1869	人馬継立諸入用取調書上帳	元治元年より明治元年迄
1685	明治2年	1869	人馬継立五ヶ年惣辻	
1686	明治2年	1869	宿役人給金取調書上帳	
1687	明治2年	1869	小役遣取調書上帳	子年一辰年迄
1688	明治2年	1869	乍恐以書付願上候	各宿より印章御下渡下さる様(他二枚)
1689	明治2年	1869	御預り米請取	
1690	明治2年	1869	乍恐以書付奉願上候	
1691	明治2年	1869	乍恐以書付奉願上候	永定免に成し下され度
1692	明治2年	1869	乍恐以書付奉願上候	冷気難渋につき水田御内見下さるやう
1693	明治2年	1869	覚	御上納米高差引調帳
1694	明治2年	1869	凶作につき充分御検見下さるやう願出	
1695	明治2年	1869	乍恐以書付御届奉申上候	小物成并百姓持林御運上等
1696	明治2年	1869	上市田養蚕生産高	春夏蚕にて百二十貫

通番	年号	西暦	文書名	備考
1697	明治2年	1869	御尋につき乍恐書付左に奉申上候	名主役料米三石貳升貳合八勺七才
1698	明治2年	1869	往来一札之事	木曾御嶽山へ心願有之登山者四人の往来につき
1699	明治2年	1869	御布告留帳	行政官、民部官より御布告留
1700	明治2年	1869	御触書一冊	2月
1701	明治2年	1869	百姓持林の内伐採候二付反別代料御届書	
1702	明治2年	1869	御触書	3月
1703	明治2年	1869	御触書	4月
1704	明治2年	1869	御用状御先触請取帳 四冊	
1705	明治2年	1869	御用状御先触受取帳	
1706	明治2年	1869	子年ヨリ辰年迄小役遣取調書上帳	
1707	明治2年	1869	御用人馬継立日ノ帳	
1708	明治2年	1869	御免定写書上帳	
1709	明治2年	1869	御尋ニ付取調書上帳	人馬継立総数其他諸調
1710	明治2年	1869	宿方由緒其外御尋被遊候ニ付申伝仕来之廉々取調書上帳	
1711	明治2年	1869	上市田村己正租割付之事	伊那県
1712	明治2年	1869	大島宿以北五ヶ村よりの願書控	
1713	明治2年	1869	乍恐書付を以て御届奉申上候	各村の御高札場より各村への町数書
1714	明治2年	1869	不作困窮につき米御拂下げ下さる様願	上市田村より御役所へ
1715	明治2年	1869	米五俵御拂被下度願出	上市田役人より伊那県御役所へ
1716	明治2年	1869	本田新田取米御高調帳	下牛牧村
1717	明治2年	1869	本田新田高取米調帳	牛牧村
1718	明治2年	1869	人馬継立高、并賃銭請取高、等取調帳写	市田宿 元治元年より明治元年迄
1719	明治2年	1869	人馬継立高并賃銭請取高等取調帳写	市田宿 元治元年より明治元年迄
1720	明治2年	1869	御伝馬二付宿方諸入用調	元治元年ヨリ明治元年迄市田宿
1721	明治2年	1869	当己御年貢米御中札並石代金納分御願書	
1722	明治2年	1869	宿方諸入費、入作分高割、取集金貸付利揚積立帳	
1723	明治2年	1869	伊那県様ヨリ御憐恤米割賦帳	
1724	明治2年	1869	貳分金銘々調書上帳	貳分金引替札控帳分一冊
1725	明治2年	1869	飯島役人調貳分金渡し覚帳	
1726	明治2年	1869	貳分金取集覚帳	飯島町権四郎殿より御沙汰につき
1727	明治2年	1869	金銭村札出来高并組々割付帳	
1728	明治2年	1869	人馬割入帳	御一新直後用人往来シキリ也
1729	明治2年	1869	人馬日ノ帳	用人ノ往来シキリナリ
1730	明治2年	1869	二等勤人馬通 市田駅付属	下市田村・牛牧村・吉岡村
1731	明治2年	1869	人馬触宛帳	
1732	明治2年	1869	村方田畑、反別、取調書上写	
1733	明治2年	1869	助人馬割賦	
1734	明治2年	1869	助人足割賦につき願上 六点	
1735	明治2年	1869	御尋ニ付書上帳	
1736	明治2年	1869	租税皆済目録	
1737	明治2年	1869	己正租割付之事	伊那県御印

通番	年号	西暦	文書名	備考
1738	明治2年	1869	御用状人足調帳	
1739	明治2年	1869	年内出入覚帳	
1740	明治2年	1869	助郷人足取替に付 伊那県様へ 書上候人足割合控帳	
1741	明治2年	1869	米五十俵拝借御請書写	表紙のみ
1742	明治2年	1869	信濃国伊那郡上市田村様子大概 書上帳	2冊
1743	明治2年	1869	判取	
1744	明治2年	1869	観音堂持惣積金・郷蔵代金并屋 舗米金取調貸附帳	
1745	明治2年	1869	不作につき御救下賜	唐傘村よりの嘆願に対し伊那県を飯田御取締役所へ
1746	明治2年	1869	御先觸見出帳	市田駅御伝馬所
1747	明治2年	1869	御請書	上市田村三役人
1748	明治2年	1869	神社由緒書上帳	四冊
1749	明治2年	1869	宿方由緒其外御尋被遊候ニ付言 上書	
1750	明治2年	1869	拝借仕候御米之事	
1751	明治2年	1869	御免定写	
1752	明治2年	1869	人馬請負書上帳	
1753	明治2年	1869	租税皆済免状、品用向入	袋のみ
1754	明治2年	1869	乍恐以書付奉願上候	駅通改正につき上市田役人よりの一札
1755	明治2年	1869	乍恐以書付奉願上候	上市田村より伊那県へ歎願
1756	明治2年	1869	御触書留	
1757	明治3年	1870	人馬指定立人馬月給帳・伝馬町 諸費仕訳帳	
1758	明治3年	1870	御先觸見出帳	午正月より
1759	明治3年	1870	人馬月給書上帳	伊那街道市田宿
1760	明治3年	1870	二等人馬贖勘定帳	午九月
1761	明治3年	1870	伝馬所諸入費総括取調帳	
1762	明治3年	1870	伝馬所諸入費御下渡ニ付総括帳	
1763	明治3年	1870	二等人馬贖勘定帳	巳正月
1764	明治3年	1870	御一新ニ付諸道宿駅更御規則改 書写	大政官よりの布告陸運について
1765	明治3年	1870	諸入費総括帳 二等人足賄帳	
1766	明治3年	1870	役人給分取調帳	
1767	明治3年	1870	藩県官員方々上田表御集金ニ付 定立人馬減少御達写	
1768	明治3年	1870	伝馬所賃錢差引覚帳	
1769	明治3年	1870	二倍預書上帳	
1770	明治3年	1870	伝馬屋敷東西南北間数書上帳	
1771	明治3年	1870	人馬日締帳	正月より6月
1772	明治3年	1870	定立人馬月給并馬指小使月給渡 元金御利足共調書上帳	
1773	明治3年	1870	議事案	伊那街道市田宿控
1774	明治3年	1870	伊那街道宿々伝馬所諸事伺書写	
1775	明治3年	1870	伊那県駅通掛御出役宿方御改正 伺書上雛形写	
1776	明治3年	1870	駅通御規則御改正ニ付藩県御歎 願書写	

通番	年号	西暦	文書名	備考
1777	明治3年	1870	御伝馬所入費金高、宿并付属村 村高、駄法御廃止ニ付御達請書 写	市田宿御伝馬所
1778	明治3年	1870	人馬賃銭之内割銭取調帳	
1779	明治3年	1870	諸入費遣拂高書上帳	
1780	明治3年	1870	御沙汰に付無賃人足取調差出帳 写	
1781	明治3年	1870	日々人馬勤方控帳	午九月より・午二月より（2冊）
1782	明治3年	1870	御先触見出帳	
1783	明治3年	1870	御沙汰ニ付出穀取調御届書	
1784	明治3年	1870	跡拂人足賃取調書上帳	明治三年四月ヨリ五年八日迄
1785	明治3年	1870	二等勤人馬通	下市田村、上牛牧村、下牛牧村
1786	明治3年	1870	相对人馬三步増勿銭取調書上帳	
1787	明治3年	1870	人馬日締帳	7月～12月
1788	明治3年	1870	人馬差小使給分、定立二等人馬 給 月々割渡勘定帳	
1789	明治3年	1870	人馬触当帳	
1790	明治3年	1870	無賃御用状御継立書上帳	
1791	明治3年	1870	駕籠人足賃銭預帳	
1792	明治3年	1870	松島駅伝馬所諸入用支拂帳	
1793	明治3年	1870	無賃御用状御継立書上帳	
1794	明治3年	1870	伊那街道市田宿附属御請印帳	
1795	明治3年	1870	伝馬所諸入用毎月調上帳	市田宿
1796	明治3年	1870	御伝馬助人馬判取帳	下市田村
1797	明治3年	1870	御定賃銭拾二倍ノ内ニ倍預り帳	
1798	明治3年	1870	役人人馬給分御下ヶ金凡割帳	
1799	明治3年	1870	日々立人馬勤方控帳	
1800	明治3年	1870	人馬日締帳	7月
1801	明治3年	1870	御検見入二付村々銘々蒔畝歩取 調帳	
1802	明治3年	1870	当午立毛内見合付帳	
1803	明治3年	1870	検見につき回覧状	
1804	明治3年	1870	午、田方毛付内見帳	信濃国伊那郡上市田村役元控
1805	明治3年	1870	午田方毛附早稲田ノ分内見帳	
1806	明治3年	1870	午田方毛附内見帳	信濃国伊那郡上市田村
1807	明治3年	1870	午田方毛附内見帳	信濃国伊那郡上市田村役場控
1808	明治3年	1870	下市田村外二ヶ村当己用水管繕 出来形帳	
1809	明治3年	1870	市田局御蔵願下二相成御沙汰ニ 付郷蔵古屋敷御年貢に関する件	
1810	明治3年	1870	午租税皆済目録	伊那県庁へ上市田村
1811	明治3年	1870	大神宮様荒神様御家根替ニ付諸 色出控帳	
1812	明治3年	1870	国役金割合取集帳	
1813	明治3年	1870	午年式割之利米銘々取集帳	
1814	明治3年	1870	村金・観音金歳々利足皆済帳	
1815	明治3年	1870	村方融通安米割附帳	
1816	明治3年	1870	新屋敷へ増税ニ付地主共本高二 入割掛帳	
1817	明治3年	1870	田方銘々蒔数取調帳	

通番	年号	西暦	文書名	備考
1818	明治3年	1870	所有者別立木取調帳	
1819	明治3年	1870	持林坪反別取調元帳	
1820	明治3年	1870	市田町伝馬屋敷畑并添藪林坪数調帳	
1821	明治3年	1870	駕籠人足見出し調書帳	
1822	明治3年	1870	二等人馬触宛帳（原本）	
1823	明治3年	1870	二等人馬触宛帳（写）	
1824	明治3年	1870	人馬日締帳	
1825	明治3年	1870	法花宗門御改帳 上市田村	
1826	明治3年	1870	借家人別御改帳 上市田村	
1827	明治3年	1870	人馬家数御改帳 上市田村	
1828	明治3年	1870	浄土宗門御改帳 上市田村	
1829	明治3年	1870	禅宗門御改帳 上市田村	
1830	明治3年	1870	駅通司様より御用状御継立取調帳書上帳	・右伊那県様より御沙汰ニ付書上候下書
1831	明治3年	1870	駅通司様より御用状御用物継立高書上帳	
1832	明治3年	1870	駅通御触并駅々廻達諸用書留	
1833	明治3年	1870	伊那県方租税皆済目録写	
1834	明治3年	1870	伝馬所諸入用取替分拂方覚帳	
1835	明治3年	1870	午租税可納割付之事	伊那県庁
1836	明治3年	1870	御傳馬・村役勤外諸色控帳	
1837	明治3年	1870	相対人馬三步増勿銭取調書上帳	
1838	明治3年	1870	一 高百八拾三石六斗七升七合	
1839	明治3年	1870	地租改正綴り一銘々田方蒔高メ寄帳他	
1840	明治3年	1870	覚	
1841	明治3年	1870	人馬日締帳	午正月より六月
1842	明治3年	1870	算法覚	
1843	明治3年	1870	諸案留	
1844	明治3年	1870	四拾八ヶ村入用割賦帳	
1845	明治3年	1870	市田駅諸入用留	
1846	明治3年	1870	相対馬勤方控帳	
1847	明治3年	1870	租税石代金納通	
1848	明治3年	1870	地券（十六枚）	
1849	明治3年	1870	七月・八月定立并二等馬取調書上帳	市田宿
1850	明治3年	1870	制札板（御達と申定）	
1851	明治3年	1870	信濃一般給分定立帳	各道役員表外
1852	明治3年	1870	御沙汰ニ付乍恐以書付奉申上候	上市田村助郷附属村
1853	明治3年	1870	酒造道具御拂ニ付入札金高御伺書	
1854	明治3年	1870	御届書写	石高・戸数・人員届
1855	明治3年	1870	御歎願書	坪蒔りの上増穀された件
1856				
1857	明治3年	1870	大嶋川 井口御見分入用留	
1858	明治3年	1870	以口上書申上候	中仙道木曾宿へ助郷組替相成候も難渋にて
1859	明治3年	1870	定立人馬月給并馬指小使月給渡傳馬所諸入用勘定書上帳	

通番	年号	西暦	文書名	備考
1860	明治3年	1870	高札 御達と申定	午 三月
1861	明治4年	1871	御布告留	
1862	明治4年	1871	御一新前元賃銭記	大島宿に人足一人三銭四文軽尻四銭一文、本馬一疋六銭四文
1863	明治4年	1871	人馬指定耆人足月給帳他の下書控	伝馬所諸入費巨細書上帳、相对三分増刎銭帳も
1864	明治4年	1871	御伝馬所諸入費巨細書上帳	
1865	明治4年	1871	伝馬町詰并給料割合帳	
1866	明治4年	1871	二等人足贖費取調候処相違御座無く候	
1867	明治4年	1871	定立馬・二等馬 月給書上帳	
1868	明治4年	1871	駅遞御改正御規則	
1869	明治4年	1871	郵便飛行御答書	
1870	明治4年	1871	差上申御請書之事	駅遞之義御改正規則
1871	慶応4年	1871	乍恐以書附奉願上候	上市田村
1872	明治4年	1871	字増野原開拓ニ付為取替規定書写	
1873	明治4年	1871	村方持馬御尋二ツキ御届書写	
1874	明治4年	1871	市田局内剣術御稽古所伺書	
1875	明治4年	1871	御届書写	米380俵荒麦120俵
1876	明治4年	1871	伊那街道市田宿御免許地反別書上帳	
1877	明治4年	1871	新規醸造御鑑札願書	
1878	明治4年	1871	新貨幣御鑄造條例別冊	
1879	明治4年	1871	酒醸造方締筋御布告写	
1880	明治4年	1871	蚕種規則付録書写	
1881	明治4年	1871	太政官、伊那県庁より流行病につき御達	
1882	明治4年	1871	皇太神宮、石薬師正面絵図	
1883	明治4年	1871	人足日締帳	未11月分
1884	明治4年	1871	御一新宿々規則 立替所、出張居宿、其他諸入費等勘定帳	
1885	明治4年	1871	伝馬所諸入費総括帳	
1886	明治4年	1871	御藩県送之者差添人名前留帳	
1887	明治4年	1871	人足日締帳	未 8 月分
1888	明治4年	1871	人足日締帳	10月分
1889	明治4年	1871	人足日締帳	未12月分
1890	明治4年	1871	日々立人足勤方控帳	
1891	明治4年	1871	貯穀俵数諸書上帳	
1892	明治4年	1871	未田方毛付内見帳	
1893	明治4年	1871	御検見御役人出発御先触並御順村の休泊付写	
1894	明治4年	1871	未田方毛付内見帳	
1895	明治4年	1871	当未田方早稲分毛付内見帳	
1896	明治4年	1871	大島山・牛牧 井口普請人足賃割高勘定帳	
1897	明治4年	1871	去午年入用書上帳 (原本)	
1898	明治4年	1871	去午年入用書上帳 (下書き)	
1899	明治4年	1871	大島山・牛牧井口人足勤日控帳	
1900	明治4年	1871	生徒授業料取集帳	

通番	年号	西暦	文書名	備考
1901	明治4年	1871	覚	ボルト扱代三人、代金二分
1902	明治4年	1871	井口普請人足勘定帳	
1903	明治4年	1871	市田局敷地願書	
1904	明治4年	1871	為取替申一札之事	大島山井口普請につき五ヶ条の条々双方談の上議定仕る書
1905	明治4年	1871	貯穀銘々出穀書上帳	
1906	明治4年	1871	国役金御陣屋営繕高掛銘々取集帳	
1907	明治4年	1871	新屋敷地高反別取調帳	7月16日
1908	明治4年	1871	新屋敷地有形間数調帳	7月
1909	明治4年	1871	宗門人別改帳	
1910	明治4年	1871	諸入費書留帳	御伝馬所
1911	明治4年	1871	新規醸造御鑑札願書	
1912	明治4年	1871	未租税金受取 壬申租税金請取証	筑摩県飯田出張所
1913	明治4年	1871	法華宗門御改帳	
1914	明治4年	1871	借家人別御改帳	
1915	明治4年	1871	人馬家数御改帳	
1916				
1917	明治4年	1871	譲渡申畑地證書之方事	
1918	明治4年	1871	字大嶋川分水場御普請出来御手当歎願書	
1919	明治4年	1871	市田局御門前道願書	
1920	明治4年	1871	村持神社御届書 写	
1921	明治4年	1871	以書附奉申上候	社中巨細取調
1922	明治4年	1871	記 (伊勢神社・荒神社)	外に天照大神社
1923	明治4年	1871	神社取調書上帳	
1924	明治4年	1871	両宮木数取調帳	
1925	明治4年	1871	無賃人足取調書上帳	包みのみ
1926	明治4年	1871	給料事務の下書	
1927	明治4年	1871	人馬巨細取調帳 (市田駅伝馬所)	
1928	明治4年	1871	二等人足贖勘定帳	
1929	明治4年	1871	人馬勤数之月給割合皆済帳	市田宿伝馬所
1930	明治4年	1871	浄土宗門御改帳	上市田村
1931	明治4年～7年まで	1871	明治四未租税石代金納通	
1932	明治4年	1871	制札板 (定)	何事によら須よろしからさる事
1933	明治4年	1871	制札板 (定)	一切支丹宗門之儀者御定迄御定迄御制禁之通堅く可相守事
1934	明治4年	1871	續国史略 ①②⑤号	
1935	明治4年	1871	上 乍恐以書付御届奉申上候	上市田村三役人よりの御届
1936	明治4年	1871	伊那街道市田宿敷地御免許地反別取調書上帳	一冊
1937	明治4年	1871	書附一札之事	畑普請約足違
1938	明治4年	1871	神社取調書上帳	
1939	明治4年	1871	大嶋川井口普請入用割勘定帳	三ヶ村用
1940	明治4年	1871	人馬指小使月給・定立人馬月給書上帳	市田宿御伝馬所 明治4年～7年
1941	明治4年	1871	相対人足三増勿銭取調書上帳	

通番	年号	西暦	文書名	備考
1942	明治4年	1871	制札板(定)	一人たるの五倫の道を正しくすべき事
1943	明治5年	1872	定免御願ニ付取調書上之帳	文久2年ヨリ明治4年迄
1944	明治5年	1872	七尾県高岡出張所江壺封添	
1945	明治5年	1872	陸運会社方法伺書	規則書賃銀等スベテ判明
1946	明治5年	1872	申盆前諸拂方調立皆済帳	
1947	明治5年	1872	中牛馬会社御規則書	
1948	明治5年	1872	伝馬人足給米料割渡帳	陸運会社
1949	明治5年	1872	人馬賃銭積表	
1950	明治5年	1872	陸運賃銭書上帳	
1951	明治5年	1872	伝馬所諸入費総括取調帳	
1952	明治5年	1872	二等人足贖勘定帳	
1953	明治5年	1872	乍恐以書付奉願上候	元賃銭拾倍を相当相増し下さる様願出、上清内路宿原惣右衛門外
1954	明治5年	1872	乍恐以書付奉願上候	元賃銭の十倍増額下さる様各宿連署を以て願出市田駅大嶋四郎平外
1955	明治5年	1872	各駅連署にて荷物取扱上について願出	
1956	明治5年	1872	陸運会社御取建御触書	
1957	明治5年	1872	駅遞御触並宿之廻達諸用書留	市田宿御伝馬所
1958	明治5年	1872	賃銭後拂之義筑摩県令に報告	
1959	明治5年	1872	乍恐以書付御届奉申上候	上市田村繭九拾五貫目
1960	明治5年	1872	信濃国伊那郡上市田村土地、物産ノ書上	
1961	明治5年	1872	従行政官御布告	
1962	明治5年	1872	村方四方間敷地形高下積帳	上市田村往還の西側、東側の家並の屋敷の調らしい
1963	明治5年	1872	駅屋敷地引書上下帳	
1964	明治5年	1872	調モノ類一括	
1965	明治5年	1872	飯田出張所へ差出シタル上市田村絵図	
1966	明治5年	1872	伊那街道市田宿屋舗地絵図面	記名間口、奥行、間数、坪数、記入アリ
1967	明治5年	1872	村内宅地耕地絵図	田畑実地仕訳地代金共時々直段付ス
1968	明治5年	1872	上市田村絵図面小形	
1969	明治5年	1872	市田宿絵図面奉差上候	
1970	明治5年	1872	御用状御先触書留	
1971	明治5年	1872	大嶋川井口出人足賃相渡帳	
1972	明治5年	1872	申盆前村役人足賃差引帳	
1973	明治5年	1872	太神宮大麻初穂名前帳	
1974	明治5年	1872	大嶋川井口普請人足勤帳	
1975	明治5年	1872	宿々入費全国割取集帳	
1976	明治5年	1872	皇大神宮様御麻初穂料取集帳	
1977	明治5年	1872	大神宮様屋根替入用取集帳	
1978	明治5年	1872	国役金高割取集帳	
1979	明治5年	1872	村方町敷地形高低外一切有無品々下調帳	
1980	明治5年	1872	神葬祭略式御達之写	
1981				
1982	明治5年	1872	新開地引書上下帳	
1983	明治5年	1872	観音堂什物并良源尼所持品諸品惣調帳	

通番	年号	西暦	文書名	備考
1984	明治5年	1872	暮本貫割合帳	
1985	明治5年	1872	六ヶ村入用割帳	
1986	明治5年	1872	六ヶ村貫差引并三ヶ村・四ヶ村 共勘定取集帳	
1987	明治5年	1872	病院加入金取集帳	
1988	明治5年	1872	山田、山畑御検見請場所反別調 帳	
1989	明治5年	1872	東裏畑・山耕畑内竿入取集帳	
1990	明治5年	1872	田方銘々高反別仕訳下帳	
1991	明治5年	1872	田畑作り揚高上・中・下仕訳 方・引帳	最初調分
1992	明治5年	1872	畑畔検地二番帳	
1993	明治5年	1872	土地検地参考調	
1994	明治5年ヨリ 明治6年迄	1872	地券勘定差引帳	
1995	明治5年	1872	出生縁談人別届ヶ下控帳	
1996	明治5年	1872	小前駄賃稼御願書之事	
1997	明治5年	1872	諸用留日記	
1998	明治5年	1872	伝馬所諸入費総括取調下書帳	
1999	明治5年	1872	伝馬所諸入費役人・人足給米書 上帳	
2000	明治5年	1872	譲渡申地所證書之事	
2001	明治5年	1872	牛牧村入作之通	他一通
2002	明治5年	1872	おぼへ 役所へ納めた学校加入 金	
2003	明治5年	1872	伝馬所諸入費総括取調帳	正月より六月まで
2004	明治5年	1872	屋敷税半額願（二枚）	
2005	明治5年	1872	乍恐以書付御届奉申上候	
2006	明治5年	1872	武器類取調帳	
2007	明治5年	1872	蚕玉様神酒料取集帳	
2008	明治5年	1872	覚物帳	
2009	明治5年～ 7年	1872	諸費取調書上扣	明治五年壬申分・明治六年癸酉分・明治七年甲戌 分
2010	明治5年	1872	跡目相続について	
2011	明治5年	1872	乍恐以書付御届奉申上候	諸調査
2012	明治5年	1872	観音林大丸山欠崩之書付外	
2013	明治5年	1872	書付之事（下書）	下市田役人へ上市田役人方
2014	明治5年	1872	書附之事	上市田村役人方下市田村役人へ
2015	明治5年	1872	御届書（慈眼庵龍玄尼）	
2016	明治5年	1872	旅人盗賊ニ付御届書	
2017	明治5年	1872	伊那県庁より御達	粉食について
2018	明治5年	1872	差出申一札之事	土地取換のための件
2019	明治6年	1873	非常人馬御規則写	
2020	明治6年	1873	御伝馬所詰役人人馬指給分帳	
2021	明治6年	1873	奉差上御請書之事	非常人馬御請書
2022	明治6年	1873	諸入費取調帳	
2023	明治6年	1873	差上申済口証文之事	入会原野のことで両者熟談内済証文
2024	明治6年	1873	醸造御規則、病院開立御達	
2025	明治6年	1873	村内の概要回答書	

通番	年号	西暦	文書名	備考
2026	明治6年	1873	証券印税心得	
2027	明治6年	1873	御沙汰ニ付田地売買・諸入費高・積添高書上下帳	
2028	明治6年	1873	松本・飯田・両問屋へ御渡書の写	市田宿 問屋 関川源左衛門
2029	明治6年	1873	御用状案内状留帳	
2030	明治6年	1873	吉田村・大島山村・牛牧村三ヶ村入会草場に付き掛合口上書留帳	筑摩県権令永山盛輝殿
2031	明治6年	1873	十七才ヨリ四十才未満御届書	
2032	明治6年	1873	筑摩県下松本博覧会規則	
2033	明治6年	1873	明年十七才之者御届書	
2034	明治6年	1873	第十九大区小一区成丁御届書	
2035	明治6年	1873	区内戸籍表（集計表）	
2036	明治6年	1873	差上申済口証文の事	上下市田村より他四村に対し入会草場に付き申入れの件
2037	明治6年	1873	長幅給米二ヶ年分下市田村大内介祭給米其他銘々取集帳	
2038	明治6年	1873	再調田畑地引下帳	
2039	明治6年	1873	諸証文裏印帳	
2040	明治6年	1873	全国金高割・戸長副入用戸籍割取集帳	六所差引帳
2041	明治6年	1873	暮本貫壺俵二付凡壺分宛取集帳	
2042	明治6年	1873	地券調二付出勤人数ノ上帳	
2043	明治6年	1873	盆前諸拂方書抜帳	
2044	明治6年	1873	明治五年分国役金高掛取集帳	
2045	明治6年	1873	暮貫凡割付拂方覚帳	
2046	明治6年	1873	村役人足勤賃割合帳	
2047	明治6年	1873	山田・山畑再調帳	
2048	明治6年	1873	田畑実坪・高反別・取米役米・惣揚下作業・地代金取調仕訳帳	
2049				
2050				
2051	明治6年	1873	地引調代價付上市田村田畑当時現今上・中・下見分下調帳	
2052	明治6年	1873	検地関係書類	
2053	明治6年頃	1873	田畑等級付反別調 一括	
2054	明治6年	1873	検地下調書 其一	
2055	明治6年	1873	検地下調書 其二	
2056	明治6年	1873	検地下調書 其三	
2057	明治6年	1873	検地下調 其四	
2058	明治6年	1873	宿屋敷地租税半高石代金出金高帳	
2059	明治6年	1873	五人組釣頭定帳	
2060	明治6年	1873	備人足勤方控帳	3月12日ヨリ
2061	明治6年	1873	備人足勤方控帳	西10月1日ヨリ
2062	明治6年	1873	副戸長役料書上	
2063	明治6年	1873	飯田御出張所御管下大区長連名並事務写	
2064	明治6年	1873	御願書 新規郷蔵一件	

通番	年号	西暦	文書名	備考
2065	明治6年	1873	御布告留帳	物産取調につき
2066	明治6年	1873	銘々繭出来生糸改会社との関係届書	役場控
2067	明治6年	1873	六才ヨリ拾三歳満者取調帳	
2068	明治6年以降	1873	雑書類綴	
2069	明治6年	1873	入校の者書上帳	
2070	明治6年カ	1873	奉願候口上書	廣胖小校性明小校、生徒外調口上書
2071	明治6年	1873	上市田村学校並旗号御届書	
2072	明治6年	1873	御届書	病氣ノタメ学校入学デキヌ届
2073	明治6年	1873	私立学校設立伺	学校位置、名称、学科、教則、校則
2074	明治6年	1873	元資金加入連名ボ	至急差し出すべく学区取締まり通知
2075	明治6年	1873	学校積立元金高書上帳	
2076	明治6年	1873	学校所諸入費割合帳	
2077	明治6年	1873	式法定め	
2078	明治6年	1873	戸主ノ書式	
2079	明治6年	1873	御願書	
2080	明治6年	1873	癸明治六年御休泊記帳	
2081	明治6年	1873	地券取調に用いた品	地引帳の部分
2082	明治6年	1873	徴兵連名簿	
2083	明治6年	1873	明治6年西人員総計御達雛形	
2084	明治6年	1873	明治6年の戸籍の変化	
2085	明治6年	1873	記（出稼願）	
2086	明治6年	1873	病院加入金小前帳	
2087	明治6年	1873	神社書上帳	
2088	明治6年	1873	明治六年盆前本貫分、一、金四拾六円廿壹銭九厘四毛	
2089	明治6年	1873	明年拾七歳之者御届書	
2090	明治6年	1873	戸主本年十七歳ヨリ四十一歳迄取調帳	
2091	明治6年	1873	御役所之書上の下書入	多くの書付有り
2092	明治6年	1873	盆前諸入費勘定帳	
2093	明治6年	1873	学校加入金見込割合	
2094	明治6年	1873	産神御守札・吉田村祠掌ろ相渡御初穂銭取集帳	
2095	明治6年	1873	右宿邑組合ニ被仰付非常御出兵	
2096	明治6年	1873	学校所…諸入用割出銭帳	
2097	明治6年	1873	上市田村 馬数メ三拾九疋	
2098	明治6年	1873	御届奉申上候	
2099	明治6年	1873	学校入費割合帳	
2100	明治6年	1873	水車再御届書控	上市田村
2101	明治6年	1873	村地情景明細表	上市田村
2102	明治6年	1873	中牛馬会社御創建ニ付御伺書	
2103	明治6年	1873	書翰初学抄	
2104	明治6年	1873	御県送り之者御達御届書	役元
2105	明治6年	1873	病院加入金申年分銘々取集帳	
2106	明治6年	1873	蚕玉様神酒料取集帳・蛹貫数調帳	
2107	明治6年	1873	相定申一札之事	
2108	明治6年	1873	筑摩県よりの通達扣	

通番	年号	西暦	文書名	備考
2109	明治6年	1873	免役連名簿	上市田村
2110	明治6年	1873	陸運会社賃銭十六倍御定二相成書上候表面控	(運賃改正) 市田駅
2111	明治6年	1873	廻状	
2112	明治6年	1873	公有地書上	出原村始六ヶ村 龍口村始五ヶ村
2113	明治6年	1873	徴兵調御伺	
2114	明治6年	1873	成丁簿認メ	
2115	明治6年	1873	職分表	
2116	明治6年	1873	徴兵令規則書	上市田村役場控
2117	明治7年	1874	諸費取調帳	明治五年・六年分
2118	明治7年	1874	内国通運会社之中天災非常難事之節共救及約定人馬救助貸付金方法協議書	
2119	明治7年	1874	各地継立取扱申合規則	
2120	明治7年	1874	陸運会社・中牛馬会社請負人名取調之件	
2121	明治7年	1874	通知	駅遞につき巡回の注意しおくべき事柄
2122	明治7年	1874	差出申書付の事	往来の旅人止宿致させた
2123	明治7年	1874	御用日記留	上市田村戸長所一冊
2124	明治7年	1874	日本帝国郵便規則改正布告太政大臣ヨリ	外県達
2125	明治7年	1874	御布達日記留 上市田村役場(1月28日より)	
2126	明治7年	1874	御布達日記留 上市田村(7月上旬より)	
2127	明治7年	1874	村地情景明細表雛形	
2128	明治7年	1874	願書	山駕籠売渡致し度願出
2129	明治7年	1874	諸入費調	筑摩県権令へ提出 上市田村
2130	明治7年	1874	津島社御祈祷連名控	
2131	明治7年	1874	村役人足勤賃割合帳	
2132	明治7年	1874	村役勤人足賃割渡帳	
2133	明治7年	1874	学校元資金割当帳	
2134	明治7年	1874	村金・観音金貸付名前記帳	
2135	明治7年	1874	学校書類綴込	
2136	明治7年	1874	田畑穀類取調帳	
2137	明治7年	1874	御布令一括	人、五伍の法則、火難、徳義其他人トシテ弁フベキノ事
2138	明治7年	1874	郵便御規則表	
2139	明治7年	1874	月括取調帳	
2140	明治7年	1874	布告	
2141	明治7年	1874	縁談・社寺領・徴兵等について御触	
2142	明治7年	1874	村吏交替御布告	
2143	明治7年	1874	御布達留置	
2144	明治7年	1874	田畑等合書上簿	
2145	明治7年	1874	御達日記留	
2146	明治7年	1874	徴兵連名下調簿	
2147	明治7年	1874	田畑屋敷地価等級書上帳	7月
2148	明治7年	1874	田畑屋敷地価等級書上帳	8月
2149	明治7年	1874	御布達書写	筑摩県権令より御触

通番	年号	西暦	文書名	備考
2150	明治7年	1874	春夏掃立済蚕種紙数并名前帳	
2151	明治7年	1874	生徒読本石板価銘々出金記	
2152	明治7年	1874	徴兵調入費・捕丁給料・其他人口斬別割合帳	
2153	明治7年	1874	村役勤賃割渡帳	
2154	明治7年	1874	諸入用差引帳	
2155	明治7年	1874	田畑・藪・林墓・他改正地引下帳	
2156	明治7年	1874	酉年二割利米并役米取集帳	
2157	明治7年	1874	筑摩県ヨリ学校世話人申付候事	
2158	明治7年	1874	備人足順名控帳	
2159	明治7年	1874	村吏交代引渡目録書	
2160	明治7年	1874	物産御届書	米、雑穀、野菜、果物、家畜等に至る
2161	明治7年	1874	第十九大区各村・飯田会議所ニ於テ等級定書下 村方願書下	
2162	明治7・8年	1874	雑書	
2163	明治7年	1874	学校ノ御布告・電信賃表 書留	
2164	明治7年	1874	学区取締ヨリ学校卒業試験等二ツキ通達	
2165	明治7年	1874	第二学区巡視ノタメ文部省八等出仕派出ノ通知	
2166	明治7年	1874	測量司技術通学生規則通知	
2167	明治7年	1874	文部省ヨリ通知	規則其ノ他二ツキ雑書多数
2168	明治7年	1874	以書付奉願候	広胖小学校、明性小学校合併二ツキ元資金募り金御聞届願奉り候
2169	明治7年	1874	広胖学校生徒御届	上市田村戸長ヨリ長野権会へ
2170	明治7年	1874	生徒受業料	受業料十二銭五厘づゝ
2171	明治7年	1874	学校諸入費取集帳	本等購入費取集費其他
2172	明治7年	1874	広胖小校諸費月々書上簿 下	
2173	明治7年	1874	等級付地引帳改正見込雛形写	
2174	明治7年	1874	学校所御調二付取締江書上下帳	
2175	明治7年	1874	廻章	
2176	明治7年	1874	学校諸入費割合帳	
2177	明治7年	1874	宿方諸書類目録書	
2178	明治7年	1874	石代相場書	
2179	明治7年	1874	村吏印鑑帳	
2180	明治7年	1874	公有地書上簿	
2181	明治7年	1874	願書	6月23日
2182	明治7年	1874	病氣見舞諸納帳	
2183	明治7年	1874	生糸売買高、製造高取調帳	
2184	明治7年	1874	当座大宝恵	
2185	明治7年	1874	成丁簿	
2186	明治7年	1874	戸籍月括取調差出し帳	
2187	明治7年	1874	戸籍月括調下帳	
2188	明治7年	1874	徴兵服籍	
2189	明治7年	1874	御届書他	含選挙結果
2190	明治7年	1874	乍恐以書附奉願候	
2191	明治7年	1874	布告（第四十三号外）	長崎師範学校募集要項外

通番	年号	西暦	文書名	備考
2192	明治7年	1874	社地取調書上 写	
2193	明治7年	1874	神社取調簿 控	
2194	明治7年	1874	永々売渡し申地所(田地) 證文之事	
2195	明治7年	1874	地租御改の願文	
2196	明治7年	1874	香取大神大祓初穂取集帳	
2197	明治7年	1874	諸費取調書(上市田耕地)	
2198	明治7年	1874	諸上納金米取調帳(上市田村)	
2199	明治7年	1874	田畑増減書類	
2200	明治7年	1874	以書附奉願上候	筑摩縣永山盛輝への手紙
2201	明治7年	1874	天正より明治6年までの関川氏へ下された書類一覽	
2202	明治7年	1874	書付もって御届申上奉候→駅通御祭記事・・・	
2203	明治7年	1874	第四百十四号-本県飯田出張所より	
2204	明治7年	1874	証券印税規則	
2205	明治7年	1874	中山東問答全	
2206	明治7年	1874	徴兵連名簿	
2207	明治7年	1874	長男市太郎 誕生祝儀諸納帳	
2208	明治7年	1874	嘉永三戌年二月十六日より同丑年二月十五日迄	
2209	明治7年	1874	御届書	山駕籠につき
2210	明治7年	1874	村内神社取調簿	上市田村
2211	明治7年	1874	社地境内御届書	
2212	明治7年	1874	明治六歳分蝸御印紙改料帳	
2213	明治7年	1874	学区取締給料・詞官給料軒別割取集帳	
2214	明治7年	1874	蚕玉神酒料取集帳	
2215	明治7年	1874	成丁簿(徴兵につき)	
2216	明治7年	1874	徴兵御布達扣	
2217	明治7年	1874	願書	8月5日
2218	明治7年	1874	地理書上牒	
2219	明治7年	1874	戸籍・徴兵御達書 写	
2220	明治8年	1875	松島駅ヨリ根羽駅迄駅名	
2221	明治8年	1875	退業報知書	信濃国伊那郡伊那街道 市田駅通運会社引請人同 駅関川弥一郎
2222	明治8年	1875	約定書之事 陸運会社のこと	市田駅より大島駅に至る里程、人足賃錢馬賃義等 市田駅より飯田駅に至る
2223	明治8年	1875	元賃錢共二十倍増賃錢記	三錢九厘人足一人、七錢八厘馬一疋
2224	明治8年	1875	陸運諸入費割合帳	
2225	明治8年	1875	内国通運会社よりの回章	
2226	明治8年	1875	箱根外関所廢止其他触	
2227	明治8年	1875	積穀粃麦貸付目切控帳	
2228	明治8年	1875	学校諸費明細帳	
2229	明治8年	1875	生徒授業料取集帳	
2230	明治8年	1875	村金利集帳	
2231	明治8年	1875	御布告留	
2232	明治8年	1875	墳墓地之件御布告摺書	
2233	明治8年	1875	貢租老人別仕訳高帳	

通番	年号	西暦	文書名	備考
2234	明治8年	1875	御達	
2235	明治8年	1875	株式定例御達書	
2236	明治8年	1875	極詰上申御預り相成候写	市田六区耕地反別
2237	明治8年	1875	戸籍月括調下帳	
2238	明治8年	1875	田畑畝数増減極調上下帳	
2239	明治8年	1875	亥暮貫差引帳	
2240	明治8年	1875	戊年二割利米取集帳	
2241	明治8年	1875	警査費軒別取集帳	
2242	明治8年	1875	田畑反別地価取調	
2243	明治8年	1875	地引費并定例費共益前割掛銘々寄帳	
2244	明治8年	1875	出勤中饌銘々割合帳	
2245	明治8年	1875	地券取調日勤録	
2246	明治8年	1875	諸費書留帳	
2247	明治8年	1875	藪林葎敷山再検地帳	
2248	明治8年	1875	銘々全揚米調帳	
2249	明治8年	1875	墓所一筆限帳	地引調所
2250	明治8年	1875	田畑実地竿入帳	
2251	明治8年	1875	耕地田畑屋敷竿入畝数試検帳	
2252	明治8年	1875	備人足順名控簿	
2253	明治8年	1875	牝馬数取調書 上市田耕地	
2254	明治8年	1875	山林藪地引帳 下	上市田耕地
2255	明治8年	1875	御請書広胖学校	不熟学ノモノ本日中二熟学致サセバク御請書
2256	明治8年	1875	各校ノ献金現在取調出ズル様学区取締ヨリ通知	
2257	明治8年	1875	明治八年亥十月国役営繕費取集帳	上市田耕地
2258	明治8年	1875	国役並営繕費	
2259	明治8年	1875	満六年生徒取調帳	
2260	明治8年	1875	地籍調御達書	
2261	明治8年	1875	貢租耆人別仕訳高帳	
2262	明治8年	1875	郵便取扱役申付書	
2263	明治8年	1875	村役勤人足記帳	
2264	明治8年	1875	明治八年改正耕宅地山林原野反別地価総計帳	
2265	明治8年	1875	県通達第一四二号	
2266	明治8年	1875	学校創立についての感謝状	
2267	明治8年	1875	布告（百八号より百二十六号まで）	
2268	明治8年	1875	戊年積穀取調小前帳	
2269	明治8年	1875	警察からの手配書と土地売買の布告	
2270	明治8年	1875	記（上市田村の戸数・人員など）	
2271	明治8年	1875	布告第九十五号	別紙新旧公債證書発行条例外
2272	明治8年	1875	神社境内書上	
2273	明治8年	1875	天照皇大神社境内	
2274	明治8年	1875	八幡大神・諏訪大神・稲荷大神社境内	外に薬師境内

通番	年号	西暦	文書名	備考
2275	明治8年	1875	神社絵図面	明治八年二月書上、本書ハ絵図面別紙ニ差出之通也
2276	明治8年	1875	従前郷蔵廃止敷地次第凡心得事	
2277	明治8年	1875	記一金廿五銭	火災鎮護祈祷之御礼
2278	明治8年	1875	伍々釣合名員帳	
2279	明治8年	1875	上市田耕地地価合計	
2280	明治8年	1875	人足メモ	
2281	明治8年	1875	預り金証書の事	
2282	明治8年	1875	地引書類入	外に旧検地帳写
2283	明治8年	1875	記	一枚物多数
2284	明治8年	1875	太陽略歴(十一冊)	
2285	明治8年	1875	秋葉神社拜殿ノ普請引受書	
2286	明治8年	1875	田畑山林入組換地渡帳(下市田耕地分)	
2287	明治8年	1875	広畔小学支校、上市田村	
2288	明治8年	1875	回章	飯田駅より市田・大島・片桐・飯島
2289	明治8年	1875	御届書	通運会社営業差支につき
2290	明治8年	1875	約定書之事	陸運元会社と市田駅継立に関する約定
2291	明治8年	1875	約定書之事	記入要項(見本)
2292	明治8年	1875	退業依願書	通運会社継立所退業願
2293	明治8年～11年	1875	本県ヨリ内務卿エ伺書写	
2294	明治8年	1875	記(上市田村)	明治七年分調査
2295	明治8年	1875	第百六号 布告	大政大臣三條實美
2296	明治8年	1875	明治8～11年 米相場書	
2297	明治9年	1876	申酉過納下付金貸付名簿	
2298	明治9年	1876	山林税等取集簿	
2299	明治9年	1876	丙子年村差廻し利集帳	
2300	明治9年	1876	昨八年租税皆納取集帳	
2301	明治9年	1876	学校ニ付普請入用帳	
2302	明治9年	1876	学校所諸器械拂代金誌	
2303	明治9年	1876	学費及生徒授業料等取集帳	
2304	明治9年	1876	租税初納取集帳	
2305	明治9年	1876	丙子年租税金取集帳記載簿	
2306	明治9年	1876	丙子年諸入費取集帳	
2307	明治9年	1876	上市田村会計一部書類	
2308	明治9年	1876	備人足順名簿	
2309	明治9年	1876	事務日誌簿(二冊)	6月16日よりと11月1日より
2310	明治9年	1876	生徒試験ノ上褒牌ヲ賜ハリ候者	明六日持参スベキ旨通達
2311	明治9年	1876	月々入費書留	
2312	明治9年	1876	学校入用金不足ニ付元資金壹円二付壹銭五厘宛取集	
2313	明治9年	1876	酒喰勘定割合取集帳	
2314	明治9年	1876	種痘未済届書	
2315	明治9年	1876	為御手当壹ヶ月金拾銭等被下候事	
2316	明治9年	1876	養蚕祝酒料取集帳	
2317	明治9年	1876	買入商品記録→多し	
2318	明治9年	1876	歳内日誌簿	

通番	年号	西暦	文書名	備考
2319	明治9年	1876	祖税替納取集	
2320	明治9年	1876	入会権瀧ノ入内	観音沢
2321	明治9年	1876	入会権瀧ノ入内	高戸谷
2322	明治9年	1876	入会権瀧ノ入内	高森
2323	明治9年	1876	入会権瀧ノ入内	本沢廣河原
2324	明治9年	1876	入会権瀧ノ入内	シンナシ
2325	明治9年	1876	口上書	地券歎願の件
2326	明治9年	1876	千字文	
2327	明治9年	1876	田畑売買願	
2328	明治10年	1877	御請書	取扱う事項について
2329	明治10年	1877	丑年租税金取集簿	
2330	明治10年	1877	盆後貫勘定帳	
2331	明治10年	1877	盆前学校諸入費勘定帳	
2332	明治10年	1877	貫勘定帳	
2333	明治10年	1877	盆前貫勘定帳	
2334	明治10年	1877	道路修繕費取集帳	
2335	明治10年	1877	伝馬勤不足割合帳	
2336	明治10年	1877	盆後入費取調帳	
2337	明治10年	1877	学校新築入費調帳	
2338	明治10年	1877	道路人足日記	
2339	明治10年頃	1877	上市田村会計関係書類 一括	
2340	明治10年	1877	證	
2341	明治10年	1877	蝮ノ数記帳	
2342	明治10年	1877	公用雑誌	
2343	明治10年	1877	丁丑年二季諸書抜	
2344	明治10年	1877	御届書(確定書)	
2345	明治10年	1877	事務日誌	関川弥一郎作成 3月1日より
2346	明治10年	1877	事務日誌	関川弥一郎作成 7月1日より
2347	明治10年	1877	事務日誌	関川弥一郎作成 5月1日より
2348	明治10年	1877	事務日誌	関川弥一郎作成 6月1日より
2349	明治10年	1877	事務日誌	関川弥一郎作成 12月1日より
2350	明治10年	1877	事務日誌	関川弥一郎作成 8月1日より
2351	明治10年	1877	事務日誌	関川弥一郎作成 9月8日より
2352	明治10年	1877	記-区長以下給料	
2353	明治10年	1877	盆前村役勤人足銘々書抜帳	
2354	明治10年	1877	書牘→日用文(三)	
2355	明治10年	1877	願書	御改正地引帳 田畑丈量の件
2356	明治10年	1877	受取書	内国通運会社飯田分社御中
2357	明治10年	1877	事務日誌	
2358	明治11年	1878	上納諸費仮寄帳	
2359	明治11年	1878	通運二係ル人馬継立記載帳	
2360	明治11年	1878	田方地租取集帳二冊	
2361	明治11年	1878	再丈量入費取調帳	
2362	明治11年	1878	丈量野取帳	4701番より4800番迄
2363	明治11年	1878	利子取集帳	耕地扱所
2364	明治11年	1878	丈量野取帳	4901番より5041番迄
2365	明治11年	1878	地所売買御願	
2366	明治11年	1878	辞職願	

通番	年号	西暦	文書名	備考
2367	明治11年	1878	記	火災による居宅復興のための借用書
2368	明治11年	1878	耕地焼失ニ付見舞帳	
2369	明治11年	1878	田切伝四郎・関川弥一郎より三雲・柿沼への手紙	
2370	明治11年	1878	曙新聞第千五百二十四号 十一年十一月四日東京府	
2371	明治11年	1878	十二年一月八日迄ニ飯田ニテ製造天龍川・・・	
2372	明治11年	1878	事務日誌	関川弥一郎作成 3月1日より
2373	明治11年	1878	事務日誌	関川弥一郎作成 1月1日より
2374	明治11年	1878	事務日誌	関川弥一郎作成 11月1日より
2375	明治11年	1878	事務日誌	関川弥一郎作成 7月1日より
2376	明治11年	1878	事務日誌	関川弥一郎作成 9月1日より
2377	明治11年	1878	丈量野取帳	4601番より4700番迄
2378	明治11年	1878	記・覚など多数	
2379	明治11年	1878	県会・区会規則并要領	学校関係抄録
2380	明治12年	1879	願文書	関川弥一郎より市田駅は特殊事情により特殊の御取扱なされ度願出
2381	明治12年	1879	田方租税二分通取集帳	
2382	明治12年	1879	暮本貫割合帳	
2383	明治12年	1879	畑方二分、地法税山林税取集帳	
2384	明治12年	1879	慈眼庵再築ニ付諸費記載帳	
2385	明治12年	1879	諸費銘々請拂明細帳	
2386	明治12年	1879	開産社借入金奥印帳	
2387	明治12年	1879	観音堂再建他力御連名簿	4月
2388	明治12年	1879	明治五年ヨリ同至八亥年地券入費取束簿	
2389	明治12年	1879	背負籠壺ッ但シ対価弍銭	盗品届ケ
2390	明治12年	1879	観音堂再建他力御連名簿	5月
2391	明治12年	1879	記	事務扱所より上市田耕地惣代御中
2392	明治12年	1879	借入金証券	
2393	明治12年	1879	観音堂再建他力御連名簿	(焼失につき再建)
2394	明治12年	1879	観音堂再建他力御連名簿	
2395	明治12年	1879	内国通運会社への願書	継立所救助米の件
2396	明治12年	1879	諸事日誌(7月1日より)	
2397	明治12年	1879	諸事日誌(10月10日より)	
2398	明治13年	1880	願書、御達等数件	
2399	明治13年	1880	検定取集金調書	
2400	明治13年	1880	繭貫数揚高控帳	
2401	明治13年	1880	水車業日記帳	
2402	明治13年	1880	蛹生糸計算取調簿	
2403	明治13年	1880	庶務日誌	7月1日より
2404	明治13年	1880	里見村村会規則	
2405	明治14年	1881	覚帳	
2406	明治14年	1881	村内村吏並総代伍長人名簿	
2407	明治14年	1881	分村復旧願	
2408	明治14年	1881	通運会社請負人より郡長へ届願書	数点

通番	年号	西暦	文書名	備考
2409	明治14年・15年	1881	上市田戸長事務日記	
2410	明治14年	1881	改正 耕宅地々位等級簿	
2411	明治14年	1881	明治十四年一月調統計表	
2412	明治14年	1881	耕宅地等納簿	
2413	明治14年	1881	為取換約定之事	
2414	明治14年	1881	上市田村戸長役場器械類控帳	
2415	明治14年	1881	車屋搗挽控帳	
2416	明治14年	1881	地所売買ニ付税額訂正届	
2417	明治14年	1881	記(村上納金)	
2418	明治14年	1881	村方試験実量	
2419	明治14年	1881	経費勘定書類	
2420	明治14年	1881	庶務日誌	3月1日より
2421	明治14年	1881	地価修正に関する書類(多数)	
2422	明治14年	1881	諸勸化寄附書類	
2423	明治14年	1881	預り証	
2424	明治14年	1881	霞湖の書→2枚 中山霞湖(漁人)	
2425	明治14年	1881	明治新選 算法大成	
2426	明治14年	1881	解約廃社願	内国通運等の継立所
2427	明治14年	1881	山地入会争論訴訟の件	
2428	明治14年・15年	1881	雑事書類綴込(複写せず)	上市田村戸長役場
2429	明治14年代	1881	辞令・請書・出頭通知 計八点	
2430	明治15年	1882	地価修正 反別・収量・地価小計総計入算帳	
2431	明治15年	1882	諸上納金等取集帳、仮證など多数	
2432	明治15年	1882	蓄積金受取帳	
2433	明治15年	1882	借入金證書	
2434	明治15年	1882	記	種痘の注射をした人の名簿
2435	明治15年	1882	協立社雑書類	袋の中に縦帳(三冊)手紙(一通)一枚物(七枚)入っている
2436	明治15年	1882	村会議員選挙人・被選挙人名簿	
2437	明治15年	1882	種痘名簿→記	
2438	明治15年	1882	回達	
2439	明治15年	1882	勤農義社誘導委員依頼候事	
2440	明治15年	1882	願書→信濃国下伊那郡上市田村字大塚村社伊勢神社祭神天照大神	
2441	明治15年	1882	証	
2442	明治15年	1882	郵便切手売下人選挙書	
2443	明治15年	1882	年回忌四人供物受取帳	
2444	明治15年	1882	誓約書	
2445	明治15年	1882	下市田村戸長役場より上市田・牛牧・大島山・吉田・出原村戸長への書簡	
2446	明治16年	1883	郵便取扱役辞令	長野令ヨリ関川弥一郎
2447	明治16年	1883	他村へ出作地所 修正地價壱人別名寄留	

通番	年号	西暦	文書名	備考
2448	明治16年	1883	神風講社人名簿	
2449	明治16年	1883	当局区内通達	
2450	明治16年	1883	地券證配付并証印税領収帳	
2451	明治16年	1883	御柱祭旧典永続金募集委員委嘱状	
2452	明治16年	1883	郵便取扱役手当の外職務取扱諸費支給	
2453	明治16年	1883	来ル三十日午前九時礼服用し出頭	
2454	明治16年	1883	御請書	今般取扱準十七等御達之旨
2455	明治16年	1883	官有地	
2456	明治16年	1883	明治16年調住宅一覧表	
2457	明治16年	1883	郵便書類綴込 明治十六年各村の人口等明細あり	
2458	明治16・17年	1883	往復書并雜書類綴	上市田村戸長役場 複写せず
2459	明治16・17年	1883	事務日記 (複写せず)	上市田村戸長役場
2460	明治16年	1883	地價反別戸数表 家屋建坪調	
2461	明治17年	1884	上市田村地主総代より長野県令へ御願	
2462	明治17年	1884	委任状	
2463	明治17年	1884	記 (種痘の注射をした人の名前)	
2464	明治17年	1884	庶務日誌	2月1日より
2465	明治17年	1884	公告	
2466	明治17年	1884	職務勲励ニ付頭書之通賞與候事	
2467	明治17年	1884	御請書	
2468	明治17年	1884	村内協議費係ル諸用留	
2469	明治17年	1884	上市田村通常村会議案	七綴
2470	明治17年	1884	上市田村景状	
2471	明治18年	1885	上市田村戸長役場事務引渡書	上市田村外五ヶ村戸長ヨリ上市田村外五ヶ村戸長橋都多賀司へ
2472	明治18年	1885	郵便局御達類綴込	
2473	明治18年	1885	貯金命令書類	
2474	明治18年	1885	庶務日誌	1月1日より
2475	明治18年	1885	市田郵便受取所関係書類	
2476	明治18年	1885	金員出納帳	
2477	明治18年	1885	封筒のみ	
2478	明治18年	1885	領収証 金貳円也	
2479	明治18年	1885	御受書 (満十一年以上奉職勲励候ニ付)	
2480	明治18年	1885	退職の慰労手当を出すので請書を出すように	
2481	明治18年	1885	満十一年以上奉職勲励候ニ付慰労手当金貳円給與候	
2482	明治18年	1885	上市田村人口	
2483	明治18年	1885	十七年度諸上納金過不足取扱方演説書	
2484	明治19年	1886	金員出頭簿	
2485	明治19年	1886	証	領収書
2486	明治19年	1886	郵便受取所取扱人任命書	

通番	年号	西暦	文書名	備考
2487	明治19年	1886	本郡全部連合町村会議員当選相成候事	
2488	明治19年	1886	本郡全部連合町村会議員当選状	
2489	明治19年	1886	博物記帳	
2490	明治19年	1886	種痘証	
2491	明治19年	1886	霧間の鴈（全）	
2492	明治19年	1886	委任状	下市田村戸長橋都多賀司他五ヶ村戸長より
2493	明治20年	1887	聞書	
2494	明治21年	1888	金銭出納帳	
2495	明治21年	1888	庶務日誌	1月1日より
2496				
2497	明治21年	1888	数学記載帳 下伊那高等学校三年生	関川一美
2498	明治21年	1888	請願書	新村區画の件
2499	明治21年	1888	請願書（町村制施行新村區画）	
2500	明治22年	1889	奥山方向寺堂宇再建ニ付寄附証と大嶋山村両童子の石像建立寄附証	
2501	明治22年	1889	方向寺役寮寄附その他の寺の証（七枚）	
2502	明治22年	1889	兵役優待規約に関する書類	
2503	明治22年	1889	村用日誌（上市田）	
2504	明治22年	1889	公用会議書類（多数）	
2505	明治22年	1889	庶務日誌	1月1日より
2506	明治22年	1889	県道改修ニ付請願記録	沿道村落惣代本部
2507	明治22年・27年	1889	会議書類（複写せず）	村会議員関川
2508	明治23年	1890	清書（習字帳）	
2509	明治23年	1890	立木売却代価記載帳（二冊）	
2510	明治23年	1890	備忘録	
2511	明治23年	1890	如温武雷土	
2512	明治24年	1891	地所譲与証	関川弥一郎より田切喜七郎へ
2513	明治24年	1891	護摩堂山林開墾地証書	
2514	明治24年	1891	道路開鑿ノ義に付請願	七点
2515	明治24年	1891	告知書その他選挙通知	
2516	明治24年	1891	市田村第二回農産物品評会審査員ヲ囑託ス	
2517	明治24年	1891	唱歌集（全）	
2518	明治24年	1891	三州街道現道大懇親会名簿	（複写せず）
2519	明治24年	1891	三州街道改修請願会計簿	（複写せず）
2520	明治24年	1891	三州街道改修につき	
2521	明治24年	1891	願書（三州街道改修につき）	
2522	明治24年	1891	日本年代記（全）	
2523	明治25年	1892	明治二十五年歳出入総計予算決議書	
2524	明治25年	1892	証	領収書
2525	明治26年	1893	寄付感謝状	
2526	明治26年	1893	校舎新築費明細帳（牛牧尋常小学校新築委員）	
2527	明治26年	1893	会費徴収併費額記	

通番	年号	西暦	文書名	備考
2528	明治26年	1893	金銭出納簿	
2529	明治26年	1893	牛牧尋常小学校舎新築費トシテ 金拾三円寄附	
2530	明治26年	1893	初等農学→上巻	
2531	明治27年	1894	農家日誌	
2532	明治27年	1894	政子祝儀受納帳	
2533	明治27年	1894	山林保護委員選任状	
2534	明治27年	1894	牛牧尋常小学校新築費寄附につ き感謝状	
2535	明治28年	1895	地理・歴史・理科筆記帳	
2536	明治28年	1895	尋常小学修身書 巻四	教科書
2537	明治28年	1895	むら雀→第一号	
2538	明治28年	1895	聖旨・道徳尋常小学修身書	
2539	明治28年	1895	日清大激戦実記→第四	
2540	明治28年	1895	スクラップブック新聞記事切り 張り	
2541	明治29年	1896	千紫萬紅	
2542	明治29年	1896	算術	
2543	明治29年	1896	金銭出納帳	
2544	明治29年	1896	歳内諸色大宝恵	
2545	明治29年	1896	證（蠶玉山開運講社結集世話係 依頼書）	
2546	明治29年	1896	庶務日誌	
2547	明治29年	1896	真書千字文	書道本
2548	明治30年	1897	借用書	
2549	明治30年	1897	葬送御見舞受納帳	
2550	明治30年	1897	日清戦役の折軍資金等献納感謝 状	
2551	明治30年	1897	小学読本→高等科用 巻五	
2552	明治31年	1898	種痘証入袋	中に証書多数
2553	明治31年	1898	一金五拾銭	明治二十九年七月県下洪水ノ際罹災者賑恤トシテ 義損金を出したので葆詞相成候
2554	明治31年	1898	庶務日誌	4月6日より
2555	明治31年	1898	明治29年洪水罹災者賑恤義損金 ニ対シ褒衣詞	
2556	明治32年	1899	高等読本巻七書取帳	
2557	明治33年	1900	任勸募委員補	
2558	明治33年	1900	牛牧尋常小学校体操場新築費ト シテ金拾五円寄附ニ付其賞木杯 下賜	
2559	明治33年	1900	孟子学説（全）	
2560	明治33年	1900	伊那青年→号外→中村六三郎演 説	
2561	明治33年	1900	国語讀本→尋常小学校用（巻 七）	
2562	明治33年	1900	短期農事講習会記念写真	
2563	明治34年	1901	催告・訴状・委任状	
2564	明治34年	1901	委任状権（限を代理人に委任す る）	
2565	明治34年	1901	預り金証	
2566	明治34年	1901	史談・近古地引	

通番	年 号	西暦	文 書 名	備 考
2567	明治34年	1901	庶務日誌	1月1日より
2568	明治34年	1901	借入金証	
2569	明治34年	1901	証と完済証	
2570	明治34年	1901	理科教科書	
2571	明治34年	1901	郡司成忠君との記念写真	
2572	明治34年	1901	東京高等農学校に於ける横井博士との記念写真	
2573	明治35年	1902	通常郵便物引受（渡）帳	
2574	明治35年	1902	中等新地理（内開き表紙のみ）	
2575	明治35年	1902	金参円（事務格別勲励ニ付慰労トシテ）	
2576	明治35年	1902	受取證と手紙	
2577	明治35年	1902	本月三拾壹日限り廃業ヲ命ズ	
2578	明治35年	1902	名誉会員に推薦し副会長とする書類多数	
2579	明治35年	1902	中等漢文読本 巻七	
2580	明治35年	1902	中等新地理（外国の部）	
2581	明治35年	1902	女子国語讀本 巻五	
2582	明治35年・37年	1902	郵便御達類綴	複写せず
2583	明治35年	1902	下伊那農会第3回蚕業講習会講習生記念撮影	
2584	明治36年	1903	通知書（衆議院議員選挙法について）	
2585	明治36年	1903	高等女学校費寄附額ノ儀ニ付資問	
2586	明治36年	1903	養蠶日誌	
2587	明治36年	1903	墓地贈与に付書類	
2588	明治36年	1903	前紙抹消登記済抵当権設定証書并承認証書及送付書也	
2589	明治36年	1903	選任状（投票立会人に選任）	
2590	明治36年	1903	長野県農事試験場の臨時報告	
2591	明治36年	1903	委任状（墓地登記願）	その他書簡三通
2592	明治36年	1903	金四円（事務格別勲励ニ付慰労トシテ）	
2593	明治36年	1903	御寄付に付き感謝状	
2594	明治36年	1903	郵便貯金壺紙六百枚	
2595	明治36年	1903	千代の光	
2596	明治36年	1903	修身教科書 巻の三	
2597	明治36年	1903	下伊那青年会春季総会写真	
2598	明治36年	1903	下伊那郡農会主催機染業講習会修了式記念写真	
2599	明治37年	1904	明治37年夏・秋蠶飼育日誌	
2600	明治37年	1904	成功雙六	
2601	明治37年	1904	摩天嶺占領之図	
2602	明治37年	1904	愛国婦人会要覧	
2603	明治37年	1904	金参円五拾錢（事務格別勲励ニ付慰労トシテ）	
2604	明治37年	1904	金壺円也	
2605	明治37年	1904	旅順大攻撃記念画	

通番	年号	西暦	文書名	備考
2606	明治38年	1905	受取証	
2607	明治38年	1905	局長及局員に対する告知文	
2608	明治38年	1905	本年三月三十一日限り自然退職ノ義	
2609	明治38年	1905	給五級手当	
2610	明治38年	1905	一金六円(右に同じ)	
2611	明治39年	1906	承認書その他書簡十二通	大島事件という袋に入っている
2612	明治39年	1906	記号むにさ四三四、金五拾銭、 下市田氏名山岸廣太郎	
2613	明治39年	1906	時事新報第8093号附録(写真)	
2614	明治39年	1906	規約貯金取扱請求書(多数)	
2615	明治40年	1907	統計類・年月計下調綴	
2616	明治40年	1907	卒業證書	
2617	明治40年	1907	金五円(事務格別勲励ニ付慰労トシテ)	
2618	明治41年	1908	村会に関する書類	
2619	明治41年	1908	金五円(職務格別勲励ニ付慰労トシテ)	
2620	明治42年	1909	郡書記関川一実氏への書簡	
2621	明治42年	1909	伊勢地方修学旅行日誌	上飯田学校
2622	明治42年	1909	金八円(職務格別勲励ニ付慰労トシテ)	
2623	明治42年	1909	新訂 中等国語読本	
2624	明治42年	1909	電信開始ニ関スル記録	市田郵便局長
2625	明治43年 大正7年	1909	庶務日誌No. 1(2冊)	明治43年～大正2年まで
2626	明治43年 大正7年	1909	庶務日誌No. 2(3冊)	大正3年～大正7年まで
2627	明治43年	1910	螟虫駆除ニ関スル注意	
2628	明治43年	1910	職務勲励慰労金給与ス	
2629	明治44年	1911	市田村長公文書(多数)	第584号外多数
2630	明治44年	1911	市田村長公文書(多数)	第689号外多数
2631	明治44年	1911	依願免本官	
2632	明治44年	1911	氏神祭典記録	
2633	明治44年	1911	県税追加戸数割賦課等級表	
2634	明治44年	1911	県税営業税などの等級表	
2635	明治44年	1911	多年奉職ニ付手当トシテ金拾八円給與ス	
2636	明治45年	1912	招集状	
2637	明治45年	1912	市田村費歳出流用の件	
2638	明治45年	1912	上市田区長選挙ノ件 その他招集状	
2639	明治45年	1912	県税戸数割賦課等級表	
2640	明治45年	1912	決算認定の件	
2641	明治45年	1912	県総戸数割賦課等級表	
2642	明治45年	1912	招集状二枚	
2643	明治45年	1912	職員録	
2644	大正1年	1912	吉田・出原区教育費 大正元年歳入出追加予算表	
2645	大正2年	1913	県税追加戸数割賦課等級表	

通番	年号	西暦	文書名	備考
2646	大正2年	1913	村会要件	
2647	大正2年	1913	注文書多数	
2648	大正2年	1913	所得税調査会要件→多数	
2649	大正3年	1914	市田村事務報告書	
2650	大正3年	1914	市田村長よりの公文書→多数	
2651	大正4年	1915	長野県下伊那郡市田村大正四年度歳入出予算	
2652	大正4年	1915	大正四年度県税戸数割賦課等級表→市田村	
2653	大正4年	1915	招集状と歳入出追加予算	
2654	大正4年	1915	招集状と県税戸数割賦課等級表	
2655	大正4年	1915	県税営業税雑課税賦課等級表	
2656	大正4年	1915	招集状(村会議会)	
2657	大正4年	1915	学校基本財産所今の件	
2658	大正4年	1915	借入金証券	
2659	大正4年	1915	卒業記念帖	市田尋常高等小学校
2660	大正5年	1916	招集状と大正四年度歳入出追加予算	
2661	大正5年	1916	招集状 村長公文書→多数	
2662	大正5年	1916	村長よりの公文書	
2663	大正5年	1916	事務報告書→市田村役場	
2664	大正5年	1916	市田尋常高等小学校長→松澤三吉の手紙	
2665	大正5年	1916	組合製糸関係書類	
2666	大正5年	1916	目録→結納	
2667	大正5年	1916	修学旅行記念写真	
2668	大正6年	1917	市田村長公文書→多数	
2669	大正6年	1917	招集状→第三五六号	
2670	大正6年	1917	村税課率決議に関する件→可決	
2671	大正6年	1917	感謝状→三通と慰労の御印一通	
2672	大正6年	1917	記念品贈呈目録	
2673	大正6年	1917	綴方科教授細目→尋五、六	二冊
2674	大正7年	1918	保治婚姻記録	
2675	大正8年	1919	医学博士→小寺隆太郎→エキスピンの普及文	
2676	大正9年	1920	病床略記と電報など	
2677	大正9年	1920	小作米収納帳	
2678	大正9年	1920	庶務日誌及出納簿	
2679	大正10年	1921	郵便局長任命状→通信省	
2680	大正10年	1921	雑件	
2681	大正10年	1921	臼田松太郎歓迎会通知	
2682	大正10年	1921	会員名簿→電話同盟会	
2683	大正10年	1921	規約→市田村電話同盟会	
2684	大正10年	1921	人事関係→市田郵便局	
2685	大正10年	1921	郵便局長給与手当	
2686	大正11年	1922	電話寄付簿	
2687	大正11年	1922	事務日誌→市田郵便局	
2688	大正11年	1922	通信省よりの局長給発令書→二枚	

通番	年号	西暦	文書名	備考
2689	大正11年	1922	女子修身教本（四）	教科書
2690	大正12年	1922	童謡教育論	
2691	大正12年	1923	長野県飯田高等女学校寄宿舎細則と通知簿	
2692	大正12年	1923	総名大島山山瀧の入図	
2693	大正12年	1923	交通一件→街・乗合自動車営業許可申請など	
2694	大正12年	1923	所有土地台帳	
2695	大正12年	1923	身元引受人に関する件と財産調書の事故の件など	
2696	大正13年	1924	郷土の力	下伊那人物写真帖
2697	大正14年	1925	村会一件（事務報告書）	
2698	大正14年	1925	国勢調査員委任状と国勢調査従事員必携	
2699	大正15年	1926	精米所請掛返金登記帳	
2700	大正15年	1926	歴史写真	
2701	大正15年	1926	明治天皇御写真帖	
2702	昭和2年	1927	泰阜村勢一覧	
2703	昭和2年	1927	歴史写真	雑誌
2704	昭和3年	1928	特設電話関係	
2705	昭和3年	1928	事務日誌	昭和3年前半期
2706	昭和3年	1928	声明書	
2707	昭和4年	1929	手当連絡書	
2708	昭和4年	1929	英語教科書	教科書
2709	昭和4年	1929	歴史写真	
2710	昭和5年	1930	所得調査委員選挙一件	
2711	昭和5年	1930	慰労給与について大正十年～昭和五年まで10通	
2712	昭和5年	1930	雑件綴（多数）	
2713	昭和5年	1930	電話料低減陳情	
2714	昭和5年	1930	湯澤翁胸像作製記念帖	
2715	昭和6年	1931	村会一件	村会に関するもの一綴
2716	昭和6年	1931	満十年在官給与辞令と依願免本官書類	
2717	昭和6年	1931	給与手当辞令	
2718	昭和6年	1931	辞令（市田局長）	
2719	昭和6年	1931	経費に関する件	市田局長
2720	昭和6年	1931	県会雑纂	
2721	昭和6年	1931	特雑件	局長
2722	昭和6年	1931	象山神社建立会趣意書	
2723	昭和6年	1931	県会に対する請願書をまとめたもの	
2724	昭和6年	1931	明治天皇軍人勅諭-領布趣旨	
2725	昭和6年	1931	長野県より関川一実殿への手紙（封筒のみ）	
2726	昭和6年	1931	土地所有権保存登記申請・売渡證書等	
2727	昭和6年	1931	長野県下伊那郡豊村勢一覧	
2728	昭和7年	1932	県知事下部委員選任書	
2729	昭和7年	1932	信濃山林会よりの通知	

通番	年号	西暦	文書名	備考
2730	昭和7年	1932	信濃山林会評議員としての通知状	
2731	昭和7年	1932	村会一件	
2732	昭和7年	1932	電話異動事項検査簿	
2733	昭和7年	1932	明神橋竣工式	式辞・工事報告
2734	昭和7年	1932	衆議院議員名簿	
2735	昭和7年	1932	蠶絲業一班	長野県蚕業取締所池田支所
2736	昭和7年	1932	長野県南安曇農学校一覧表	
2737	昭和7年	1932	木曾山林学校一覧	
2738	昭和7年	1932	農村振興の根本方策実情調査	
2739	昭和8年	1933	顧問推薦書	
2740	昭和8年	1933	昭和八年度農村救済事業	
2741	昭和8年	1933	養蠶業組合顧問に推薦状	
2742	昭和8年	1933	県参出納検査現計表	長野市
2743	昭和8年	1933	県参事会関係	関川参員
2744	昭和8年	1933	秘密書類附局長関係書類	市田郵便局
2745	昭和8年	1933	移庁一件	
2746	昭和8年	1933	局務沿革誌 旧市田郵便局	
2747	昭和8年	1933	昭和八年度施行災害普及工事箇所一覧表	
2748	昭和8年	1933	大町土木出張所一覧表	
2749	昭和8年	1933	関川一実様へのはがき	
2750	昭和8年	1933	郵便局長辞令(十七通)	
2751	昭和8年	1933	陳情書	
2752	昭和8年	1933	英語教科書	
2753	昭和8年	1933	完成記念写真帳	市田尋常高等小学校
2754	昭和9年	1934	県会雑件	
2755	昭和9年	1934	日支事変記念忠霊塔建設会委員委嘱状	
2756	昭和9年	1934	農会報と法令改正の要点	
2757	昭和9年	1934	特雑件書類	市田局長
2758	昭和9年	1934	各麻現計表	南北佐久・小縣埴科・上田市
2759	昭和9年	1934	陳情書・調書	
2760	昭和9年	1934	陳情一束	
2761	昭和9年	1934	長野県蚕業試験場松本支場一覧	
2762	昭和9年	1934	長野県北安曇郡北城村一覧	
2763	昭和9年	1934	第二十九回卒業生調	長野県大町中学校
2764	昭和9年	1934	東筑摩郡・松本市蠶絲業一班	
2765	昭和9年	1934	帳簿目録	長野県蚕業取締所池田支所
2766	昭和9年	1934	長野県東筑摩郡農学校一覧表	
2767	昭和9年	1934	長野県北安曇郡神城村勢一覧	
2768	昭和9年	1934	長野県松本高等女学校一覧表	
2769	昭和9年	1934	長野県木曾高等女学校一覧表	
2770	昭和9年	1934	学校給食施設の実際	松本女子師範附属小学校学校配置図一枚
2771	昭和9年	1934	長野県松本第二中学校一覧表	同校志願者入学者一覧表
2772	昭和9年	1934	波田学院一覧表	
2773	昭和9年	1934	県参事会会計検査現計表	
2774	昭和9年	1934	信濃宮宗良親王御事跡	

通番	年号	西暦	文書名	備考
2775	昭和9年	1934	萬朝報（新聞）	
2776	昭和9年	1934	衆議院議員宿所一覧表	
2777	昭和9年	1934	意見書（蚕絲業不況対策ニ関スル件等）	
2778	昭和9年	1934	村道南宮線県道編入ニ関スル陳情書	
2779	昭和9年	1934	陳情書	会地川路線県道編入の件
2780	昭和9年	1934	林道開設助成ニ関スル件陳情	名刺七枚
2781	昭和9年	1934	小川路峠改修ノ件	
2782	昭和9年	1934	請願書	
2783	昭和9年	1934	陳情書	下條村長より長野県知事へ
2784	昭和9年	1934	稟請ニ係ル農村振興 道路改修 縣費補助工事ニ関スル陳情書	
2785	昭和9年	1934	(林道開設) 縣費補助申請	
2786	昭和9年	1934	蚕糸業指導体系ノ徹底ヲ期スル為養蚕組合ヲ通シ町村蚕業技術員費ノ県費補助急施助成方要望陳情一件	
2787	昭和9年	1934	陳情書・証書	
2788	昭和9年	1934	御依頼状	
2789	昭和9年	1934	農村振興土木事業県工事箇所	
2790	昭和10年	1935	剪糊集（県儀選関係）	
2791	昭和10年	1935	剪糊集其三書箋編	
2792	昭和10年	1935	電話料低減祝賀会一件	
2793	昭和10年	1935	下伊那郡特設電話同盟聯合会会計簿並証憑書類綴	
2794	昭和10年	1935	大宮諏訪神社境内楠神社奉斎概要	
2795	昭和10年	1935	萬朝報（新聞）	
2796	昭和10年	1935	人事に関する書類	
2797	昭和10年	1935	相撲一件-大相撲春場所豪華版-号外	
2798	昭和10年	1935	帝国軍人後援会長野支会概況	
2799	昭和10年	1935	会況要覧	帝国軍人後援会
2800	昭和10年	1935	人事に関する書類(役員名簿)	
2801	昭和10年	1935	家の光大会御通知	
2802	昭和10年	1935	木澤尋常高等小学校一覧表	
2803	昭和10年	1935	感謝状	市田村尚武会より
2804	昭和10年	1935	衆議院議員選挙長野県第三区下伊那郡有権者名簿	
2805	昭和10年	1935	陳情書	神社への供進金の県予算への計上を陳情
2806	昭和10年	1935	写真二枚	大島川河川改修工事と消防組大演習記念
2807	昭和10年	1935	各村の電話番号表	18村753戸
2808	昭和10年	1935	電話同盟会代表者会役員改選通知	
2809	昭和10年	1935	信濃毎日新聞（飯田支局販売部）より愛読者各位への謹告	
2810	昭和11年	1936	県知事選任書	
2811	昭和11年	1936	調停委員選任書	
2812	昭和11年	1936	特雑件書類	市田郵便局
2813	昭和11年	1936	市田村報綴	

通番	年号	西暦	文書名	備考
2814	昭和11年	1936	渡切経費整理簿	
2815	昭和11年	1936	諸給与金交付簿	市田郵便局
2816	昭和11年	1936	衆議院選挙に北原阿智之助氏を 当選できるよう御願申上候	千石興太郎より関川一実へ
2817	昭和11年	1936	北原阿智之助氏当選のため御依 頼申上候	深井功より関川一実へ
2818	昭和11年	1936	小川平吉当選の依頼の書簡	伊原五郎兵衛より関川一実へ
2819	昭和11年	1936	戸田由美君の当選依頼	安達謙蔵より関川一実へ
2820	昭和11年	1936	北原阿智之助当選依頼の書簡	選挙事務所より飯田町へ
2821	昭和11年	1936	選挙依頼の書簡	戸田由美より関川一実へ
2822	昭和11年	1936	木下信氏の選挙依頼の書簡	木下信より関川一実へ
2823	昭和11年	1936	謹賀新年 選挙用ハガキ	下伊那民政倶楽部より関川一実へ
2824	昭和11年	1936	小塩完次氏の当選依頼のハガキ	石井虎秋より関川一実へ
2825	昭和11年	1936	選挙用ハガキ 北原阿智之助へ の依頼	千代村林完次より関川一実へ
2826	昭和11年	1936	小塩完次選挙依頼の手紙	
2827	昭和11年	1936	立候補の御挨拶 有馬浅雄氏	有馬浅雄氏より関川一実へ
2828	昭和11年	1936	木村直交氏の選挙依頼の書簡	木村直交氏より関川一実へ
2829	昭和11年	1936	小川平吉の選挙依頼	小川平吉事務所平島安久より関川一実へ
2830	昭和11年	1936	宮澤胤勇の当選依頼の書簡	宮澤胤勇より関川一実へ
2831	昭和11年	1936	北原阿智之助の当選依頼の書簡	更級八幡村武井郡一郎より関川一実へ
2832	昭和11年	1936	選挙用手紙・新聞	北原阿智之助事務所より関川一実へ
2833	昭和11年	1936	北原先生の当選依頼の手紙	岩田より関川へ
2834	昭和11年	1936	木下信氏の当選の依頼	上伊那南向村片桐茂一より関川一実へ
2835	昭和11年	1936	中原氏苦戦のハガキ	
2836	昭和11年	1936	選挙用ハガキ 北原氏への依頼	千代村松島尚より関川一実へ
2837	昭和11年	1936	選挙公報	長野県
2838	昭和11年	1936	例規書類	市田郵便局
2839	昭和11年	1936	選挙新聞切り抜き（多数）	
2840	昭和11年	1936	選挙時の新聞13部	他に選挙運動の心得
2841	昭和12年	1937	市田村税特別税戸数割議決書	
2842	昭和12年	1937	推薦状（国防婦人会顧問とし て）	
2843	昭和12年	1937	手当連絡書	
2844	昭和12年	1937	給料請求書綴	市田郵便局
2845	昭和12年	1937	通信日附印検査簿	市田郵便局
2846	昭和12年	1937	総選挙の成績	新聞各社の新聞
2847	昭和12年	1937	伊那史叢説 第二篇	
2848	昭和12年	1937	中等幾何三角法教科書 上・下	教科書
2849	昭和13年	1938	昭和十三年度歳入歳出予算書	
2850	昭和13年	1938	表彰状	
2851	昭和13年	1938	雑件書類→聴取者統計→ラジオ 聴取の栞	
2852	昭和13年	1938	役員当選通知依頼の件	
2853	昭和13年	1938	推薦状	
2854	昭和13年	1938	市田村長宛通知傷痍軍人会	
2855	昭和13年	1938	大日本武徳会よりの通知	
2856	昭和13年	1938	下伊那養蠶業組合よりの囑託状	
2857	昭和13年	1938	市田村農会顧問推薦書	

通番	年号	西暦	文書名	備考
2858	昭和13年	1938	大日本武徳会囑託書	
2859	昭和13年	1938	市田村支部長囑託状	
2860	昭和13年	1938	臨時農村負債處理委員任命書	
2861	昭和13年	1938	市田消防組頭を任命書	
2862	昭和13年	1938	諸給与金交付簿	
2863	昭和13年	1938	自治功労者名簿	
2864				
2865	昭和13年	1938	給与金に関する書類	市田郵便局
2866	昭和13年	1938	郵便線路図	
2867	昭和13年	1938	県会議員選挙 下伊那郡選挙区 有権者名簿	
2868	昭和13年	1938	英語教科書	教科書
2869	昭和13年	1938	新日本地理	教科書
2870	昭和14年	1939	特別税戸数割議決書（座光寺 村）	
2871	昭和14年	1939	特別税戸数割賦課額変更議決書 （山吹村）	
2872	昭和14年	1939	県会雑件	
2873	昭和14年	1939	県会議員選挙雑書類	
2874	昭和14年	1939	諸届出書類	
2875	昭和14年	1939	選挙に関する法規	
2876	昭和14年	1939	府県会議員選挙運動に就て	
2877	昭和14年	1939	感謝状	
2878	昭和14年	1939	本会賛助員に推薦する推薦状	
2879	昭和14年	1939	農地委員会会長任命書	
2880	昭和14年	1939	告知書（村長に当選したこと）	
2881	昭和14年	1939	愛国婦人会市田村分会顧問囑託 状	
2882	昭和14年	1939	当選證書	
2883	昭和14年	1939	経費に関する書類綴	
2884	昭和14年	1939	伝馬三状（借用書）	
2885	昭和14年	1939	覚（延享五辰年諸色覚日記借用 書）古島敏雄氏借用	古島敏雄氏借用
2886	昭和15年	1940	市田陣屋址と陣屋絵図	
2887	昭和15年	1940	感謝状	
2888	昭和15年	1940	県協和会支部顧問委囑状	
2889	昭和15年	1940	特雑件書類	市田郵便局
2890	昭和15年	1940	給与に関する書類	市田郵便局
2891	昭和15年	1940	通信日附印検査簿	市田郵便局
2892	昭和15年	1940	市田陣屋址→4冊と市田陣屋絵 図一部	
2893	昭和15年	1940	市田陣屋址	資料本
2894	昭和15年	1940	新選大地図 外国篇	地図
2895	昭和15年	1940	信濃宮宗良親王	
2896	昭和16年	1941	調停委員選任書	
2897	昭和16年	1941	年末慰労金給与の件	
2898	昭和16年	1941	農地委員会会長任命状	
2899	昭和16年	1941	青年団団長任命書	

通番	年号	西暦	文書名	備考
2900	昭和16年	1941	臨時農村負債處理委員会委員任命書	
2901	昭和16年	1941	司法保護委員会参事任命状	
2902	昭和16年	1941	各麻会計検査現計表	
2903	昭和16年	1941	史蹟松岡城址	市村咸人著
2904	昭和16年	1941	史蹟松岡城址	
2905	昭和17年	1942	事務分掌調	
2906	昭和17年	1942	樽川改良事務所一覽	
2907	昭和17年	1942	昭和17年度県歳入歳出	昭和十七年十一月九日現計表
2908	昭和17年	1942	長野県蠶業取締所飯山支所一覽	
2909	昭和17年	1942	東京日日新聞	
2910	昭和17年	1942	下高井農林学校一覽	
2911	昭和17年	1942	蠶糸業一班	長野県蠶業取締所須坂支所
2912	昭和17年	1942	上高井農学校一覽表	
2913	昭和17年	1942	長野県中野農商学校一覽	
2914	昭和17年	1942	昭和17年度歳入歳出現計表	上高井地方事務所
2915	昭和17年	1942	長野県歳入歳出現計表	須坂中学校
2916	昭和17年	1942	須坂中学校一覽	
2917	昭和17年	1942	現計表	長野県立教員保養所
2918	昭和17年	1942	上高井地方事務所一覽	他に県蚕業取締所須坂支所一覽
2919	昭和17年	1942	樽川改良事務所歳入歳出現計表	
2920	昭和17年	1942	下高井郡蚕糸業状況	他に長野県蚕業取締所中堅支所一覽等
2921	昭和17年	1942	支部顧問委嘱状	
2922	昭和17年	1942	嘱託書（海外協会協議員）	
2923	昭和17年	1942	大日本婦人会支部顧問委嘱状（3月6日）	
2924	昭和17年	1942	大日本婦人会支部顧問委嘱状（4月1日）	
2925	昭和17年	1942	大政翼賛会支部長委嘱状	
2926	昭和17年	1942	更級地方事務所職員一覽	
2927	昭和17年	1942	懇願手紙	豊村長より
2928	昭和17年	1942	船舶運営会船員局長よりの通知文	
2929	昭和17年	1942	信濃史源考九、十、十一、十二卷	
2930	昭和17年	1942	児童の健康生活指導の実践的研究	市田国民学校
2931	昭和18年	1943	調停委員選任書	
2932	昭和18年	1943	局長手当増給の件	
2933	昭和18年	1943	森林組合参与嘱託通知	
2934	昭和18年	1943	傷痍軍人会相談役の委嘱状	
2935	昭和18年	1943	当選告知書	
2936	昭和18年	1943	若人よ海へ	船員志望者案内
2937	昭和18年	1943	新選大地図 外国篇	教科書
2938	昭和19年	1944	投資信託受益証券	
2939	昭和19年	1944	借用証書	
2940	昭和19年	1944	役場日誌（村長）	昭和十九年二月二十一日より
2941	昭和20年	1945	運輸通信省より満13年在官給与通知	

通番	年号	西暦	文書名	備考
2942	昭和20年	1945	依願免本官	
2943	昭和20年	1945	玉音放送の原文	
2944	昭和21年	1946	續 生活指導について 二冊	
2945	昭和21年	1946	国民学校公民教師用書	
2946	昭和21年	1946	生活指導について	同じ本二冊
2947	昭和21年	1946	續 生活指導について	
2948	昭和21年	1946	新教育指針	同じ本三冊
2949	昭和21年	1946	新教育指針二、三、四、分冊	
2950	昭和21年	1946	新教育指針→同じ本3冊	新日本建設の根本問題
2951	昭和22年	1947	意見書と農地調整貸借ノ件	
2952	昭和22年	1947	小作契約満期となり双方談合済書類	
2953	昭和22年	1947	農地調整法第九條第三項に依る許可申請書	
2954	昭和22年	1947	中等文法 文語	教科書
2955	昭和22年	1947	英語教科書	
2956	昭和22年	1947	中学農業 第一学年用	教科書
2957	昭和22年	1947	学習指導要領→図画工作編	試案
2958	昭和22年	1947	学習指導要領	試案
2959	昭和22年	1947	学習指導要領→理科	試案
2960	昭和22年	1947	学習指導要領→音楽編	試案
2961	昭和22年	1947	学校体育指導要綱	
2962	昭和22年	1947	学習指導要領→家庭科編	
2963	昭和22年	1947	教育心理 上 文部省	
2964	昭和22年	1947	学習指導要領→国語科編	
2965	昭和22年	1947	学習指導要領→一般	同じ本二冊
2966	昭和22年	1947	教育心理 (下)	
2967	昭和22年	1947	学習指導要領-社会科編	試案
2968	昭和23年	1948	社会科20 政府と経済生活	教科書
2969	昭和23年	1948	中等国語 (二)	教科書
2970	昭和23年	1948	民主主義 上 二冊	教科書
2971	昭和23年	1948	算数 数学科指導内容一覧表	
2972	昭和23年	1948	民主主義 上	
2973	昭和23年	1948	小学校社会科 学習指導要領補説	
2974	昭和24年	1949	生物化学	教科書
2975	昭和24年	1949	学習指導要領	試案
2976	昭和24年	1949	民主主義 下	
2977	昭和24年	1949	中等学校保健計画実施要領	
2978	昭和24年	1949	児童の理解と指導	
2979	昭和25年	1950	学習指導法→小学校社会科	
2980	昭和25年	1950	続 民主主義のはなし	
2981	昭和25年	1950	市田村学務委員事務規定	
2982	昭和26年	1951	世界史精図	教科書
2983	昭和26年	1951	小学校学習指導要領	図画工作科編
2984	昭和26年	1951	学習指導要領→一般編	
2985	昭和26年	1951	小学校学習指導要領→社会科編→試案	
2986	昭和28年	1953	書簡	

通番	年 号	西暦	文 書 名	備 考
2987	昭和30年	1955	小学校学習指導要領→社会科編	
2988	昭和33年	1958	借地證書	
2989	昭和34年	1959	学習指導要領の展開→小学校家庭科編	
2990	昭和36年	1961	戸籍謄本→関川家	
2991	昭和40年	1965	千代村誌	
2992	昭和42年	1967	文書拝借について（お願い）	
2993	昭和42年	1967	農地賃借契約書	
2994	昭和43年	1968	戸籍抄本（関川家）	
2995	昭和45年	1970	山田霊林禅師様のお話→本堂落慶式→専照寺	
2996	昭和48年	1973	覚書	
2997	昭和38年	1973	土地売買契約書	
2998	昭和48年	1973	地形図	
2999	昭和50年	1975	領収証	
3000	昭和52年	1977	小学校指導要領	
3001	昭和55年	1980	飯田中学30回の会同級会出席者名簿	
3002	平成4年	1992	伊那	史学誌
3003	平成8年	1996	銭屋の歴史(1)(2)	

関川文雄氏 文書目録 年代無

通番	年号	西暦	文書名	備考
3004	慶長・元禄他	1596 より	慶長金新金等について御触書	其他触書入件一括
3005			問屋庄屋年番庄屋源左衛門ニ村方取締其他の功勞により苗字御免被成候	
3006			本陣付水野鎧助外十人	料理人、料理人手伝三十一人氏名列記
3007			堀兵庫頭御荷物増人足三人御定賃錢ニウ崎宿より信州市田宿まで拾四宿取拂戻添書帳	
3008			奉願上候大嶋山川井口分木之事	歛願の控分木の長六尺九寸上下市田村分木の長三尺六寸大嶋山村
3009			割賦廻状	一. 人足十七人堀様御家来上市田宿通行の為
3010			差上申一札之事	代助郷高引下げ下さること
3011			奉差上げ一札之事	柿野村被官より柿野村御主人様にお詫びの一札
3012			聴合覚	関川弥次右衛門が幕府役人松平九郎左衛門外三人御米置上の為御越付につき共の御侍過方について
3013			乍恐以書付奉願候	差上候愁訴御下被成下度
3014			差上申一札之事	問屋七郎左エ門外二人より
3015			乍恐以書付奉申上候	此度御上様御下向の御先触につきて打合せ一件
3016			送り状	荷物壱駄飯田迄
3017			諏訪知久片桐大嶋系図	
3018			御朱印御證文先触	
3019			駅方人馬継立見込奉申上候	
3020			三州大樹寺御役僧御下之節継人足之内通遣人足相對雇賃銀拂戻ニ付申達並勘定帳	
3021			回章	内国通運会社各宿場へのもの
3022			公私諸荷物継立規則	
3023			高書上帳	
3024			御料御巡見様御通行についての書翰	
3025			伊奈街道十六宿並ニ往來の殿方書上	
3026			覚	御檢使御通りについて役割
3027			御返答書	市田役所より御糺についての返答書
3028			各宿間勘定書	帳面裏面に日記として触事出来事述べてある読み味うべき一冊也
3029			日記	
3030			日記	村の出来事日記として記す
3031			諸色覚書込帳	日記帳也
3032			伊那一郡歎願書	助郷について
3033			乍恐奉願上候御事	下伊那郡二十六ヶ村木曾四宿助郷についての歎願書
3034			伊那街道上市田宿附属村残高調帳	
3035			覚（日記）	宿場其の他
3036			御年貢勘定	其他一括三点

通番	年号	西暦	文書名	備考
3037			添書 覚	二点
3038			内藤撰津守城下石、家数城下町書上帳	
3039			諸色覚帳	
3040			駅通司様御掛り御先触其他 京都駅通司様関係書類一括	
3041			図ニ下書袋	柿野村・高町村
3042			御下向之節人足賃銭其外諸雑費書抜帳	
3043			寿明君様御下向被為遊についての御触書	
3044			乍恐以書付奉申上候	中仙道贄川宿外拾ヶ宿方差村の定助郷の義
3045			割賦廻状	
3046			割賦	一、人足八十九人 一、馬拾八疋
3047			割賦廻状	四月十日行 一、馬三疋五月七日行 一、人足拾式人
3048			割賦	辰十二月廿八日行 一、人足拾壱人
3049			割賦廻状	人足式拾壱人 壱人 出原村
3050			割賦廻状	五月七日行 一、馬三疋同月十二日行 一、人足七人
3051			割賦廻状	四月廿六日行 人足式拾式人
3052			割賦廻状	寅五月十九日行 一、人足拾人同月廿五日行 一、人足拾壱人
3053			出原村初割賦廻状	
3054			吉田村初割賦廻状	
3055			割賦廻状	三拾四人出原村、六十七人大島山村、百八人出原村、百七拾五人吉田村、式百四十七人下市田村
3056			割賦廻状	
3057			割賦廻状	
3058			出原村初割賦廻状	
3059			出原村初割賦廻状	
3060			割賦廻状	
3061			出原村初割賦廻状	
3062			割賦廻状	
3063			割符	
3064			割賦	一、人足式百参拾壱人（伊那縣収税方三沢、飯田藩兵隊、外）通行につき
3065			割賦	人足式拾人（伊那縣安井清彦殿。飯田藩近藤利三郎殿家来。通行につき）
3066			出原村初割賦廻状	
3067			出原村初割賦廻状	
3068			割賦	人足九拾六人
3069			出原村初割賦廻状	
3070			割賦	
3071			割賦	
3072			割賦	
3073			割賦	
3074			牛牧村方先々に早々	
3075			問屋源左衛門への手紙	和三郎より

通番	年号	西暦	文書名	備考
3076			塩尻宿、北小野宿より南小野～市田迄宿々宛廻状	
3077			毛利讃岐守三戸勇より飯田宿迄先触	継駕御差出の事
3078			廻状	
3079			上市田庄屋へ	
3080			其村兼太郎外三人 下市田村丈助の召出状	
3081			覚	宿駕籠人足式人、江戸出立甲州街道を飯田迄の宿々へ
3082			問屋源左衛門祖父忌服につき回答	
3083			問屋源左衛門へ御達	
3084			桜町・原町問屋中への御触	軽尻老足差出候事上市田問屋へ
3085			御尋につき書付を以て奉申上候	差配人三人より市田役所へ夫人繰出し方について
3086			覚（御達）	近藤織部より原町宿へ
3087			乍恐以書付御歎願奉申上候	御年貢必ず上納致すべき旨
3088			覚	御拂米代金の内受取書なり
3089			覚	鎌計式拾九挺の請取書
3090			覚金式百両也	座光寺村八右衛門より借金の内請取
3091			御達	花水橋掛渡につき助成金
3092			覚	市田役所近山元八より
3093			覚	夫食米代金請取書近山元八
3094			御触	長防の形勢鎮静せず御領分より郷夫百人御差配下され度旨
3095			覚	村の返納米代金の請求書近山元八
3096			覚	其村諸職人より運上金の請取
3097			奉請取金子之事	夫人及泊宿旅籠の内金請取
3098			夫人繰出につき心得方八ヶ条	
3099			乍恐以書付奉願上候	郷夫百四十一人繰出の所。内四十式人は賃錢上納奉願候
3100			覚	道中路用御手当、出府中食料御手当、小使銭等等記す
3101			覚	郷夫の給金等について凡標準記せるもの
3102			御達	人足三十人十月十六日十七日差出スコト
3103			覚	役所御勘定人より金子借用書
3104			市田役所より召出状	
3105			申達儀有之候間	
3106			先触	
3107			御達	本馬五疋軽尻四疋明廿九日江戸表へ差出下され度
3108			御達	来ル十七日殿様外朝罷出につき賄等御世話下さるよう
3109			覚	御役人役割等
3110			市田年番庄屋より五ヶ村庄屋へ廻章	
3111			廻文	牛牧村より早々御順達被下度
3112			廻状	福与村より先々へ早々宗門人別改帳について
3113			手紙	川巡見につき仕度、賄方につき照会
3114			廻状	年番庄屋関川弥二右衛門より五ヶ村へ
3115			飛脚の者止宿願入候	左京村御庄屋へ

通番	年号	西暦	文書名	備考
3116			廻状	市田年番、下市田村外村々へ
3117			秋葉山開帳について	市田年番所より福与村外村々へ
3118			廻状	今田村三組初川手、山牛組等十八ヶ村江早々
3119			廻状	中関村方先々江早々村々当宗門人別改帳十六日迄に差出す事
3120			稲伏戸村、不取鋤等、他三村へ	
3121			下市田村方先々に早々	明八日間屋へ御出会下さるべく
3122			中関村方先々江早々急用事	木曾定郷御赦免について
3123			廻状	牛牧村方先々江早々御代官近山元八様御帰陣のこと
3124			廻状	福与村江早々明十六日間屋へ御出張下さるべく
3125			廻状	郡中議定書之事、五項目陣屋修理其の他
3126			急廻状	御公役様同勢五百人、伊奈郡宿御泊りの赴
3127			廻状	中山分新左エ門外六名召連れ御出張下され度
3128			廻状	福与村方先々江早々国嶋様、近山様、御出陣につき御暇迄に出張され度
3129			廻状	牛牧村方先々江早々国嶋様、近山様十五日御発駕につき御暇迄に出張され度
3130			廻状	重要事項についての廻状
3131			廻状	牛牧村方先々江早々明廿八日間屋にて郡中惣会仕度
3132			廻状	大島山村方先々江早々明廿八日間屋にて郡中惣会仕るべく
3133			廻状	今田村始先々江早々当宗門改帳差出され度
3134			廻状	今田村方順村先々江早々当宗門人別改帳差出され度
3135			廻状	よしだ村方先々江早々大急用此状着次第郷宿へ御出張下さるべく
3136			廻状	福与村方先々江早々同廿八日朝より郡中総会仕度
3137			廻状	牛牧村方先々江早々
3138			廻状	牛牧村方先々江御公役様伊那街道筋御下向につき相談致し度
3139			廻状	中関村江郡中惣代会仕り度
3140			御触	福与村江殿様御隠居なされ若殿様御家督につき惣代を以て役所へ罷出につき
3141			御触	長嶺柄山分御庄屋中名前の衆引連れ十九日朝問屋迄出願するよう
3142			廻状	今田村三組初組々に早々
3143			廻状	福与村え早々問屋にて郡中総会開き度につき御出張下され度く
3144			廻状	田切村三組へ早々郡中総会仕り度
3145			廻状	中関村方先々早々郡中総会仕り度
3146			廻状	今田村方下村外村々え早々金子御持参相成度
3147			廻状	中関村々先々へ早々金子御持参八月朔日御出張下され度
3148			廻状	田切村御庄屋御出張下され度く
3149			牛牧村方先々え早々お触	請職人は皆氏子に相成ること
3150			下市田村方先へ早々割状市田年番所	
3151			大嶋山村方先々江割状	
3152			下村方平島田村え早々	

通番	年号	西暦	文書名	備考
3153			今田村中組庄屋中大急用	
3154			牛牧村方先村二早々	
3155			中関村先々江早々	御役所において御條目御読下さる由につき
3156			牛牧村方先々江早々	
3157			今田村外村々庄屋中	
3158			御触書廻文 福与村初	秤の儀について
3159			御触書 中関村初	
3160			百姓常助死亡一件報告書	上市田村庄屋外役人より
3161			廻文 中関村初メ	殿様御登城についての御触
3162			廻文 福与村始め	殿様御登城について
3163			伊那郡寺院名一覧表	
3164			助郷村々	各助郷村の高、賦課人足
3165			写本妙法連華経提婆達多品第十二	和本二十枚位
3166			三宿一同申定之覚	市田、大島等三宿にて申合六項目
3167			御訴詔申上候覚	田畑、其の他について御訴訟の事控覚
3168			見廻役召出状	上市田庄屋へ、見廻役名
3169			覚 検地帳目録	
3170			手紙五通	役人より問屋宛
3171			乍恐以書付奉願上候	市田宿長四郎不行跡につき上市田村より願出
3172			乍恐以書付奉御届候	大地震につき役所へ届出
3173			請取證文 外一点	
3174			市田年番所より割賦状	
3175			請取書、人相書等 十一点	
3176			書翰一括 五点	
3177			覚	下市田村甚四郎、上市田村弥十に対して市田役所より番人申付
3178			郡奉行より差出すべき御触	人足四人内式人山駕籠壱挺、式人箆箆壱棹、軽尻壱疋
3179			郡奉行より御達	人足七人山駕籠二人長持三人箆箆二人
3180			覚	銭五百文受取
3181			覚	甲州道中脇往還花水橋普請助成金請取書
3182			市田役所より召出状	
3183			大屋敷村官兵衛に沙汰に及ばず旨	
3184			市田役所より上市田村外へ御年貢米	御年貢米納入につき
3185			郡奉行より召出状	人足四人、本馬壱疋
3186			上市田村問屋への御達し	御家老一人郡奉行一人外二十三人出向につき休息所として頼込
3187			殿様御来駕の賄について御願	
3188			上市田小次郎へ不埒至極につき押込の御達	隠居につき相慎むべし
3189			御触	殿様御通行につき
3190			受取書其他四拾点	
3191			藁草御用ニ付罷越候道筋場所	下野国、武蔵国、信濃国、外
3192			覚	五十才位の女相果て其の身元につき照会状
3193			駄賃付之覚	惣高数百四十九疋其内訳
3194			米百俵ニ付斗壺斗壺升八合	市田六ヶ村に割賦したもの、古い文書ですてがたい

通番	年号	西暦	文書名	備考
3195			書翰	原町弥次右衛門殿へ
3196			覚	各村々の村高調、上飯田より市田六ヶ村に至
3197			村々御蔵米収め方について	
3198			市田役所よりの受取書 十二枚	年貢米其他
3199			御触⇒幕末期のもの	殿様御隠居につき
3200			覚	大宮社地境内出入につき熟談の一札
3201			手紙	江戸東禅寺に外国人住居相立につき騒動
3202			御評定所へ申上候口上	大嶋山二王山について
3203			江戸より信州飯田迄往来並賃銭取立	
3204			御巡見様荷物受取綴	十六枚
3205			寺社奉行支配青木文蔵の紹介状	
3206			雨乞入用割合帳	六ヶ村、合計式貫四拾貳文
3207			人馬覚	市田各村、座光寺村、上黒田村、南條、飯田に至る
3208			上市田村と牛牧村と草刈場のことで	
3209			飯田城付山之証拠の事	
3210			相定申一札之事	市田宿外十一宿連帯にて御用金都合仕るべく
3211			乍恐以口上書御訟申上候	三州より送り出す茶の類尾洲より送り出す、くりわた、宿次荷物と御定め下さるよう願出
3212			乍恐以書付奉申上候	駄賃引下げられ難渋致し居候、従来通りに御改め下さるよう願出の下書きなり
3213			此御荷物式駄其村より馬出し飯田へ可送届者也	他十通
3214			請取申御先触の事	大嶋町問屋より市田町弥次右衛門へ
3215			御触	冷泉前中納言殿家根村宮内義印用事にて信州に致往来候間
3216			天羽七右衛門様に対する人馬割当案	
3217			陸運賃銭元賃銭江十三倍増	飯田駅江其他各駅江（市田駅より）
3218			陸運賃銭	元賃銭江十六倍増市田駅より各駅江
3219			郡奉行より御触	町在に婚礼の祝儀博奕其他について
3220			今般旧銭位御立替に付御賃銭	御定十二倍、一例新五十銭ハ金札貳分二当ル、元百文銭ハ八拾文替 其他
3221			人足賃銭しらべ	子の年四割増
3222			元賃銭覚	市田より飯田駅の間
3223			江戸より酒井修理守様の御通り	人馬不足のため人馬よせ可候馬十疋歩八人下市田村
3224			元賃銭覚	当宿より大嶋迄
3225			記	飯田駅江一里ハ町元賃銭人足、馬
3226			覚	いせ屋藤兵衛より原町長作え荷物駄に受取
3227			賃銭計算書（駅間）	
3228			路金受取の覚	
3229			御定賃銭十倍増	飯田宿江
3230			無賃御用状取調二付午四月より賃銭改表	
3231			覚	本馬割増覚一、本馬二疋水野加右衛門何々
3232			相对十八倍増	飯田宿江外
3233			元賃銭共十六倍増賃銭誌	飯田駅江（市田駅方）

通番	年号	西暦	文書名	備考
3234			覚	元賃銭市田駅より三駅へ
3235			御触	小笠原兵庫江戸発候に江戸別格本馬、軽尻、具足両掛駕籠人足等
3236			御旅宿覚	桔梗屋伝右衛門表座敷入畳、次ノ間八畳下の間八畳、立花屋藤兵衛裏座敷十畳次の間八畳等
3237			差出申一札の事	当宿荷問屋株の売買案
3238			差出し申詫書 他一通	小次郎及親類より 小次郎より弥次右衛門へ
3239			諏方下之宮縁起	木版にて十枚
3240			江之嶋大縁起五巻略記	
3241			校正泰平鑑	各大名の役所、馬印あり
3242			貫割高掛帳	
3243			江戸大火	極月晦日夜九ッ時出火罷災大名列記
3244			原町古地図	
3245			寺院名	
3246			御家老中、御年寄、御側御用人・・・	堀公家臣及禄高あり
3247			御若年寄氏名 堀藩	
3248			古文書目録（慶長、文禄、天正）	
3249			去年類焼の際各村々庄屋よりの見舞	
3250			諸国温泉功能鑑（全国番付）	
3251			寒中見舞文書	
3252			御大名長洲打手被仰付候	松平備前守外三十三名列記
3253			郷夫賃銭支拂明細書	
3254			御用金請取書	
3255			覚	田畑の上、中、下につき取米書上
3256			肥前の国平戸の者朝鮮国へ商に	海上にて見付られ召捕られる
3257			條目	信玄より正覚坊江
3258			伊勢香良洲神社（大神宮）絵図	
3259			年号表	
3260			字大門境立より奥の方について	
3261			酒及び餅の割付書付	
3262			御触	人、馬、乗駕籠四挺
3263			乍恐御尋に付以書付奉申上候事	不二道の信仰を記せるもの
3264			乍恐以書付奉願上候	下市田村忠八心得違の段
3265			先触	人足五十人但長持本馬七疋
3266			日数四拾七日出府賃銀	
3267			乍恐以書付奉願候	八月大雨にて信州の御領分山崩潰家等
3268			妻籠宿役人中へ	村数惣高惣人数馬数等
3269			市田年番所より郡中総代へ	殿様御家督につき
3270			覚	定納老筆 溜池老筆
3271			覚	御拂米代金請取書
3272			覚	御拂米代金請取
3273			乍恐以書付奉願上候	木曾四宿の助郷御免じ下さる願出
3274			市田役所より年番庄屋へ	御年貢米の内百俵御払相成るにつき
3275			市田年番所より田力村庄屋林蔵へ	江戸詰郷夫小兵衛不身持につき
3276			御得替百五拾両御祝儀	神酒供餅戴く

通番	年号	西暦	文書名	備考
3277			宿御取計方御尋に付き申上候	
3278			結婚式盃の仕方	
3279			差上申御受書之事	
3280			官兵衛不身持のため離縁	
3281			一札の事	宿役人の内老人早速出府致さすべく一札差入
3282			乍恐以書付奉願上候	持病のため白骨温泉へ入湯仕り度
3283			乍恐以書付御訴訟申上候	難渋につき御免相御下げの願出
3284			申上候覚	病身につき問屋役庄屋役御免除下さるよう
3285			覚	山吹・市田9ヶ村山里共に入会
3286			諸拂方調立勘定帳	
3287			人足、馬等継立につきて先触等	十数点
3288			各宿間人足数及賃銭各月調帳	
3289			御触等三点	
3290			新旧時刻対照表	
3291			人足継立先触	
3292			継立人馬賃銭清算帳	
3293			人馬、継立の先触	数十件
3294			各藩役人県役人等往復人足継立先触	数十件
3295			人馬、継立先触	十数件
3296			人馬、継立の先触	百数十件
3297			人馬賃二倍願書上	数十件
3298			長洲打手被仰付候	備前岡山松平備前守外三十三大名の名前連記
3299			御宿賃銭十倍増書上表	十二倍増の一表あり
3300			国々名山高山道しるべ書付	
3301			産土神縁起	
3302			人馬継立の先触	式拾通
3303			御茶屋御殿修覆見積書	
3304			覚	人馬継立賃銭書上
3305			徳川崇拝之一文	
3306			杵筑留守居奥津某隠居見物談	
3307			乍恐以口上書申上候	七久保宿許可につき意見を申述ぶ
3308			伊那街道並道普請について陳情書	
3309			添書、勘定書及上市田三役人帰村御届	
3310			借用証書、請取書等	七点
3311			上市田耕地反別調	
3312			主上御元服御礼被為行恩赦仰出さる	
3313			白山妙理大権現御膳帳	
3314			先触	人馬継立日程のこと
3315			寅年御年貢米勘定	
3316			午敷米元利書出覚	
3317			戌 上市田町御年貢納拂帳	
3318			不作付改覚 二冊	
3319			上市田村古略図	
3320			人馬継立日〆帳	
3321			人馬継立日〆帳	

通番	年号	西暦	文書名	備考
3322			人馬継立記入帳	
3323			諸色覚帳	
3324			人馬継立帳	
3325			上市田五人組帳	
3326			松平大隅守より細川越中様へ御達し一文	桜田門外の変に関する文書
3327			飯田御城主様御家督につき御祝儀割合帳	
3328			御年貢取集帳	
3329			御触書	
3330			人馬継立帳	
3331			人馬継立帳	
3332			上市田村御年貢割付帳	
3333			村吏交代引渡目録書 式	
3334			覚（家数人数等取調）	天保期
3335			乍恐以口上書返答申上候事	常盤潤輔屋敷及垣について
3336			加助郷仰付けられてもたえ難く御赦し下され度願出	
3337			乍恐以書付御訴訟奉申上候	仲仙道四宿の加助郷の儀御吟味の上御免赦下さる様願出
3338			税金集帳 2	
3339			御宿料之通	
3340			送り荷の添状 九点	
3341			人馬駕籠継立の御先触 三十通	
3342			覚	珍客出向につき待遇方の御先触
3343			先触	江戸道中方信州飯田江
3344			荷物の送状	杉 善太郎外一人より
3345			割賦廻状	
3346			役人よりの請取書等 十三点	
3347			伝馬賃銀関係 五点	
3348			割賦廻文 十点	
3349			人馬駕籠等継立の御触 十点	
3350			見ノ段ノ九九銀百匁二ツキ銀二 ヱ二ツキ	
3351			伝馬につき賃銭取調書	
3352			御継立人馬惣辻写	北国街道 柏原宿
3353			田検見下調帳	
3354			御尋ニ付書付以奉申上候	立人馬について難勤儀願出の一札
3355			二等人馬贖勘定帳	伝馬所
3356			松岡改易後飯田城主歴代記	
3357			御先触 四点	
3358			助郷についての覚書	
3359			中馬につき御普請役より一札	
3360			積秘要用集	礼儀儀式作法
3361			御合盃之式	
3362			熨斗のたゝみ方見本	
3363			合村願書	
3364			御伝馬所諸帳面目錄並人馬触当 雛形	伊那街道市田宿

通番	年号	西暦	文書名	備考
3365			上市田村丑ノ御年貢納払	
3366			午仮免状 上市田村 未仮免状 上市田村	
3367			覚 伝馬人足割賦帳	
3368			金式千両惣徳講仕方組帳	
3369			地価再修正之義ニ付歎願書	
3370			観音堂再建勸化帳	飯田以南各村
3371			覚	御肴料請取書
3372			御通達	知県事御通行につき
3373			御返事 伊那県巡村	
3374			明三日御小休之次第	
3375			五ヶ村助人馬勤高覚三	
3376			人馬調達先触 十八点	
3377			萬覚書一括	
3378			覚書一括	
3379			覚 先触	市田陣屋諸屋小兵衛出立につき人足駕籠
3380			竹田公（耕雲斎）の歌 返歌	
3381			御触	
3382			弥次右衛門分御年貢調	
3383			十八国主各城主及各石高	
3384			書面約二十点	下書き多シ
3385			陣屋役人柿沼又四郎書簡	
3386			苗字御免の一札	役所（陣屋）年番庄屋源左衛門へ
3387			書簡	陣屋役人津久井又左衛門より関川源左衛門への書簡
3388			小学校世話役連名	但出勤日者一. 六. 三. 八二御座主名原喜市外三十余名
3389			読本巻別氏名	
3390			学校世話人氏名	
3391			学校属書目並器械簿	
3392			村々庄屋への通知	善光寺参の女の件
3393			覚	
3394			三州黒瀬村よりの書	三枚
3395			盗難ニテ盗まれた六品御届書	
3396			山道一件熟済書	取喰済口証文之事
3397			務川堅次郎より弥次右衛門への書簡	
3398			書簡	十四通
3399			覚	上市田村内立木調
3400			袋のみ（二袋）	学校御布告・村費明細書
3401			覚	松岡氏改易から堀氏までの領主
3402			和歌清書四点	
3403			市田村水利図（井水重点）	
3404			市田・山吹古絵図	
3405			駒場一松本間宿場絵図	
3406			書簡	
3407			條目	
3408			市田宿伝馬之衆	
3409			書簡	小笠原掃部大夫殿

通番	年号	西暦	文書名	備考
3410			手書地図と村々の氏名の入った文	
3411			市田村の略史	
3412			医師死亡届入袋等	紙片のみ
3413			田九升蒔之田、六拾五両 一、御陣屋前、代六拾五両	
3414			各人別上納米の一部	
3415			畑方五分通二口取集	
3416			船員募集ノ件	袋のみ
3417			覚	
3418			覚	
3419			御手本	寺子屋のお手本
3420			御下向ニ付御用句書留帳	上部破損
3421			馬三分増勿銭取調書上帳	
3422			～下向ニ付捨三八ヶ村入用割合帳	
3423			庭訓往来妙序	
3424			乍恐以書附奉申上候	
3425			一、米三升八合壺勺四才関口十松	
3426			嘸證文之事	
3427			覚	
3428			六月廿九日 一、拾貳ヶ 北原稲雄様御供共ニ	
3429			寿明若様御通輿ニ付諸入用割合之義・・・	
3430			覚	
3431			当御領分之内、南山今田村始三十六ヶ村之者・・・	
3432			取扱口済證文之事	
3433			伊那山論仕掛ヶて気の毒の山五番続・・・	
3434			乍恐以書附奉御訴訟申上候事	
3435			差上申一札之事	
3436			覚	
3437			これやこなたへ御免なれ、是ハ鹿嶋借り取の明神より・・・	
3438			書簡	諦道より奥村弘蔵様
3439			覚	
3440			書簡来二月御上落御往返東海道御旅行之事ニ候	
3441			書簡 多分之入費相掛候義ニ而・・・	
3442			たよりにまかせ一筆しめしまいらせ候誠に恋ひしゆかし思いくらしまいらせ候	
3443			一札之事	市田里久石衛門より原
3444			書簡 御通行御役之儀、式拾年以來・・・	
3445			書簡 中村久米村百姓共へ可申渡候趣如左山論出入	

通番	年号	西暦	文書名	備考
3446			借用申金子證文之事	
3447			書簡	久保田安兵衛より関川弥次右衛門様へ
3448			記一、金参拾五円 墓地買戻し料	
3449			書簡 大嶋村と境論有之	
3450			覚	
3451			覚	庄屋伝右衛門より弥二右衛門殿へ
3452			猶以右之通何も御情御出し候	
3453			覚	
3454			吉村氏のこと	
3455			伝馬賃銭の一部	
3456			包紙 表紙のみ	
3457			差出申御請書之事	
3458			書簡	田切弥右衛門より関川弥次右衛門様へ
3459			乍恐以書付奉願上候	
3460			記 (木の値段)	
3461			書簡	小森弥次左衛門より
3462			覚	いづみや三四郎より原町年番所へ
3463			書簡 三月十日善左衛門重蔵右 両人申候者	
3464			覚	
3465			西教寺分	
3466			右之者勝手不如意ニ付家内召連 当分之内村内関川借家・・・	
3467			御下知	
3468			一、今度宿次御訴訟之儀	
3469			書簡	倉田又左衛門より上沼衛門様等へ
3470			乍恐以書付御歎願奉申上候	
3471			極月十五日玉屋婚姻祝	
3472			高野山弘法大師一枚起請	
3473			此度飛脚御差立ニ付	
3474			覚	原伝左衛門より関川弥次右衛門様へ
3475			助郷村々	
3476			覚 八月十二日吉田出原大嶋山 三庄屋中	
3477			茂吉分	
3478			上市田駅村一札席順覚	
3479			金子請取覚	
3480			片桐宿へ	
3481			覚	
3482			二十八年年始祝集	
3483			覚	外に読み下し文13枚
3484			上 助人足書上 包紙のみ	外に袋一つ
3485			拂方覚 一、金四両壺分朱分 飯田郷宿拂	
3486			寺子屋の手本 (写し) (名頭、 村名、国尺ニ等)	秋田志げ氏寄贈本
3487			戸籍総計、戸籍月括書類入のみ	袋のみ

通番	年号	西暦	文書名	備考
3488			も路こし、我朝にもろもろの智者たちの沙汰し申さるハ觀念の念にもあらず	
3489			一、三月廿七日晴（日記）	
3490			借用覚	
3491			東海道、秋葉鳳来寺、伊勢参宮定宿附	
3492			甲子と釜の口とて思いけし何でも舌志に二口、三口、四口	小林安兵衛様
3493			覚、一、馬三疋 内壺疋乗掛、壺疋集軽尻、壺疋荷物	布施弥市郎手紙 徳沢平蔵より各村問屋名主中
3494			覚	
3495			四ツ乃袖	
3496			建武二年亥歳小笠原貞宗法名開差寺板泰山正宗大居士五十七死	
3497			覚	
3498			覚	
3499			下畑三畝三分、原畑三畝三分	
3500			覚	
3501			一、其方身持行諸我等気ニ応ニ付、段々異見相加候得共	
3502			覚	
3503			覚一、二月廿八日朝より無尽集錢丑八時より	
3504			乍恐以書付・・・	御役所宛
3505			書簡	文七より弥市左衛門様へ
3506			包紙	包紙のみ
3507			出原村一里塚一件	封筒のみ
3508			借入金覚書写	
3509			唐沢井関係絵図	
3510			拂方分	
3511			縦ハ人数拾六分人へ米七合五勺扶持ニして高向程ト問、答テ千式百石也	
3512			秀山堂探題野邑家兄弟	
3513			口に歌に甲子と釜の口とて思いけし何でも舌志に二口、三口、四口	小林安兵衛様
3514			後ノ世に見る人あらばたのしけん志婦紙にせん 是をたのしみ短智書	
3515			漢詩	
3516			一、金拾両者、片方畑半野	
3517			包紙三枚	包紙のみ
3518			差出申請負一札之事	
3519			御年句	
3520			覚	一部分
3521			本田、新田ニかきらす此度之大水ニ川押しねむさとかり取申まし・・・	
3522			乍恐以急札申上候	
3523			覚	

通番	年号	西暦	文書名	備考
3524			一言致啓上候	金子之義当方覚語仕罷有候
3525			覚	
3526			献立	
3527			出原村之与美源介より上ル目安之奉行衆よこめ衆様御引申上遣し候間両方共ニ進之申候	
3528			覚	
3529			井坪喜平太殿	
3530			覚	
3531			先達申渡置候通村々・・・	
3532			阿嶋より御引移り之節、吉田村拾六人、大嶋山村拾貳人、出原村七人、牛牧村拾六人	
3533			書簡	下筋四ヶ村より関嶋弥治右衛門様
3534			覚	他に数枚
3535			書簡	上市田村年番庄屋より御役所
3536			小けんミ御引方不作之御免状原町分	
3537			百年の齢を経、今の世までも・・・丹波国大江山酒鷄童子、信濃国戸隠山の鬼神	
3538			不肖の身	一部分
3539			今度御米被下候ニ付而難有奉候	
3540			可被相渡米ノ覚	
3541			覚 一、粳二而可指出米積り、米高千俵ニ付米四拾俵ノさん用ニ可被仕候	十兵衛より惣村中
3542			一札之事	
3543	午年		上市田村	
3544	寅年		江州矢賀大明神別当不動院	
3545			水戸様より阿部伊勢守様へ鎧甲上下置候	
3546			御仁恵御救小屋江施行明細書、外に近辺隣町施し名前付	
3547			八句陀羅尼 隶隶毘	
3548			只今牧田平兵衛儀明四日御着陣候間、御村々是迄之通御手当可被成候	
3549			曆東方肝ノ臟不浄水有ハ肝ノ臟へ通シテ肝ニサハリアリ	
3550			落書 関川栄次郎書	
3551			上市田村人数覚	
3552			奉願上候口上書之事	
3553			覚	
3554			覚	
3555			口演	
3556			座光寺村江引付諸人足記	
3557			一高百八十三石六斗貳升三合上市田村	
3558			以手紙申入候、打続不正之天気相御座候へ共相替茂無御座珍重存候	

通番	年号	西暦	文書名	備考
3559			銀ハ初穂料、銭ハ祠給料	
3560			夏目久三郎持久保田多右衛門	
3561			二百八番十分、二百九番十二分、二百十番廿一分、二百十一番廿六分	
3562			覚	
3563			観音分鶴吉金壺両貳分二朱	
3564			にしめ	
3565			御回状右之通り慥ニ受取申候	
3566			乍恐以書付御請奉申上候	
3567			覚	
3568			返ス返スも極暑之時節ニ候間、万事御気を附道中杯ハ別段・・・	
3569			当持銭相場覚	
3570			届	
3571			覚、一本馬八疋、一軽尻貳疋	
3572			刻附覚	
3573			為取替申内済議定之事	
3574			検地帳一部	
3575			信濃国伊那郡菌原真図	
3576			上市田宿人馬割増請書	
3577			相撲番付表	
3578			雑物	
3579			先達而御咄申置候、賄代金御渡可申候間、明日中ニ御越可被下候、以上	杉崎庄藏より原町問屋関川源左衛門へ
3580			今便差出候荷数左之通 一、拾六箇	松井林右衛門より関川源左衛門へ
3581			泉惣右衛門義家内一同去月中江戸屋敷出立、引越被候仰付最早今日頃到着之積故罷有候	熊谷伝治より関川九兵衛へ
3582			覚一、荷物貳拾四箇 本馬七疋、軽尻壹疋	大沢所平より関川源左衛門へ
3583			此度差立候荷数	大津所平より関川源左衛門へ
3584			口上 打続晴天ニ而御同度存候、一寸御越可給候	岩沢武助より関川源左衛門へ
3585			此手紙早々相届可給候	岩沢武助より上市田村茂輔へ
3586			口演 御巡見様今朝御出立御座候間御知らせ申上候	飯田より上市田へ
3587			今便差立候、荷数左之通 一、拾五箇御用分	佐野勝藏より関川源左衛門へ
3588			此度差立候荷数左之通	松井林左衛門より関川源左衛門へ
3589			申入候然者五郎平、秋三郎小附三ツ外ニ高遠行小附壹ッ此段中入候	飯井善平より問屋源左衛門へ
3590			一前書 御達之趣承知御請印差出し	
3591			問屋九兵衛江急用有之、壺対差遣候間早々相違可申候	熊谷伝治より上市田村庄屋茂輔
3592			覚 一、中尾見一郎様御用御荷物九品右之通慥ニ受取申候	上市田村庄屋甚右衛門より本町宿

通番	年号	西暦	文書名	備考
3593			一、蕙包三拾三箇 一、長持式 棹外ニ小附沓ツ	松井林右衛門より関川源右衛門へ
3594			申遣候、明八日立、御荷物数左 ノ通二有之候間、相改兼而達置 候通取計可被申候	松井林右衛門より関川源右衛門へ
3595			覚 一、本馬三疋、但箇数拾式 一、小附沓ツ	大沢所平より関川源左衛門へ
3596			記 一、式六分四等兼重	
3597			三千九百四拾番 一、田四畝式 拾六分	他白紙二枚
3598			タナ田、一、田沓反三畝十一分 此収穫米三石二斗八合	
3599			合反別地價内田反別六町七反式 分地賃金式千三百円六拾七銭	
3600			西東拾間、西五間四尺反別沓畝 廿三分、地價三十五銭金四十銭 竹代	
3601			印形持参人員（源三郎、弥平 次、孝太郎、伝四郎他二十一 名）	
3602			一番帳 一、反別ニセ四分八等 島岡弥三郎、北原又四郎	
3603			二番合 反別七町沓反七畝九分 地賃金二百二拾七圓五十六銭	
3604			記 一、金沓円拾式銭五厘内譯 一、金式朱札四枚民部省塩沢庄 治郎	他五枚
3605			百九十番 一、下田式反四七五 分、三斗式升 関川惣三郎	
3606			明十一日駒場出立左之泊順二罷 越候条、得其意宿用意可有之候	
3607			沓等合一、七畝三分弥三郎 一、七畝廿六分同人	
3608			書簡此度無拋御無心申上度義ニ 付以便願上候得共此者・・・	
3609			覚-先規仕来ニ相成申候ハハ 少々之趣意金者差出シ可申候	
3610			昨日申遣候御用御荷物之外ニ御 足輕荷物三箇小付沓ッ参位間左 様心得被申候	
3611			都路は五十路餘里	
3612			無尽 掛金 返金 書覚	
3613			奉受取品之事	
3614			書簡→嘆願書	
3615			書簡	村惣代より小次郎へ
3616			覚 金野村惣左衛門より	市田御役所へ
3617			直指人必見性成仏（軸）	西本良高書
3618			記-郷藏へ大黒やより酒肴代な ど	
3619			郷藏に出した覚	万屋酒店より
3620			覚-銘々御出金の個人名	
3621			関川弥次右衛門への口上書	
3622			回章～瑠璃寺より各村へ	

通番	年号	西暦	文書名	備考
3623			大島宿より市田宿問屋へ	
3624			賃銭六百三拾二文受取証	
3625			御廻状	中関村より市田役所へ
3626			記-大黒屋より彦蔵へのお金の件	
3627			おぼへ	北河原より御役所（市田）
3628			口上代-飯田宿より関川庄屋へ	
3629			覚	駒場村庄屋より市田宿庄屋へ
3630			御廻状	中関村より市田役所へ
3631			覚-御差紙	法全寺村より市田役所へ
3632			覚	長峰、柄山庄屋より原町年番衆へ
3633			覚	中関村役人より下市田役人へ
3634			おぼへ-人足-	各村における
3635			覚	田切村北河原 彦左衛門より
3636			書簡（市田宿御役人中様へ出張先より伝右衛門より）	
3637			覚（原町御村用）	
3638			覚（今田中組庄屋仙右衛門より市田年番御衆中へ）	
3639			覚二通（芋平村より市田宿庄屋と中関村より市田御役所へ）	
3640			覚	中山分庄屋より市田御番所へ
3641			覚	大内三左衛門より上市田庄屋
3642			覚六通	上市田村庄屋
3643			上市田村 清水作右衛門へ	
3644			覚え 六枚	
3645			受取と覚 一通ずつ	
3646			覚 上市田村庄屋中	
3647			覚	
3648			書簡 市田宿御伝馬所御役所へ	飯田宿伝馬所より
3649			覚	上市田御役人へ提出されたもの
3650			おぼへ（おぼへ六枚と口上一枚）	福与村庄屋より
3651			手代より庄屋への書簡	
3652			人足文書の一部	
3653			口上 市田宿御役人中様	
3654			乍恐以書付奉願上候当村三役人より	出原村宝泉寺より書出し
3655			奉獻 寅獅子	
3656			記 上市田村御役人中へ	牛牧木村家より
3657			口上 飯田宿加藤与右衛門	
3658			市田伝馬町問屋へ	
3659			口上	（福与村）崑一郎より
3660			郷夫人足の依頼	
3661			信州市田宿問屋へ牛牧村木村氏よりの手紙	袋のみ一通と手紙二通
3662			宗門人別帳提出の一部	
3663			覚（入用品）	
3664			為取替申一札之事	

通番	年号	西暦	文書名	備考
3665			拝借仕候御米之事	
3666			十一月十四日場所見分之上筋合相究候	
3667			今朝者御奉行様方へ廻り可被申上存候	
3668			乍恐以書付奉申上候	
3669			私共村方百姓市郎右衛門母かや儀当子九十才ニ相成候ニ付	
3670			覚	
3671			乍恐以書付奉願上候	裏面村送り一札之事
3672			日本橋より諸方道法	
3673			天満大自在天神	
3674			関八州絵図	
3675			街道地図一部	
3676			屠蘇	
3677			観音様御年貢米残り	
3678				
3679			運送駄賃 人足賃銀之事	
3680			陣屋払下げ先の一部	
3681			呼出状	
3682			宿帳の一部	
3683			覚	横帳の一部
3684			覚	
3685			是迄助合御願書雛形	
3686			阿部播磨守領分	
3687			大嶋へ使	
3688			口添	
3689			郡奉行からの命令	
3690			覚	
3691			大平記網目大塔宮曦鎧	
3692			酒吞童子・・・	
3693			苗字御免の状	
3694			其村願之義差出可申候間願書本紙我等名宛相認出可仕候	
3695			受取一札之事 一、金六両貳分也	
3696			覚 一、金貳両午二月かし此利拾貳匁	
3697			口演御通行繁クなり継立大變の事	
3698			口上明日津出し被下候様御頼申上候事	
3699			明五日宵岡崎出立の件	
3700			年始のご挨拶文	
3701			金子三両差上申件	
3702			金子利子残金払いの事	
3703			甚暑之節御見舞之事	
3704			年始之挨拶文	
3705			甚寒の節御見舞文	普大寺無一より関川弥次右衛門様伊兵衛様
3706			書簡 亡父三回忌執行	

通番	年号	西暦	文書名	備考
3707			書簡 当分助郷の件	
3708			書簡	瀧波小八郎から関川弥次右衛門へ
3709			書簡	上柳喜右衛門から関川源左衛門へ
3710			書簡 利足の件	上柳喜右衛門から関川源左衛門へ
3711			書簡	宮下平右衛門より関川弥次右衛門へ
3712			添書（浮浪為追討多人馬御通行・・・）	
3713			覚 一人足壺人大嶋行	二枚
3714			書簡	亀割坂右衛より弥次衛門様へ
3715			文書一部（毛利河内守様・・・）	
3716			書簡（唐傘村佐藤長十郎から）	
3717			御尋に付以書附奉申上候	
3718			上市田地図（手書）	
3719			記（借用書）	
3720			今村恭太郎より関川弥一郎への書簡	
3721			墓地の件の書簡	
3722			結婚の持物の上紙をまとめたもの	
3723			奥山半僧坊の像の掛軸（木版）	
3724			明治神宮奉賛会会員徽章規定	
3725			覚 その他十六通	
3726			地租改正関係	地租改正関係文書多数
3727			所有土地台帳	
3728			殺報轉輪記中	
3729			人足割付帳（表紙無し）	
3730			御祝控帳（表紙なし）	
3731			上市田宿家並図	
3732			小学校費出途ノ方扱	
3733			明治初期の上市田絵図面（未完成）	
3734			書簡	北原森右衛門から関川弥次右衛門へ
3735			書簡	安下楠実から平栗四半次外二名へ
3736			地券取調ニ用候品（当時反古也）	
3737			地租改正関係資料	多数
3738			戸主に付免役の者	
3739			上市田から牛牧への入作分	
3740			ろうそくの寄付（一部分）	
3741			誓約書	
3742			看板（鉄製）	
3743			字何・・・、社地上地官林届出見本	外に明治八年六月十九日の布告も有り
3744			地価金	地租改正関連書類（十枚）
3745			丑暮貫掛り記	
3746			東京麻布より関川弥一郎への手紙	
3747			筑摩県-飯田出張所より六部（いろいろ有り）	

通番	年号	西暦	文書名	備考
3748			覚-御通行-勤人足調	
3749			上市田村惣井筋、町・間 調別号左通り	
3750			河野村絵図	
3751			覚	
3752			信州伊那街道堀美濃守御取締所市田宿	
3753			河野村全図	
3754			県道編入願	絵図付き
3755			浅川沿岸農業水利改良計画略図	
3756			生田村勢一覧	裏は絵図
3757			下市田河原堤防略図	
3758			火葬場反別	
3759			覚	
3760			大坂新下り-浄瑠り入費謝礼	
3761			お金集金控	
3762			山中の沢を記した地図-12枚	
3763			添書・・・今般御一新二付・・・	
3764			義社誘導委員依頼書	
3765			教長権少教正祖父江保忍代理人伊藤勇蔵他之袋	
3766			田税第三期十調	
3767			地価等級表	地租改正の折
3768			村限絵図大きさ	
3769			火災御見舞13通	
3770			個人反別帳	
3771			公務告知書類(多数)	
3772			鉄道唱歌	
3773			測量方よりの手紙	
3774			下伊那郡市田郵便局中	
3775			出納帳	
3776			家系図(関川家)	
3777			歴代戸主名(関川家)	
3778			警察部関係委員会意見書	
3779			日誌	
3780			金銭まとめ帳	紙多数
3781			記-御村用-村ごとの出費	
3782			酒とつまみ代を書上げた紙-多数	
3783			北小路殿が来県する時の役割分担覚	
3784			北小路殿様以下宿泊割当	
3785			陸尺、馬指、茶方、先拂、給仕、問屋詰	
3786			座光寺村より上市田村副戸長へ-記	
3787			覚-万屋酒店より学校へ用立た	
3788			記-大黒屋、萬屋の記録	

通番	年号	西暦	文書名	備考
3789			覚-ゑどや、大黒屋、與呂津屋など	
3790			北野小路殿様、落合様、村松様、青嶋様など人足覚	
3791			御伝馬所御諸郷中様	
3792			一、四百文弍升、一、六拾八文とうふ弍丁、	半河酒屋→才重郎様
3793			田切かく一、溜池二畝二拾七分、金壹円六拾壹錢	
3794			当県支配所地境杭認方	
3795			手紙を持って行った人名を書いた物	
3796			記、札 晴吉、幸吉、長九郎、重松の諸氏	
3797			〆 二拾九人分賃	包み紙のみ
3798			記-上市田耕地学校御用本	
3799			書簡	市田宿問屋へ
3800			書簡	大平所左衛門より関川弥次右衛門へ
3801			記-日記-関川光保	
3802			切手三升などの書付（三枚他）	
3803			といや源左衛門（木版板）	
3804			上市田村反別地価惣計他多数	
3805			三州愛知県下書類（多数）	
3806			三月二十五日協儀問題	
3807			取調帳簿（その他多数）	
3808			長野より入費	
3809			書簡雑文など多数	
3810			解説書 下書きなど多数	
3811			土地についての文書	
3812			乍恐以書付奉伺候	
3813			毎年書出入	紙ひもまとめ10個とばら紙7枚一つの袋に入っている
3814			記	多数で未分類
3815			産神様屋根替入用・学校加入金 蚕玉様造酒料入用・病院加入金 差引帳	
3816			地租改正	
3817			控之内田畑実地記	
3818			地価金千九百廿六円七十七錢	
3819			四百番口 田方之部	
3820			第壹番口 六等 田八畝九分	
3821			田方等級	
3822			冷水除坪数調帳	
3823			畑畔検地一番帳	
3824			地租関連調帳	
3825			田方等級寄	
3826			算法	
3827			記	
3828			出頭書（本日八月九日説教開謔 二附）	

通番	年号	西暦	文書名	備考
3829			地価掛	
3830			地価決定のための等級づけ	
3831			小麦壹斗八升二合、一、金貳円六十二銭	関川宗三郎
3832			御布告摺拾六部御渡ニ相成候間御前之通り引立り部数早々御順達可被成候	
3833			地價番付表	
3834			地租改正下調べ報告	
3835			滝ノ入山に関する書類	
3836			ひらがな六行 二十四孝三段目	直江山城守種綱手帳
3837			局長辞令→袋のみ	
3838			国粋会飯田支部趣意並に会則(その他多数)	
3839			書簡 選挙応援のお願い	木村信より関川老台へ
3840			二・四事件の概要	
3841			長野県大町高等女学校一覧	
3842			穂高地方名所旧蹟概要案内	
3843			長野県豊科高等女学校校舎配置図と職員表	
3844			長野県南安曇農学校職員	
3845			道路橋梁調査表	
3846			物資・配給購入権並切符保管袋	
3847			信濃国の唱歌	関川邦雄が書いたノート
3848			修身引	関川国(邦)が書いたノート
3849			雑記帳	
3850			作文帳	
3851			稲-灌漑・浸種・塩水撰・淡水撰など	
3852			雑記-勤学の歌など	関川邦雄使用
3853			経済部関係審議案	
3854			体格検査証明書(十枚)	
3855			大東亜の建設を双肩に担う船員を募る-募集要項	
3856			船員就職許可書(二十枚)	
3857			関川一実-名氏録の記事	
3858			日本放送協会無線電話聴取規約(用紙のみ二十九枚)	
3859			火災保険申込書(用紙のみ)	
3860			任官増俸辞令(封筒のみ)	他に船員職業紹介所御中の封筒(十一枚)
3861			書簡	一通は封筒のみ
3862			府縣道米川旦開線実測平面図	
3863			参事会巡視関係→学校其他一覧表 袋のみ	袋の中のもの23袋に整理する
3864			新築祝席順	
3865			新聞記事-原町	
3866			堀兵庫頭休(宿札)	
3867			堀石見守様御小休(宿札)	
3868			小笠原豊松丸様御休(宿札)	
3869			堀石見守様御休(宿札)	

通番	年号	西暦	文書名	備考
3870			小笠原兵庫介様御小休（宿札）	
3871			堀石見守様御休（宿札）	
3872			江戸初期以前の交通関係書類借用願	
3873			英語雑誌の一部	
3874			市田村長関川一実氏蔵文書十二通目録	
3875			書簡	打沢村 堅左衛門方関川源左衛門へ
3876			御城下出火之節村々方蒐着定	
3877			侍大将松岡舎弟源五左衛門尉に関する文書	応永22年座光寺氏を負かしたとする記事あり
3878			古文書破損したもの	
3879			字牛籠山他入会について	
3880			会計報告	ガリ版印刷七枚
3881			豊丘村誌上巻の伴野庄コピー	
3882			上市田に存在する物調べ	
3883			関川家系図	
3884			南拾壱間五尺五寸、北拾貳間五尺五寸、東廿壱間五寸、西拾九間貳尺	
3885			関川弥一郎持畑図（多数）	
3886			上市田種痘完了者九一人、未接種者四人記録	
3887			新築郷蔵添敷地次第宛心待書	
3888			何村 何耕地	
3889			記・田畑総計 下市田耕地分	
3890			綴目 下書の紙	
3891			畑地價附法	
3892			北原氏の選挙依頼	
3893			現在結婚者年令の対照表	
3894			文化元年より出生、死亡、送籍調査表	
3895			田畑荒地	
3896			第何大区何小区 何郡何村農工商	
3897			戸籍月拾届（提出書類の書方）	
3898			御役人附早見	
3899			上市田戸籍簿の一枚	
3900			推薦状に貴君の名を連ねさせて欲しい。	遠山方景から関川一実様へ
3901			田方収獲地價付法	
3902			一、田反別貳拾壱町三反七畝廿六分	
3903			字間ヶ澤換地反別附 上市田村 下市田江替地分 横帳	
3904			市田村・田畑・宅地其他民有地 収獲地価尋問之儀有之条	
3905			田方 メ壱町三反九畝十四分、四百七十五円七十四銭	
3906			甲府県より竹佐に匂送り軽罪人 出奔入用留	

通番	年号	西暦	文書名	備考
3907			山林野について第拾九大区市田村	
3908			村情大概	
3909			第拾九区壺小区 市田村	
3910			征露大捷雙六	
3911			伊勢神社図面	
3912			村位等級及改正修正収穫反米表	
3913			記（戸籍帳などその他帳簿類名）	
3914			田反別・宅地反別など	
3915			村吏交代引渡目録書	
3916			等級仕訳	
3917			作文手本	
3918			生活改善共勵会のビラ	「汗だ!意気(ココロ)だ!節約だ!」
3919			高压炊事器のビラ	
3920			信州姥捨山縁記	
3921			園原和歌集	
3922			水路分枝図	
3923			宅地図三枚	
3924			助伝馬人馬御扶持米	
3925			記（日記メモ）	
3926			記（二月九日租税金取集など）	
3927			農家の協同と肥料	農林省
3928			畑皆納（返す分）	
3929			善光寺と姥捨山名所また一つ湯河原温泉	
3930			天龍川水門工事図面	
3931			武徳殿建設趣意書	
3932			大島川上流山の地図	
3933			メモ書（九名の名前あり）	
3934			表封筒のみ（多数）	
3935			富草郵便局よりの書簡	
3936			陸上大会出場援助金集の趣意書	
3937			信濃地図（個人書地図）	
3938			祈場の御祝儀	
3939			上（駒場村の内、大野分）	表紙のみ
3940			街道の人足代	
3941			勉強したことを覚え書留めメモ	
3942			鐘鑄原での運動会作文	
3943			六景をよんだ和歌	
3944			新穀	
3945			妙法蓮華教教典	
3946			仏の名前十三名書かれている	
3947			諸買物帳	
3948			ゴム印（十九個）	
3949			天龍川上流河川改修工事訂正説明書	
3950			天秤一式	

通番	年号	西暦	文書名	備考
3951			木で作られたシャモジみたいな物	
3952			封書・書類をまとめた袋など(中身なし)	
3953			ふすま書はがし①(三枚)	
3954			ふすま書はがし②(二枚)	
3955			ふすま絵はがし(六枚)	
3956			知久龍崖書(七枚)	
3957			復命・日常など一部	(全体はよくわからない)
3958			是秀居士筆の達磨図	
3959			ふすま書のはがし(四枚)	
3960			書簡(六通)	
3961			書簡	
3962			書簡(十六通)	
3963			書簡	松昭院役僧より原町宿御役人中
3964			書簡	吉田村庄屋より上市田村問屋様
3965			書簡と覚	喜左衛門より問屋様
3966			書簡	左保伴右衛門より関川弥次右衛門様
3967			書簡	弥右衛門より関川弥治衛門様
3968			書簡	嶋田権三郎より関川弥治右衛門様
3969			書簡	稲川政右衛門より
3970			書簡	北原久蔵より関川弥治右衛門様
3971			書簡	吉田庄屋より問屋弥次右衛門様
3972			書簡	関川弥次右衛門より関川彦三郎様外
3973			書簡	中山沖右衛門より関河源左衛門様
3974			書簡	岩崎佐兵衛より関川源左衛門様
3975			書簡	北原金助より関川弥次右衛門様
3976			書簡	宛名等不明
3977			書簡	大ノ分庄屋廣吉より立花屋藤兵衛様外
3978			書簡	木下新一郎より弥次右衛門様
3979			書簡	木下新一郎より弥次右衛門様
3980			書簡	山岸□□より関川源左衛門様
3981			高掛公役金割合帳	
3982			書簡(一部分)	江戸芝老丁目永之介より関川弥次右衛門様
3983			書簡(一部分)	弥次右衛門・塩澤伊兵衛より市田御役所へ
3984			覚	専照寺世話人より原町問屋様
3985			覚	木□□屋酒店より関川様
3986			覚	さ□や八代吉より問屋様
3987			覚	原町□□屋より関川様
3988			覚	
3989			書簡	片桐三左衛門より関川源左衛門様
3990			覚	大黒屋仁右衛門より登以屋様
3991			書簡	市田年番より林次郎左衛門様
3992			書簡	忠作より関川弥次右衛門様外六人の村役人様
3993			書簡	塩瀬善次郎より関川弥次右衛門様
3994			書簡	中嶋清七より福与太郎左衛門様外四名様
3995			書簡(一部分)	竹上いん居より関川弥次右衛門様
3996			書簡	矢沢長三郎より関川弥次右衛門様

通番	年号	西暦	文書名	備考
3997			覚（一部分）	
3998			書簡	宮田弥右衛門より関川弥次右衛門様
3999			覚	□□佐助より関川弥次右衛門様
4000			書簡	小原喜右衛門より関川弥次右衛門様
4001			書簡（一部分）	宛名等不明
4002			口上	専照寺より問屋源左衛門様
4003			書簡	岡田亥兵衛より弥次右衛門様
4004			書簡	□子新七より関川弥次衛門様
4005			書簡	関川弥次右衛門様
4006			書簡	源太郎より御署様
4007			追加文	手紙の追加文か
4008			書簡	藤田弥七衛門より関川源左衛門様
4009			書簡	宮下平左衛門より関川弥次右衛門様
4010			書簡	市田局関川より新井兄
4011			書簡	関川弥次右衛門様
4012			書簡	北原勝太郎より関川弥次右衛門様
4013			書簡	岩崎七郎兵衛より関川弥次右衛門様
4014			書簡	喜七郎より関川源左衛門様
4015			書簡	源左衛門より大洞友右衛門様
4016			書簡	森谷平五郎より関川源左衛門様
4017			書簡（年数早見四部）	庄兵衛より関川源左衛門様
4018			書簡	丹羽揚三より関川源左衛門様
4019			書簡	池上啓籠より関川弥次右衛門様
4020			書簡	五右衛門より関川源左衛門様
4021			書簡	北原喜右衛門より関川弥次右衛門様
4022			書簡	矢沢彦右衛門より関川源左衛門様
4023			書簡	唐沢利左衛門より関川弥次右衛門様
4024			書簡	長沼左重太より関川弥次右衛門様
4025			書簡	殿岡屋喜七郎より関川源左衛門様
4026			書簡	北原森右衛門より関川弥次右衛門様
4027			書簡	上原六左衛門より関川様
4028			書簡	池上新左衛門より関川源左衛門様
4029			書簡	忠作・膳左衛門より関川弥次右衛門様
4030			書簡	小口衛門より関川様
4031			書簡	北原勝太郎より関川弥次右衛門様
4032			書簡	京都千本御中屋敷忠作より関川弥次右衛門様
4033			書簡	内村磯吉より関川弥次右衛門様
4034			書簡	源口より関川弥次右衛門様
4035			書簡	源左衛門より関川弥次右衛門様
4036			書簡	北原勝太郎より関川弥次右衛門様
4037			書簡	鈴木次三郎より扇屋忠作様
4038			書簡	平沢弥二郎より関川弥次右衛門様
4039			書簡	村沢角蔵より問屋源左衛門様
4040			書簡	与十郎より武藤虎助様
4041			書簡	北原勝三郎より関川弥次右衛門様
4042			書簡	大澤所平より関川源左衛門殿
4043			覚	近藤平格内岩村藤兵衛より飯田より内藤新
4044			書簡	北原豊太郎より北原勝太郎様

通番	年号	西暦	文書名	備考
4045			覚	八千屋庄平より上市田村庄屋源左衛門様
4046			書簡	新井村 北原武右衛門より関川源左衛門様
4047			書簡	名子村 関川兼次郎より関川源左衛門様
4048			書簡	岩淵口法より関川源左衛門様
4049			書簡	今村文口より関川源左衛門様
4050			書簡	東須久右衛門より関川弥次右衛門様
4051			覚	問屋弥次右衛門様
4052			書簡	成瀬金三郎より原町宿問屋様
4053			書簡	北原森右衛門より市田宿関河弥次右衛門様
4054			書簡	こんや仙左衛門より源左衛門様
4055			書簡	乍失礼書状を以一筆啓上致候
4056			書簡	座光寺岩五郎より関川弥次右衛門様
4057			書簡	牛牧村貞造より関川弥次右衛門様
4058			書簡	丸田屋欽兵衛より関川源左衛門様
4059			書簡	長沼八六より関川弥次衛門様
4060			大相撲之節人馬賃銭	六月十三日分
4061			書簡	山吹今村文庫より関川源左衛門様
4062			飯田御役所御用定	
4063			覚	
4064			書簡	山吹家今村口口より関川弥次右衛門様
4065			口上	水口や政八より関川源左衛門様
4066			書簡	法全寺村重左衛門より関川弥次右衛門様
4067			書簡	原八十二より関川源左衛門殿
4068			書簡	山田栄蔵より関川弥次右衛門様
4069			書簡	小木曾武兵衛より関川源左衛門様
4070			書簡	木本久次郎より関川源左衛門様
4071			書簡	木本久次郎より関川源左衛門様
4072			覚	関川御氏 六右衛門
4073			覚	向井康三郎より関川源左衛門殿
4074			書簡	石神後泉より関川弥次衛門様
4075			書簡	名古村名主より原町問屋様
4076			書簡	今村文庫より関川弥治右衛門様
4077			書簡	北原勝太郎より関川弥治右衛門様
4078			書簡	奥山圓平より関川弥次右衛門様
4079			覚	
4080			書簡	今村文庫より関川弥治右衛門様
4081			書簡	宮下平右衛門より関川弥治右衛門様
4082			書簡	田切伝右衛門より関川源左衛門様
4083			書簡	大原より関川様
4084			書簡	五右衛門より弥次右衛門様
4085			書簡	長沼八六より関川弥次右衛門様
4086			書簡	北原森右衛門より関川弥次右衛門様
4087			書簡	打沢村與左衛門より関川弥次右衛門様
4088			書簡	北原勝太郎より関川源左衛門様
4089			上納方割合	
4090			南岳大師無常偈	
4091			書簡	木村民蔵より原町問屋へ
4092			書簡	岩崎佐兵衛より関川源左衛門様

通番	年号	西暦	文書名	備考
4093			書簡	大原より関川様
4094			覚	□□勝助より関川源左衛門様
4095			書簡	専勝寺より原町源左衛門様
4096			書簡	北原勝太郎より関川弥次右衛門様
4097			書簡	大手町宮下宗兵衛より問屋九兵衛様
4098			書簡	新井原 林治郎左衛門より関川弥次右衛門様
4099			書簡	飯岡喜七郎より関川源左衛門様
4100			書簡	山田栄蔵より関川弥次右衛門様
4101			書簡	北原勝太郎より関川弥次右衛門様
4102			書簡	保助より関川様
4103			通知	桜町問屋より原町問屋へ
4104			書簡	明嶋忠助より関川弥次右衛門様
4105			書簡	藤田弥右衛門より関川弥次右衛門様
4106			書簡	かつをより関川様
4107			書簡	勝太郎殿御家内元日朝出産致し無難御座候 御安意可被下候
4108			書簡	部奈團蔵より関川源左衛門様
4109			書簡	打沢村堅左衛門より関川源左衛門様
4110			書簡	林村かみや嘉兵衛より清水様
4111			申迄も無之候得共成丈大なべにて大水にて少しづつ御入御うで可被下候	酒屋より あねさまへ
4112			書簡	山吹村今村文庫より関川弥次右衛門様
4113			書簡	岩崎長十郎より関川弥次右衛門様
4114			覚	一、式駄金弥 一、四駄左源次
4115			富士山下より上迄九里あり此間数及俵ヲ並俵数石数ニ合半割渡シ人数問幾何	
4116			書簡	北原勝太郎より弥次衛門様
4117			書簡	安吉より弥ニ右衛門様
4118			書簡	都竹彦七より問屋弥次右衛門様
4119			書簡 暑中見舞	斉藤権蔵より問屋弥次右衛門
4120			書簡	中嶋吉治より関川源左衛門様
4121			書簡	かつはらより関川弥次右衛門様
4122			書簡	岩崎七郎兵衛より関川弥次右衛門様
4123			書簡	清口舎より関川雅君様
4124			書簡	平右衛門より原町関川源左衛門様
4125			書簡	藤田伴右衛門より関川弥次右衛門様
4126			書簡	阿久澤権平より関川源左衛門様
4127			先日森右衛門殿以御無心申入候所御聞届被下候趣承り忝仕合奉存候	
4128			皿くね、大こん、小んにやく、さかな	
4129			牛牧村往還筋九丁廿三間、但座光寺村境より上市田村境迄	
4130			口演 甚寒ニ向ひ候得共文吉様方御情静之由	
4131			来十四日、十五日両日之内朝五ッ時より九ッ時迄	長瀬五郎衛門・野原半三郎・問屋新助より村々庄屋中へ

通番	年号	西暦	文書名	備考
4132			書簡	松嶋又右衛門より傳右衛門様
4133			書簡	新井村矢沢彦右衛門より関川源左衛門様・田切長九郎様
4134			封筒のみ	部奈團藏より関川源左衛門様・塩沢伊兵衛様
4135			此先触其宿ニ止置当人着之・・・	阿久澤桓士から関川源左衛門殿
4136			(手紙) 拝借した品早々御返済可申上候	飯田平左衛門から関川源左衛門
4137			其村々飯田大都屋御金抱御小人召抱候間、右勤候様有之候ハハ私宅江罷出候様被申付可被下候	
4138			明十四日清信院初七日逮一夜相当ニ付刻限四ッ半時・・・	牛牧村弥三郎、下黒田村仙左衛門、原町源左衛門、上黒田村やす、座光寺村栄左衛門
4139			書簡	宮脇権右衛門より関川弥次右衛門様
4140			書簡	弥次右衛門様
4141			書簡	宮内口太郎、岩淵忠作より弥次右衛門様
4142			書簡	右京より関川様
4143			書簡	大沢口二郎より関川弥次右衛門様
4144			書簡	膳左衛門より関川弥次右衛門様
4145			書簡	丸太屋歛兵衛より関川弥次右衛門様
4146			書簡	北原勝太郎より関川弥次右衛門様
4147			書簡	矢沢長三郎より関川弥次右衛門様
4148			書簡	北原勝太郎より関川弥次右衛門様
4149			書簡	弥兵衛より唐沢新三郎様
4150			日本略史	
4151			徒然草参考 五	
4152			写真と絵はがき	
4153			絵はがき	
4154			絵はがき	
4155			十八史略訳語大全(中)	
4156			学校体育の指導要領	
4157			青年学校小学校の問題→家事科における	
4158			日本家庭教育訓	
4159			英語教科書→PART(1)	
4160			用文例	
4161	江戸より明治		暦	十三冊
4162	江戸時代より明治		暦	十五冊
4163			萃勸愚鈔上(妙)	
4164			奇談梅草紙 卷之二	
4165			妙法蓮華経 卷第五	
4166			妙法蓮華経 卷第八	
4167			妙法蓮華経 卷第七	
4168			妙法蓮華経 卷第四	
4169			妙法蓮華経 卷六	
4170			妙法蓮華経 卷四	
4171			妙法蓮華経 卷第六	
4172			猿跳など運動行動図	
4173			坐禅和賛	

通番	年号	西暦	文書名	備考
4174			和歌食物本草 卷之下	
4175			浜真砂五右衛門一代記	
4176			銭湯親話 ①②	
4177			吉野都女楠	
4178			謡曲本	
4179			武士訓	
4180			田村磨 鈴鹿合戦	
4181			奇談このはな草子→卷之三	
4182	江戸時代		御前義経記	
4183			日域要言内花王花→二編	斬奸趣意書
4184			玉藻前囁袂 (たまものまえあさひのたもと)	道春館巧の段
4185			極彩色娘扇→八ツ目中離別の段	
4186			問答集→(男問・老僧答)	B5版
4187			小夜中山鐘由来	
4188	明治		刪修近古史談	
4189			小学読本卷七・八	
4190			中等教科漢文読本卷之一	
4191			往生へ成沸問答書	
4192			日本王代一覽 卷之六目録	
4193			木版本→和本 (建武の新政の話)	
4194			日本王代一覽 卷の七	
4195			祖来先生答問書中	
4196			楠正成の話	
4197			義仲の話	
4198			問答集 (男問・老僧答言)	
4199	江戸時代		小幡小平次死霊物語	
4200			江戸ヨリ御荷物参候	子九月廿四日 市田伝馬町へ
4201			御差紙之事 (虫喰)	
4202			觸書	
4203			割賦	村入用之儀外
4204			輪章 (回状)	助郷免除願ニ付惣代東京行入用
4205			乍恐以書付奉歎願候	人馬賃銭再値上げにつき
4206			書簡	
4207			乍恐以書付奉願上候	当御支配元棚倉領分金子貳百八拾兩上納
4208			覚	人馬継立先觸れ
4209			助郷諸雑用入用帳ひな形	御下向之節中仙道定助郷当分助郷
4210			勤高人馬割仕訳帳ひな形	御下向之節何宿定助郷当分助郷
4211			覚	御陣屋御普請につき献納金外
4212			廻章	陸運会社出張所等設立の件
4213			原由及慣行成跡	明治十三・四年頃か
4214			第九番学区牛牧学校之義	上市田村の憂慮
4215			合村願書 筑摩県権令永山盛輝殿	
4216			私立学校設立伺	牛牧広畔小校
4217			地引帳総計精算表	南第拾九大区一小区伊那郡市田村
4218			上市田・牛牧・出原・大嶋山・ 下市田・吉田戸長役場之印	

通番	年号	西暦	文書名	備考
4219			市田郷枝村之分り候事写	
4220			女大学	貝原益軒先生述
4221			百人一首	
4222			字集便覧	八畫九畫
4223			日本王代一覽	
4224			倭王篇 卷下	
4225			書翰消息揃	自筆本
4226			庭訓往来	自筆本
4227			別書（書簡文）	
4228			信濃国名所古跡高附絵図	木版印刷
4229			村名・町名他御手本	関川弥次右衛門の筆跡
4230			都路往来	
4231			近郷寺院	
4232			節句幟の寸法	
4233			頭書秘傳之名法	田中家関川瑞光
4234			田方新旧反米反地價各村比較表	三十二ヶ村分
4235			先觸れ（御普請役上條要助）	駒場方
4236			先觸れ（萩野寛一様）	
4237			書簡	部奈団藏方
4238			書簡	関川弥次右衛門方部奈団藏へ
4239			書簡	部奈団藏より
4240			書簡	部奈団藏より
4241			書簡	福与・中山・部奈・峠
4242			書簡	関川源左衛門様 福沢 治方
4243			書簡	市田宿問屋弥次右衛門様 飯島手先桔梗屋傳右衛門様 大沢常五郎
4244			廻状	陣屋修理のこと
4245			書簡	北原森右衛門方関川弥治右衛門へ
4246			書簡	片桐愼一郎方弥治右衛門へ
4247			書簡	片桐愼一郎方弥治右衛門へ
4248			書簡	中塚量平方弥治右衛門へ
4249			書簡	中塚量平方弥治右衛門へ
4250			書簡	今村豊三郎方弥治右衛門へ
4251			書簡	座光寺右京外五名方原町庄屋へ
4252			書簡	安養寺養山方宗閑へ
4253			書簡	福与六郎左衛門方弥治右衛門へ
4254			書簡	津久井又左衛門方弥治右衛門へ
4255			書簡	弥治右衛門方片桐愼一郎へ
4256			書簡	津久井又左衛門方弥治右衛門へ
4257			書簡	松尾佐次右衛門方弥治右衛門へ
4258			書簡	北原喜右衛門方弥治右衛門へ
4259			書簡	橋都新九郎方弥治右衛門へ
4260			乍恐以口上書奉願上候御事	
4261			覚	
4262			覚	
4263			譲渡一札之事	
4264			売渡申畑之事	
4265			覚	

通番	年号	西暦	文書名	備考
4266			書簡	北原森右衛門
4267			乍恐以書付御訴訟申上候御事	雛形
4268			扱證文之事	大瀬木山一件
4269			人相書	
4270			秋葉寺役より上市田へ	
4271			覚（鎮守大神御陣屋氏神への寄附）	
4272			覚（初期飯田城主）	
4273			諸事覚書	
4274			廻文を以申上候	市田年番所より福与村等へ
4275			関河家記録附市田駅聞書	
4276			三月三日桜田外騒動荒増書取左之通り	
4277			神護山長久寺ト上飯田村百姓吉右エ門ト公事ノ覚書	
4278			信州飯田町屋覚書	
4279			人相書	
4280			継人馬印鑑	
4281			立入人取扱方覚書	
4282			高木伊勢守様より御廻状写	
4283			覚	井水掛け方につき牛牧村へ遣はしたる書翰
4284			中弥五右衛門から源左エ門宛書簡	
4285			関川弥次右エ門宛書簡	式通
4286			上市田宿家並図	
4287			人足役付覚	御駕籠付・先拂・長持付・問屋場帳付等
4288			什物之覚	
4289			関川家過去帳	
4290			瀧里館婦女会告別記念	
4291			下市田学校記念写真	
4292			郡農会納習会記念	
4293			校舎前にて記念写真	
4294			神社の近くで女性ばかりの写真	どこかわからない
4295			御触書写	馬壺正宛高橋良助下役式人
4296			伊能勘解由様坂部貞京様御出立人足割覚	土地測量隊ナラン
4297			乍恐以書付御願奉申上候	井口分水二ツキテ願出
4298			乍恐以書付御歎願奉申上候	金野村惣左衛門より改心仕るべく
4299			乍恐以書付奉願上候	市田宿、大島宿より賃銭これ迄通りと致されたく
4300			御触	文字金門位を以掛目五匁ニ定ム
4301			取喰済口証文之事	入会山山道通行につき済口証文（吉田村と大嶋山村）
4302			乍恐以書付奉願上候	助郷免除の添輪の願い
4303			堂所、二王山出入ニ付諸事覚書日記	瑠璃寺に関係した事柄を
4304			従御公儀様倏約御触書写	
4305			無尽証回章	講中五十日間毎日念仏一千返御唱へするよう
4306			覚	火の用心並に盗人の用心について
4307			御触書	金銀吹改について

通番	年号	西暦	文書名	備考
4308			御ふれ	朱、朱墨の商人について
4309			御ふれ	金銀の引換について 金は江戸京銀座 銀は江戸京大坂座に
4310			覚	彦兵衛外二人尋ね人のおふれ
4311			覚	酒造り一切違背あるべからず、おふれ
4312			覚、おふれ	祭礼、法事、衣類、猿樂等について
4313			覚	奉公人に不礼仕るまじく、金を費し物詣仕るまじく、外
4314			尋ね人、人殺し、欠落ち、人相書	
4315			覚	酒造米、たばこ作等についておふれ
4316			覚	御領分中鉄砲打申さじ
4317			覚	諸国在所々々寺社領等迄今年は新酒一式作るまじく
4318			おふれ	諸国難渋につきすべて元値段下値に売り出さるべく
4319			覚	米運上についてお触書
4320			御触れ	盗人 欠落等について
4321			覚	金銀の相場についておふれ書
4322			覚	新酒商は二月以降たるべし
4323			覚	新金出まわりに付乾字金通用期間を定めたる
4324			観音開帳覚	辰年、村内寄進金の内訳
4325			覚	キリシタン改などのお触れ
4326			廻状	郡奉行が上郷村々巡見につき石沢十兵衛から村々へ相続方などの申達
4327			申達	五街道宿助郷人馬指立
4328			人參下売りについて	人參下売について幕府から全国への御触れ
4329			覚	諸国巡見使が廻るにつき心得ておくこと
4330			不作村々江申渡覚	不作に際して願出るときの定め
4331			覚	博奕についてのお触
4332			御触書之内抜書	金銀の引替について
4333			文字金銀出来方	文字金銀割合通用について
4334			覚	百姓共年貢諸役についてお触
4335			覚	猪鹿狼、鉄砲、商売等についてのおふれ
4336			覚	米、入札について触書
4337			米下値につき諸奉公人給金引下がるよう申達	
4338			覚	慶長金並新金についてのお触
4339			おどし鉄砲についての廻状	
4340			人相書	悪党「日本左衛門」の人相書
4341			覚	市田役所より献納金と年貢米の請取書
4342			千人講についていきさつ	
4343			山城守・石見守より山吹村に対して	絵図面は立会仕立つべきこと
4344			乍恐口上書之覚	
4345			乍恐以返答書申上候御事	二王山について其の由来等を記した回答書
4346			地付刈敷山一番草は地主、苜取其跡夏草迄入会に苜取申候儀先規より其例に御座候書付差上申候覚	

通番	年号	西暦	文書名	備考
4347			乍恐以書付奉願上候	年内諸勘定についての申合
4348			草場論に付申立の事	上飯田、上黒田、下黒田、村庄屋嚙にて山界之元禄、延宝、裁許を立つべきと
4349			乍恐以書付御訴訟申上候覚	仁王山の儀につき御訴訟の原文か
4350			日記	大嶋山山のこと
4351			覚	市田方五ヶ村庄屋へ入相山、絵図について
4352			差上申一札之事	桧立木御買上に付御請書
4353			覚 市田役所より御用につき本馬七疋外 大島山入火事につき馬壹疋 人足壹人	二点
4354			御人数覚役人人数	
4355			上市田村巳ノ御年貢納拂	
4356			論所御身分付入用貫之覚	
4357			柳都海岸略図	
4358			乍恐以返答書奉申上候	下市田村八左衛門外貳人質屋の件について
4359			書上帳書式	覚
4360			千村平右衛門様御通りにつき人足本馬の御触	
4361			柴田元作より問屋源左衛門宛書翰	千村様待遇上について注意
4362			千村平左衛門様御通りにつき人足本馬差出すべき御触	
4363			小児教訓孝行歌	
4364			差上申一札之事	駄賃相増す事に仰出だされて承知致し候
4365			佛法上の妙薬	
4366			下諏訪大明神、上諏訪大明神系譜	
4367			差出申一札之事	追分かぎやより止宿為申訳御座なくと詫びたる一札
4368			石沢十兵衛よりの一札	次馬の外、付け通しにつき違法致まじく
4369			覚	当未可納高米七拾石五斗壹升内問屋給米、伝馬役料、庄屋給米、小使給米
4370			一札之事	矢嶋武左衛門より源左衛門へ決水ませと申出
4371			乍恐以書付奉願上候御事	「天正年間に海道が山手に上り」「当所へ引越したが住居仕かね」等当時の事情を知る緒となり得がたきもの
4372			差出し申一札之事 下書き	
4373			乍恐以書付御請奉申上候	(講金千両について)
4374			請取覚	米五十俵 打沢村 堅左衛門より
4375			請取覚	米六俵 打沢村 堅左衛門より 大嶋山村嘉兵衛殿
4376			地券状函	関川ノ蔵
4377			手紙入箱	上市田村 関川弥次右衛門様

上市田関川家 文書目録 増補

通番	年号	西暦	文 書 名	備 考
1	寛政2年	1790	寛政二戌年六月	古文書一部
2	天保4年	1833	信州更級郡姥捨山十三景絵図	
3	弘化3年	1846	阿部能登守様御村替代知ニ付 □□□□御領分村々高附覚帳	
4	嘉永3年4月	1850	貸山預り金割合帳	市田六ヶ村
5	明治2年	1869	助郷組替に付集金の通知	木曾三宿より伊那郡村々へ
6	明治3年～	1870	元締役・勘定役等給金	
7	明治10年	1877	明治拾年分貸借金高抵当反別 地価下調	
8	明治10～ 15年	1877	反別地価（明治15年12月末日 の調査書）	
9	明治11年	1878	発起講連盟帳 写	関連する文書一通も
10	明治11年	1878	辞職願	副戸長
11	明治11年	1878	上市田宿場火災で世話になっ た人への手紙	
12	明治12年	1879	飢饉の遠慮 他一通	信濃国開産社施板
13	明治13年	1880	出品の説明	
14	明治13年	1880	明治八年調地租	
15	明治14年	1881	委任状之事	戸長 関川弥一郎殿
16	明治14年	1881	明治十四年地価修正現額	
17	明治14年	1881	廃業願	下伊那郡長 船越□殿
18	明治14年	1881	自飲醸造乃届	
19	明治14年	1881	村会議員当選請書	関川弥一郎・田切博四郎
20	明治15年	1882	村立牛牧学校設立伺	
21	明治16年	1883	受取証	萬屋酒店より問屋様へ
22	明治16年	1883	郵便心得摘要	
23	明治16年～ 明治36年	1883	年度別収支予算帳	関川家
24	明治17年	1884	覚（2枚）	関川弥一郎殿
25	明治17年	1884	諸税協議費受取通帳	
26	明治17年	1884	一時借用値書	
27	明治17年	1884	牛牧村と上市田村の学校増築 の件	議定
28	明治17年	1884	神拝式	祝詞など
29	明治17年	1884	退職願	上市田村戸長
30	明治17年	1884	秋葉三尺坊大権現本殿	百拾分一之図
31	明治18年	1885	繭解説	
32	明治18年	1885	該村地価再修正請願書	上市田村請願惣代御中
33	明治18年	1885	領収証	
34	明治18年	1885	書簡	関川弥一郎から橋都様へ
35	明治19年	1886	借用証書	
36	明治19年	1886	記 右等のもの一切断るべし	戸長役場より
37	明治19年	1886	定 御祝の義ハ新曆で執行す べし	上市田村惣代

通番	年号	西暦	文書名	備考
38	明治19年	1886	自家用料醤油製造届出について	戸長役場より
39	明治20年	1887	繭申告書	
40	明治20年	1887	養蠶飼育書	
41	明治20年	1887	専門義塾規則要領	
42	明治20年	1887	書簡	役場給員より関川大兄殿
43	明治20年	1887	繭糸織物共進会出品について	関川弥一郎
44	明治20年	1887	魯桑販売広告	
45	明治20年	1887	開山堂拝殿寄附簿	遠州奥山方廣寺
46	明治20年	1887	記 八通	関川弥一郎へ
47	明治21年	1888	授業料領収証 (2枚)	吉田学校
48	明治21年	1888	借入金証券	
49	明治21年	1888	第一回勸業会開設の祝辞	
50	明治21年	1888	懇親会案内	
51	明治21年	1888	第一回勸業展覧会出品賞与	戸長橋都多賀司より
52	明治21年	1888	下伊那郡高等小学校開設時の祝辞	
53	明治22年	1889	□□四□	
54	明治22年	1889	為替受領證書	
55	明治22年	1889	地価帳雛形について	収税部飯田出張所より
56	明治22年	1889	地価修正額及減額俵	
57	明治23年	1890	諏訪神社御柱祭	
58	明治23年	1890	明治二十三年分勘定	
59	明治23年	1890	授業料領収証	納人 関川なみゑ
60	明治24年	1891	明治二十四年二月二十五日決議	
61	明治24年	1891	授業料領収証	
62	明治24年	1891	新聞原稿	下伊那郡風越産から信濃毎日新聞社御中
63	明治24年	1891	増補養蚕実行録	横関式左衛門著
64	明治24年	1891	蚕之宝満礼	養蚕情報紙
65	明治24年	1891	勸業会規則その他	諸綴
66	明治25年	1892	大島山区上市田区尋常小学校設置関係書類	
67	明治25年	1892	牛牧学校校舎新築祝辞	
68	明治26年	1893	請求書	市田村長 木下元治殿
69	明治26年	1893	領収証	
70	明治26年	1893	勸業会ニ関する書類	
71	明治26年	1893	半口子諸入費覚帳	
72	明治26年	1893	神坂線の測量完成について	下伊那鉄道委員事務所より
73	明治26年	1893	飯田町峯高寺で開いた郡大会の件	
74	明治28年	1895	荷物送り証	
75	明治29年	1896	本島平三郎君への弔辞	葬儀委員長 総代 関川弥一郎
76	明治29年	1896	御真影拝戴の祝辞	
77	明治30年	1897	長野県下伊那郡市田村明治30年度歳入出総計予算決議書	
78	明治30年	1897	長姫神社神垣建築醸金寄附旨趣	

通番	年号	西暦	文 書 名	備 考
79	明治30年	1897	葬儀入費支払帳他	買物帳など多数
80	明治30年	1897	吉田尋常高等小学校費 明治 三十年度歳入出予算表	
81	明治31年	1898	株主總會通知	長野農工銀行株主御中（委任状）
82	明治31年	1898	農工銀行ニ関スル書類	
83	明治31年	1898	三十一年暮書出	
84	明治31年	1898	新聞代領収書	
85	明治32年	1899	通知案	長野農工銀行株主御中
86	明治32年	1899	在福島 保治来書	13通
87	明治32年	1899	第三回株金拂込証	
88	明治32年 3月	1899	婚姻諸費日家栄簿 関川氏	
89	明治32年	1899	辞表（下書き三枚）	関川弥一郎学務委員
90	明治32年	1899	第三期營業報告書	長野農工銀行
91	明治32年	1899	盆前書出し入	
92	明治32年	1899	卅一年度地租領収書	
93	明治33年	1900	退職願	市田村長 木下元治殿
94	明治33年	1900	暮前書出し入	
95	明治33年	1900	明細書	
96	明治35年	1902	記 他十四点	関川弥一郎様宛
97	明治36年	1903	通知書（2枚）	日本赤十字社正社員 関川弥一郎殿
98	明治36年	1903	小為替受領證書	
99	明治36年	1903	記	原町関川様
100	明治36年	1903	領収証	
101	明治36年	1903	記	上市田区 問屋様
102	明治36年	1903	小包受取証	
103	明治37年	1904	明治37年収支予算	
104	明治41年	1908	第三回事業報告書	富士見信用組合
105			割状	市田問屋から大嶋山村・吉田村・出原村御庄屋 中
106			井筋借用書	
107			請取証と記（二枚）	
108			割金と神饌	
109			書簡	関川宗三郎から関川弥一郎へ
110			関川弥一郎の勤め	
111			覚	他に金四千元也
112			木積り	
113			絵図一部	平面図もあり
114			書簡	他人ノ聞クラ…他に一部
115			関川弥一郎宛封筒のみ	他に三点
116			絵当世箱入娘	
117			雑書メモ→多数	
118			御印判板木師の印のみ	
119			手紙→多数	
120			領収証	
121			覚→七枚	
122			記→多数	
123			図面→東京	

通番	年号	西暦	文 書 名	備 考
124			口演→田切伝四郎より	関川弥一郎へ
125			開墾願書雛形	
126			特約證書雛形	
127			作右衛門家出火について	市田役所より上市田村庄屋へ
128			店よりの買物品	
129			宴会料理出し物表	
130			役場よりの連絡	
131			結納覚	
132			函面類	
133			関川弥一郎への手紙→多数	
134			書類の手紙の袋のみ→多数	
135			記→多数	
136			葬儀関係書類（3枚）	
137			請願書（5枚）	
138			下伊那郡上市田村村会議事細則	
139			分県の請願（6枚）	
140			牛牧尋常小学校 新築費収入清算帳	
141			牛牧区計算・大島山区計算・上市田区計算	
142			正金決算出納	
143			人足出廻分	
144			毎朝神拝詞（2枚）	
145			姥捨山縁記（3枚）	
146			狩氏画工道統并印譜	
147			家督相続に付地所建物譲り渡証雛形	
148			記（2枚）	
149			広告	今村禄七郎家事省略の為の広告
150			封筒のみ（2枚）	他5枚
151			記（7枚）	

あとかき

関川家文書については、平成4年から当時の関川文雄氏の協力を受け、資料館で複写を行い希望者が活用できるようにとファイルをして整理してきた経緯がある。

この度の資料館への寄託を受けて、保存・保管の環境を整え文書のこれ以上の劣化を防ぐとともに、寄託者のご理解も得て目録を整え、より活用しやすくすることができた。また、整理に当たっては以下の皆さんに担当していただいた。ここに記して感謝申し上げる次第である。

小林 和子 塩澤 元広 手塚 勝昭 本島 恭則
松上 清志 矢澤 篤 横井みつ子 吉澤 章

令和3年3月31日

高森町歴史民俗資料館「時の駅」 館長 芦部 公一

関川家文書目録

令和3年3月31日 発行

編集・発行 高森町歴史民俗資料館「時の駅」
〒399-3103
長野県下伊那郡高森町下市田2243
TEL/FAX 0265-35-7083

印刷 龍共印刷株式会社